管理者編

ホスティングサービス

siteserve
サイトサーブ

ご利用マニュアル

Estore

登録証添付位置

contents

siteserve

第1章　はじめに

1. はじめに …… 6
2. ホスティングサービスの概要 …… 7
3. サービス利用に必要な機器 …… 8
4. 管理者とユーザについて …… 10
5. 本マニュアルの構成 …… 11

第2章　各種管理と設定

1. 管理者の作業 …… 14
2. サービスセンターへのアクセス方法 …… 15
3. メールアドレスの管理 …… 17
4. メールの各種設定 …… 20
5. サイトサーブ全般の管理 …… 33

第3章　ホームページの作成と公開

1. ホームページ作成の前に …… 52
2. ホームページ作成　ホームページ作成ソフト編 …… 54
3. ホームページ作成　テキストエディタ編 …… 58
4. SSL利用ページへのリンクについて …… 65
5. ホームページの公開（アップロード） …… 67
6. ホームページ作成ツール …… 81
7. ホームページ制作会社への依頼 …… 88
8. CGIの利用 …… 90

contents

siteserve

第4章 ホームページの告知と宣伝

1. 検索サイトへの登録 …… 110
2. メールマガジンへ広告掲載 …… 114
3. 懸賞による見込み客リスト作成 …… 116
4. バナー広告の出し方 …… 118
5. その他の告知・宣伝方法 …… 119

第5章 困ったときに

1. サポートについて …… 124
2. よくある質問（FAQ）と問題解決方法 …… 125
3. 禁止事項 …… 131
4. メンテナンス …… 132
5. 用語集 …… 133
6. 目的別インデックス …… 138

はじめに

**ここでは、サイトサーブが提供する「ホスティングサービス」の概要や、
サービスの利用にあたって必要な機器、本マニュアルの概要について説明します。**

**サイトサーブの利用にあたって、最初に理解が必要な内容をまとめています。
必ず、先にお読みください。**

1. はじめに …… 6
2. ホスティングサービスの概要 …… 7
3. サービス利用に必要な機器 …… 8
4. 管理者とユーザーについて …… 10
5. 本マニュアルの構成 …… 11

登録証を表紙裏面に貼付し、

本マニュアルとともに大切に保管して下さい。

第1章

1. はじめに

**サイトサーブの契約が完了し、登録証やマニュアルが送られてきたら、
必ず次のことを行ってください。**

登録証・マニュアルの保管

登録証・マニュアルは、大切に保管して下さい。
登録証には、サイトサーブ利用に必要な「ユーザアカウント」と「パスワード」という、お客様固有のデータが記載されています。これらは、他人に見られたり、紛失したりしないように大切に保管してください。登録証を本マニュアルの表紙裏面に貼付しておくと、マニュアルと一緒に保管できます。また、本マニュアルには、サイトサーブの使い方や機能の説明だけではなく、困ったときに参考になることや、事務的処理、連絡先についても記してあります。登録証と同様に大切にしてください。

「ヘルプデスク」の登録

ヘルプデスクをブラウザの「お気に入り」に登録してください。
ヘルプデスクとは、サイトサーブを利用するときのお手伝いをするホームページです。ここには、サービスに関する最新の情報や、オンラインマニュアル、各種設定や変更ができるサービスセンターへのリンクなどがあります。登録証には、このヘルプデスクのホームページアドレス（URL）が記載されています。一度このページを開いたら、次回からすぐにアクセスできるように、ブラウザのお気に入り（またはブックマーク）に登録してください。登録の方法については、ブラウザソフト付属のマニュアルを参照してください。

2. ホスティングサービスの概要

サイトサーブはホスティングサービスです。ここではホスティングサービス（レンタルサーバ）とは、どのようなサービスなのか、インターネット接続プロバイダが提供するサービスとはどのように違うのか、について説明します。

2-1 ホスティングサービスの概要

ホスティングサービスとは

ホスティングサービス（レンタルサーバ）とは、メールの送受信をするためのメールサーバと、ホームページを掲載するためのウェブサーバを貸し出すサービスです。つまり、お客様用に用意されたメールサーバ、ウェブサーバをお預かりするサービスをいいます。各サーバはインターネットに高速で常時接続されています。そして、トラブルや外部からの不正侵入などがないように、専門スタッフが24時間365日体制で常時監視しています。
また、各サーバは、お客様自身が所有する独自ドメインで運用されています。お客様のホームページアドレスは「http://www.(お客様のドメイン名)」、メールアドレスは「xxxx@(お客様のドメイン名)」となり、お客様自身のドメイン名が直接アドレスの一部になります。

ホスティングサービスに含まれないもの

ホスティングサービスに次の内容は含まれません。あらかじめご了承ください。

【ホームページの制作・運営】
ホスティングサービスは、ホームページの制作や、運営自体を提供したり、受託するサービスではありません。ホームページの制作は、自社で作成するか、専門の制作会社などへ委託することができます。また、情報提供などインターネットでのサービスを行うときの運営方法も、自社で行ったり、広告代理店やコンサルタントに相談、委託するのが一般的です。なお、このマニュアルでも、ホームページの外部委託（外注制作など）やホームページを宣伝する方法（アウトソーシング）についても、簡単に触れていますので参照してください。

【インターネット接続サービス】
ホスティングサービスは、お客様が持っているパソコンをインターネットに接続するサービスではありません。このようなサービスはインターネット接続サービスといい、そのサービスを提供している事業者はインターネット接続サービスプロバイダ（ISP、以下プロバイダ）といいます。電話回線でインターネットに接続するダイアルアップ接続から、常時接続で複数人が使えるLAN接続サービスまで、約2500社が月額数千円～数十万円で提供しています。雑誌などで目的に合ったプロバイダを探してご契約ください。

2-2 プロバイダ提供のホームページ開設サービスとの違い

多くのプロバイダでは、インターネット接続サービスと共にホームページ公開のためのサービスを提供しています。プロバイダ提供のサービスとサイトサーブの違いは次の通りです。

- ホームページアドレス（URL）が、プロバイダのドメイン（例：http://www.***.ne.jp/~estore-jp/）ではなく、お客様が所有するインターネットドメイン（例：http://www.estore-jp.com）となる
- CGIの制限や商用利用に関する規制が極めて少ない

※一部のプロバイダでは、上の2項目を実現しているところもあります。

3. サービス利用に必要な機器

3-1 パーソナルコンピュータ

メールの送受信、ホームページ作成とアップロードなどを行うために必要です。
代表的なものに、マイクロソフト社のWindows（Windows９５、Windows９８、WindowsNT、WindowsMe、Windows２０００、WindowsXP）が動作するパソコンと、アップルコンピュータ社のMacintoshコンピュータがあります。

3-2 通信機器

パソコンをインターネットに接続するために必要です。
モデム、TA、ルーターなど、接続サービスの形態によって必要な通信機器が違います。詳しくは契約したプロバイダやパソコンの販売店にご相談ください。また、常時接続の場合は、サービス内容によってネームサーバの利用方法に制限がありますので、ご利用の際は、サイトサーブヘルプデスクにお問い合わせください。

3-3 ウェブブラウザ（ホームページ閲覧ソフト）

作成したホームページが正しく表示されることを確認したり、ヘルプデスク画面にアクセスして各種設定を行ったりするために必要です。
代表的なウェブブラウザ（以下、ブラウザという）に、マイクロソフト社のInternet Explorer、ネットスケープ社のNetscape Communicatorなどがあります。Internet Explorerは、Windowsパソコンやアップルコンピュータ社のiMacなどにインストールされています。また、最新のバージョンは、コンピュータ雑誌の付録CD-ROMに収録されている場合が多いので、それらから入手することもできます。

注意
ブラウザのオートコンプリート機能について
サイトサーブを利用する上での各種設定は、お客様自身がブラウザを使ってヘルプデスク画面にアクセスして行います。その時使用するブラウザの中には、画面で入力するユーザアカウントやパスワードを自動的に記憶する機能を持つものがあります。この機能を「オートコンプリート機能」と呼びます。これはとても便利な機能ですが、複数の人で同じパソコンを使用する場合、使用者が別の人のユーザアカウントやパスワードを使用してサービスセンターにアクセスし、サイトサーブの各種設定を変更してしまう危険性があります。その場合は、ブラウザのオートコンプリート機能を解除するか、オートコンプリート機能がついていないブラウザを使用してください。オートコンプリート機能についての詳細は、ブラウザのマニュアルを参照するか、ブラウザのメーカーにお問い合わせください。

3-4 メールソフト

メール送受信に必要です。（サイトサーブには、メールの送受信をブラウザで行うことができる「ウェブメール」というサービスがありますが、一部の機能が制限されます）
代表的なメールソフトに、マイクロソフト社のOutlook Expressなどがあります。Outlook Expressは、WindowsパソコンやアップルコンピュータのiMacなどに、インストールされています。また、Internet Explorerと一緒にコンピュータ雑誌の付録CD-ROMに収録されている場合が多いので、それらから入手することもできます。

3-5 プロバイダとのインターネット接続サービスの契約

サイトサーブでは接続サービスを行っていませんので、インターネットへの接続にはプロバイダとの契約が必要です。

接続サービスには、必要なときにだけ接続するダイアルアップ接続や、専用線で常時接続しいつでもインターネットが利用できる常時接続サービスなどがあります。また最近では、NTT東日本・西日本によるIP接続網の定額料金サービス（フレッツISDN／ADSL）が一部地域ではじまり、各プロバイダもそれに合わせて月額数千円程度で常時接続サービスを提供しています。このほかに、ケーブルテレビ（CAYV）会社による常時接続サービスもあります。プロバイダは、パソコン雑誌の広告や記事で探すことができます。また、パソコンの販売店に行くと、たくさんのカタログやCD-ROMが無償で配布されています。利用地域と目的に合ったプロバイダを探してご契約ください。

以上が揃っていて、パソコンがインターネットに接続できるようになっていれば、サイトサーブをすぐに利用することができます。

4. 管理者とユーザについて

**サイトサーブでは、利用の対象を「管理者」と「ユーザ」に分けています。
また、それぞれに必要な情報を分けて説明しています。**

「管理者」

メールアドレスの発行や管理、ホームページの作成やアップロード、各種の設定・管理などを一元的に行う人です。管理者は、サイトサーブの管理と利用に関しては本書【管理編】、メールの利用に関しては【メール編】を参照してください。

「ユーザ」

「管理者」の管理の元、メールを中心に利用し、必要なときにホームページを作成する人です。メールの利用に関しては、【メール編】を参照してください。また、ホームページの作成など必要に応じて、本書【管理編】を参照してください。

※なお、本書で「ユーザ」と表記しているものは、サイトサーブをご利用になっている「管理者」と「ユーザ」を指します。また、「エンドユーザ」と表記しているものは、お客様が作成したホームページを利用する人を指します。

5. マニュアルの構成

**サイトサーブのマニュアルは、【管理者編】と【メール編】の2冊に分かれています。
それぞれのマニュアルの目次構成は、次のようになっています。**

【管理者編】

本マニュアルです。「管理者」がサイトを運営するにあたって必要な説明をしています。「管理者」となる人は、必ずお読みください。

1章　はじめに

本章です。サービスの概要や必要事項など、サイトサーブの利用にあたって理解しておく必要のあることをまとめています。

2章　各種管理と設定

メールアドレスの発行から、サイトサーブの各種設定と管理に関して説明しています。メールの利用方法、メールアドレスの個別の管理と設定については、【メール編】を参照してください。

3章　ホームページの作成

ホームページの作成方法から、アップロードして公開するまでの手順を説明しています。また、ホームページの作成として、CGIを使う方法についても説明しています。

4章　ホームページの告知と宣伝

公開したホームページの告知や宣伝について、一般的な方法について説明しています。

5章　困ったときに

サポートの受け方から、よくある質問と問題解決方法や、マニュアルで使用されている用語などについて説明しています。また、禁止事項が掲載されています。

機能別索引

「メールを受信するには？」「パスワードを変更するには？」といった、知りたい機能から参照するページを紹介しています。

【メール編】

「管理者」と「ユーザ」全員がメールを利用するにあたって必要な説明をしています。メールを利用する前には、必ずお読みください。

1章　はじめに

メールサービスの概要や必要事項など、メールの利用にあたって理解しておく必要のあることをまとめています。

2章　メールの利用

メールの送受信に必要な設定から、送受信の方法、ホームページやｉモードなどからのメールの利用方法、メールの各種設定に関して説明しています。

3章　困ったときに

よくある質問と問題解決方法について説明しています。また、禁止事項が掲載されています。そのほかのサポートや用語については、【管理者編】を参照してください。

注意

本マニュアルで説明する範囲について

本マニュアルでは、サイトサーブの利用のために必要な操作手順を説明しています。
ただし、その中でも次の内容は特に説明していません。必要に応じて関連書籍などを参照してください。

●基本的なパソコン操作

・パソコンやソフトの起動・終了方法
・クリックやダブルクリックなどのマウス操作
・文字の入力方法（日本語、漢字、アルファベットの入力方法の違い）

パソコン付属のマニュアルや市販の解説書などを参照してください。

●メールソフト・ブラウザの使い方

各ソフト付属のマニュアルや市販の解説書などを参照してください。

●インターネットへ接続する方法

契約したプロバイダのマニュアルをご参照してください。

●ホームページの作成方法

ホームページのしくみやhtml・CGIプログラムなどについては、市販の解説書などを参照してください。また、個々のホームページ作成ソフトの使い方については、ホームページ作成ソフト付属のマニュアルを参照してください。

第2章

各種管理と設定

この章では、管理者が行う各種設定の方法について説明します。

管理者は、一般ユーザがメールを利用するために、一般ユーザ用のメールアドレスを発行したり、ホームページを開設・運営した場合は利用状況の把握や状況に合わせた設定の変更などを行います。このような管理・設定は、すべてブラウザで管理のためのページ(サービスセンター)にアクセスして行います。

1. 管理者の作業 …… 14
2. サービスセンターへのアクセス方法 …… 15
3. メールアドレスの管理 …… 17
4. メールの各種設定 …… 20
5. サイトサーブ全般の管理 …… 33

第2章

1. 管理者の作業

ここで、管理者の作業について説明します。
管理者は、サイトサーブのメールサービスを利用するユーザの管理と、公開したホームページの利用状況を把握し、運用がスムーズに行われているかどうかを管理します。これらの作業は、すべて管理者のユーザアカウントを使用して、管理者用画面（サービスセンター）にアクセスして行います。

メールアドレスの発行と管理

管理者には、ユーザのメールアドレスの発行と削除を行う権限があります。
サイトサーブのメールサービスを利用するユーザのメールアドレスを発行し、メールアドレスとパスワードの設定値をユーザに渡します。
また、ユーザが、メールアドレスの使用権利を失ったときは、不用なメールアドレスを削除します。
ユーザがメールアドレスを紛失したり、パスワードを変更して忘れてしまった場合は、削除してメールアドレスを再発行します。

メールの各種設定

管理者は、メーリングリストの設定、標準提供メールアドレスの転送先を設定したり、自動返信の内容を作成したり、ウィルスフィルタの設定を行います。
「info@～」「webmaster@～」「postmaster@～」の3つのメールアドレスに届くメールの転送先を設定します。「info@～」に対しては、自動返信を設定することができます。
メーリングリストを使用する場合は、メーリングリストへのメンバーを設定したり、不用になった場合はメンバーを削除します。
また、メールサーバに届くメールにウィルスがあるかどうかチェックして、ウィルスがある場合は、駆除するウィルスフィルタ（有料サービス）の申し込みができます。

サイトサーブ全般の管理

管理者は、サイトサーブ全般、ホームページに関するアクセス履歴の記録をとったり、アクセス制限の設定を行います。
公開したホームページへの利用状況を把握するためにアクセス履歴を参照したり、その記録の保存期間などを設定します。また、ホームページへのアクセス制限を行ったり、利用できるアカウントを発行することができます。

2. サービスセンターへのアクセス方法

管理者が各種設定を行うサービスセンターへアクセスします。

管理画面の表示

❶ ブラウザを起動し、アドレスバーにヘルプデスクページの
URL(http://help.(お客様のドメイン名))を入力します。

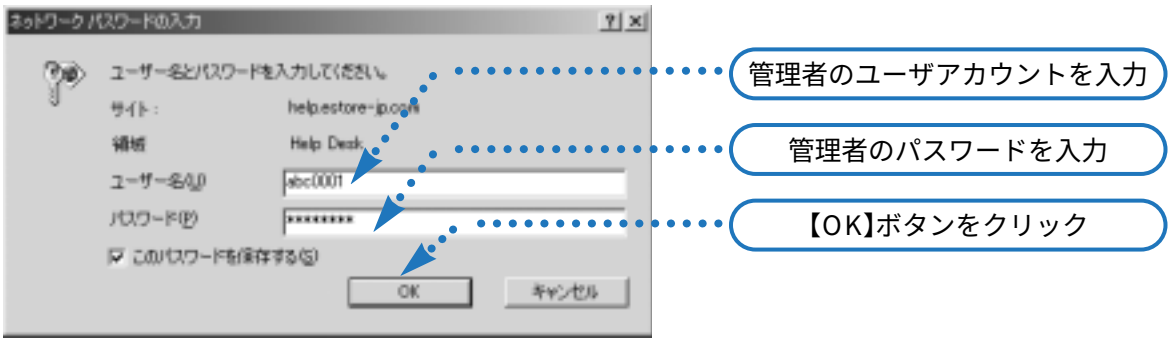
ヘルプデスクページが表示されます。

❷ ヘルプデスクページの**[GO TO SERVICE CENTER]**、
または**[GO TO SERVICE CENTER(データの暗号化)]**をクリックします。

※**[GO TO SERVICE CENTER(データの暗号化)]**をクリックすると、その後に入力するユーザ名とパスワードを暗号化して安全に送信することができます。ただし、暗号化しない場合に比べてユーザ認証に時間がかかります。

[ネットワークパスワードの入力]ダイアログボックスが表示されます。

❸ **[ユーザ名]** テキストボックスに管理者のユーザアカウントを、**[パスワード]** テキストボックスにパスワードをそれぞれ入力し、**【OK】** ボタンをクリックします。



※管理者のユーザアカウントとパスワードは登録証に記載されています。ただし、パスワードを管理者自身で変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。

サービスセンターが表示されます。

サービスセンターは左右2つのウィンドウ(フレーム)に分かれています。左側の管理メニューから設定・変更したい項目をクリックすると、右側に設定画面が表示されます。

データの暗号化

インターネット上でやりとりされるデータは、理論的には誰でも見ることができます。そのため、他人に知られては困る情報をやりとりする場合、データの暗号化がよく使われます。例えば、多くのオンラインショップでは、注文者の住所や氏名、クレジットカード番号などの個人情報を暗号化することで、安全に買い物ができるようになっています。サイトサーブでは、お客様がサービスセンターへアクセスする際のユーザ認証にデータの暗号化を利用しています。また、お客様が開設するホームページにもオプションによって、暗号化サービスを利用することができます。

3. メールアドレスの管理

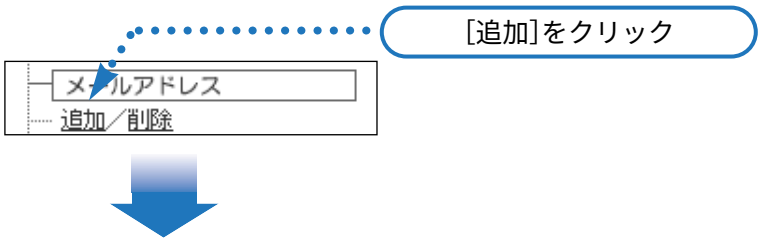
ここでは、一般ユーザ用のメールアドレスやメーリングリストの管理に必要な操作について説明します。

3-1 メールアドレスの追加・削除

一般ユーザ用のメールアドレスを作成(追加)したり、削除します。

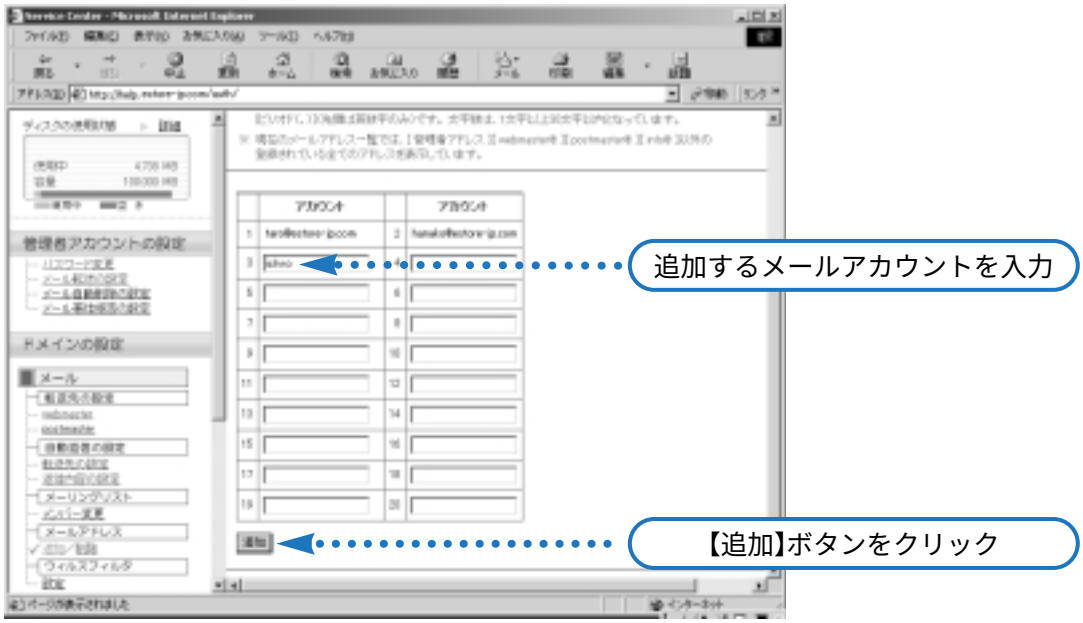
追　加

1 管理メニューから、メールアドレス**[追加]**をクリックします。



既に登録されているメールアドレスが表示されます。

2 テキストボックスに追加するメールアドレスのアカウント部分(メールアドレスの@より左側の部分)を入力し、**【追加】**ボタンをクリックします。

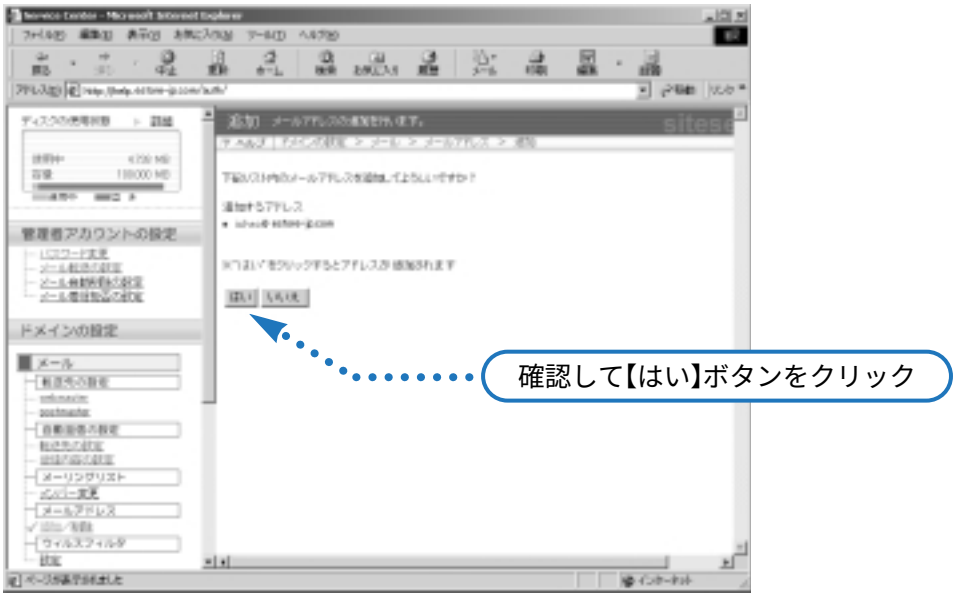


注意

メールアカウントの設定にあたっては、次のような制限があります。
メールアカウントの文字数
・1文字以上30文字以内
メールアカウントに利用できる文字
・半角英小文字(a～z)
・半角数字(0～9)
・半角ハイフン(-)
・半角アンダースコア(_)
・半角ピリオド(.)
※ただしアカウントの先頭には英数字のみ使えます。

確認画面が表示されます。

3 追加するメールアドレスを確認して、**【はい】**ボタンをクリックします。



メールアドレスの追加を確認する画面が表示されます。画面には次の内容が書かれています。メモをとるか、印刷をしてください。

・新たに追加されたメールアドレス
・　　〃　　ユーザアカウント（メールの送受信に必要）
・　　〃　　初期パスワード（メールの送受信に必要）

【追加】ボタンをクリックしてから2～3分後、管理者のメールアドレス宛に「Mail Account Modification Notice」というタイトルのメールが届きます。メールに確認画面と同じ内容が書かれていることを確認してから、新たに追加されたメールアドレスをご利用ください。
メールの追加画面のアカウント一覧に、入力したメールアドレスが追加されます。

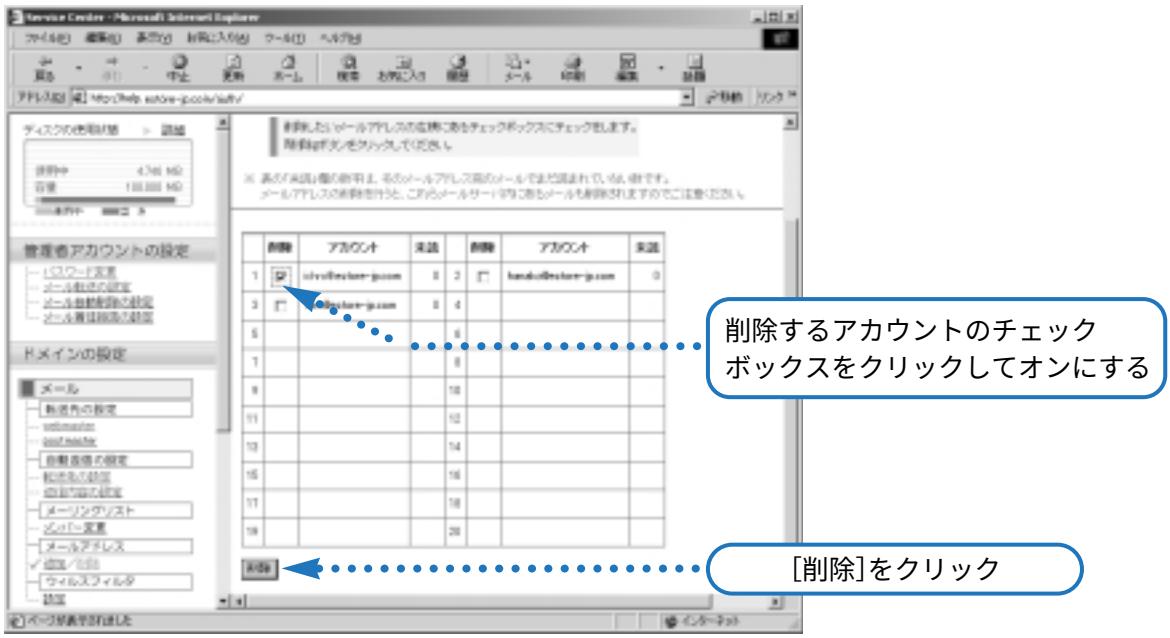
> **参考**
> メールアドレスは、標準で50個、最大で1000個まで追加できます。ただし50個を越える場合は有料になります（10個追加につき1000円／月）。50個までメールアドレスを追加すると、自動的にテキストボックスの入力欄が増えます。

削　除

1 管理メニューから、メールアドレス**[削除]**をクリックします。

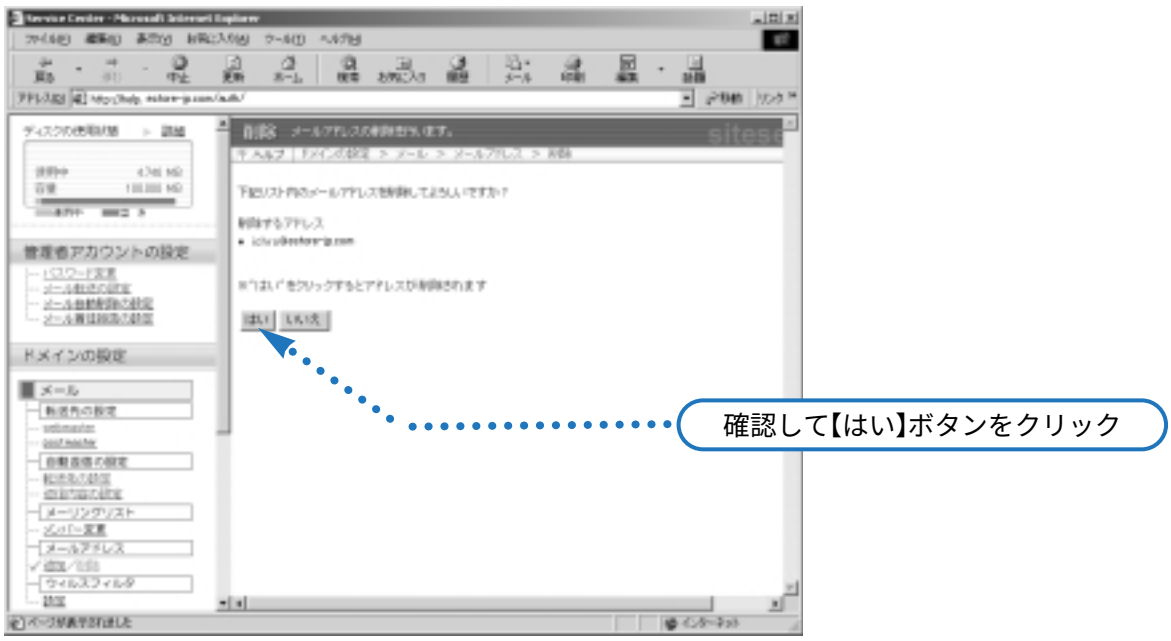
現在登録されているメールアカウントが表示されます。

2 削除したいメールアカウントの左側にある**【削除】**チェックボックスをクリックして、**【削除】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

3 削除するメールアドレスを確認して、**【はい】**ボタンをクリックします。



メールアドレスの削除を確認する画面が表示されます。画面には次の内容が書かれています。

・削除されたメールアドレス

【削除】ボタンをクリックしてから2～3分後、管理者のメールアドレス宛に「Mail Account Modification Notice」というタイトルのメールが届きます。メールに確認画面と同じ内容が書かれていることを確認してください。メールの追加画面のアカウント一覧からメールアドレスが削除されています。

4. メールの各種設定

ここでは、「webmaster@」「postmaster@」「info@」の転送設定や自動返信設定、メーリングリストの設定などのメールの管理に関する設定について説明します。

4-1 「webmaster@」「postmaster@」「info@」の転送設定

「webmaster@(お客様のドメイン名)」「postmaster@(お客様のドメイン名)」「info@(お客様のドメイン名)」に届いたメールの転送設定を行います。

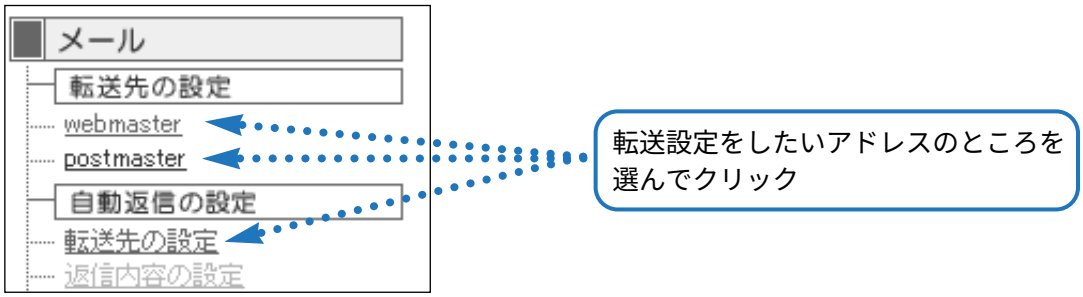
一般的に、これらのメールアドレスは、企業が公開しているホームページ等で、顧客からの問い合わせを受け付けるメールアドレスとして使われます。サイトサーブでは、この3種類のメールアカウントをあらかじめ用意してあります。そこから問い合わせ担当者のメールアカウントへ転送設定をすることで、顧客からの問い合わせをスムーズに処理することができます。

注意

「webmaster」「postmaster」「info」は、転送専用アドレスです。メールソフトを使って直接メールを送受信することはできません。必ず転送先を設定して、転送先メールアカウントで送受信してください。
標準では、管理者メールアドレスが転送先に設定されています。

転送の設定

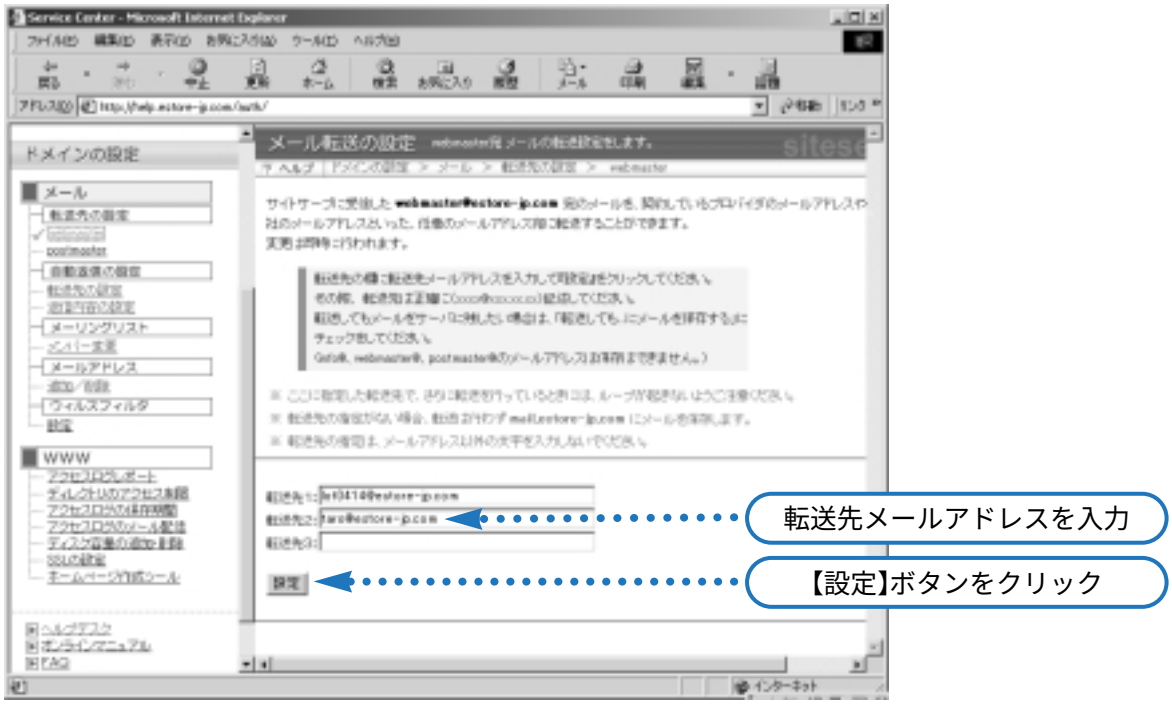
1 管理メニューから、**転送先の設定[webmaster(または[postmaster]、自動返信の設定[転送先の設定])**をクリックします。



メール転送設定画面が表示されます。

2 設定の場合は**【転送先】**テキストボックスに転送先メールアドレスを入力します。
【設定】ボタンをクリックします。

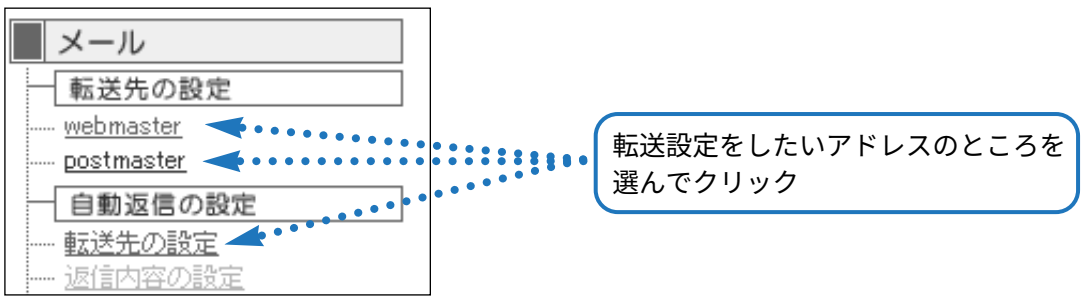
※転送先は、3つまで指定できます。



転送を設定したという確認画面が表示されます。
これにより、転送設定が完了します。

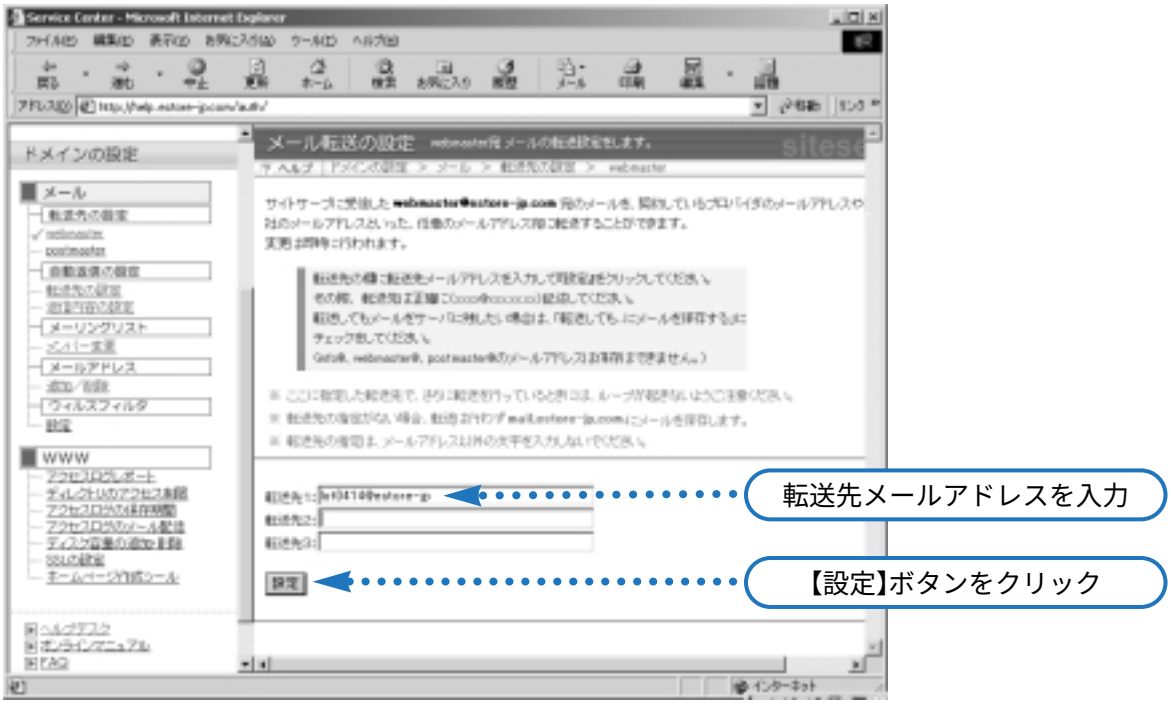
転送の解除

1 管理メニューから、転送先を解除したい転送先をクリックします。



メール転送設定画面が表示されます。

❷ 解除したい転送先のメールアドレスを削除します。
【設定】ボタンをクリックします。



「転送を設定しました。」という確認の画面が表示されます。

解除は、設定の一つとみなされます。これにより、残ったメールアドレスだけに転送されますので、削除したメールアドレスには転送されません。

4-2「info@」の自動返信設定

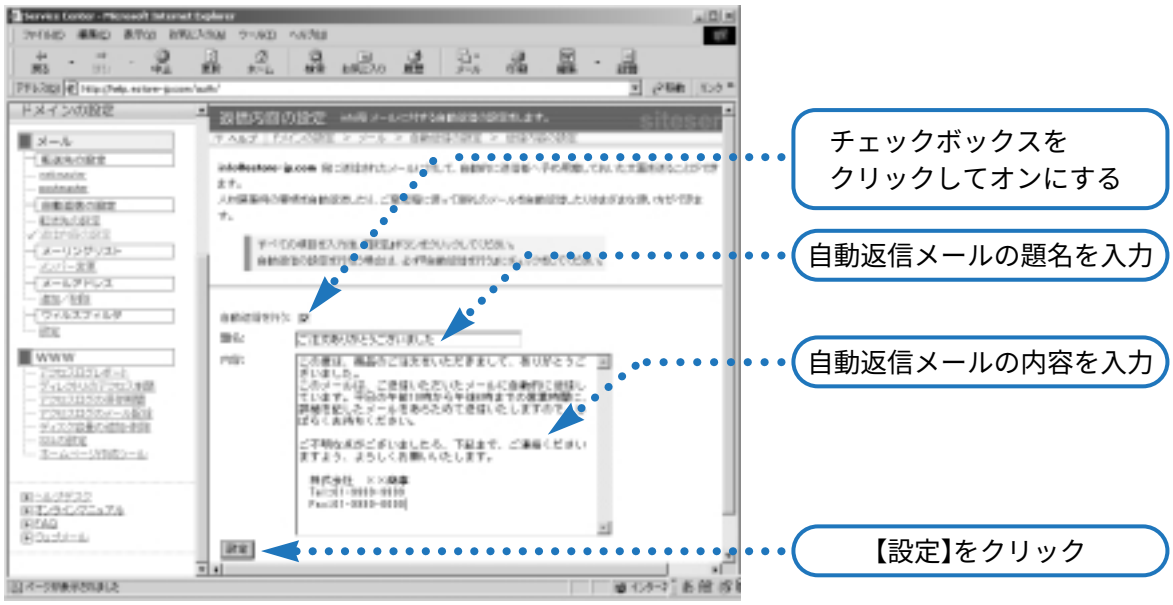
『info@』宛メールの自動返信と、その内容を設定します。
「info@」宛にメールが送られてきた時に、あらかじめ用意した文面で自動的にメールを返信することができます。自動返信によって、文面にメールの受付確認や正式な返事がいつ頃になるか、などの情報を、その場で差出人に伝えることができます。

自動返信の設定

❶ 管理メニューから、**自動返信の設定 [返信内容の設定]**をクリックします。

自動返信設定画面が表示されます。

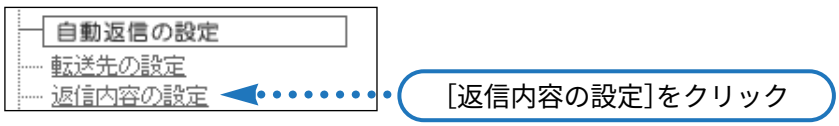
2 **[自動返信を行う]**チェックボックスをクリックしてオンにします。続けて、**[題名]** テキストボックス、**[内容]** テキストボックスに、それぞれ返信メールの題名と内容を入力して、**【設定】**ボタンをクリックします。



「自動返信を設定しました。」という確認画面が表示されます。
これにより、自動返信設定が完了します。

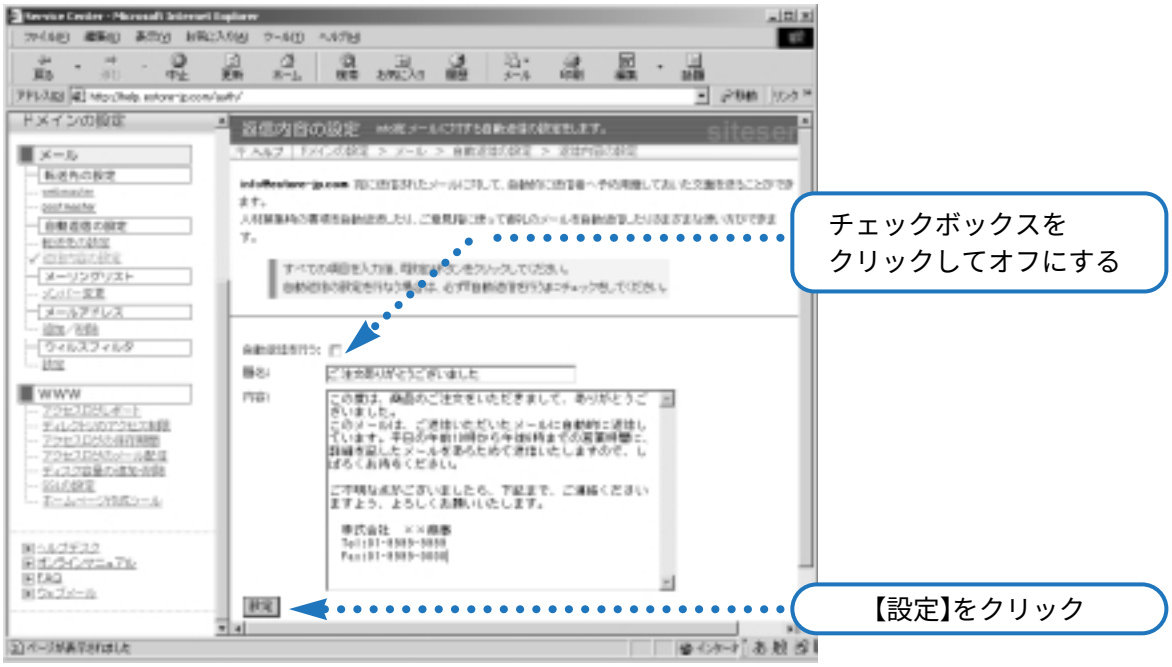
自動返信の解除

1 管理メニューから、**自動返信の設定 [返信内容の設定]**をクリックします。



自動返信設定画面が表示されます。

❷ **[自動返信を行う]**チェックボックスをクリックしてオフにします。このとき、**[題名]** **[内容]**に入力した内容は、削除する必要はありません。**【設定】**ボタンをクリックします。



「自動返信設定を解除しました。」という確認画面が表示されます。
これにより、自動返信設定が解除されます。

問い合わせ窓口のメールアドレス

企業のホームページでは、商品や業務内容、アフターサービスなどについての問い合わせをメールで受け付ける場合に、慣習としてよく使われるメールアドレスがいくつかあります。代表的なものは次の通りです。

- webmaster
- postmaster
- info
- support
- service

一般的には、これらのメールアドレスは転送専用で、そこから各担当者のメールアドレスに問い合わせメールを転送する場合が多いようです。例えば複数の担当者が共同で問い合わせに対応している場合、全担当者宛に転送設定をすれば、問い合わせ内容を全担当者で同じように把握できます。また、担当者が代わったときも、転送設定を変更するだけでスムーズに問い合わせの対応業務を移行できます。

4-3 メーリングリストの参加設定

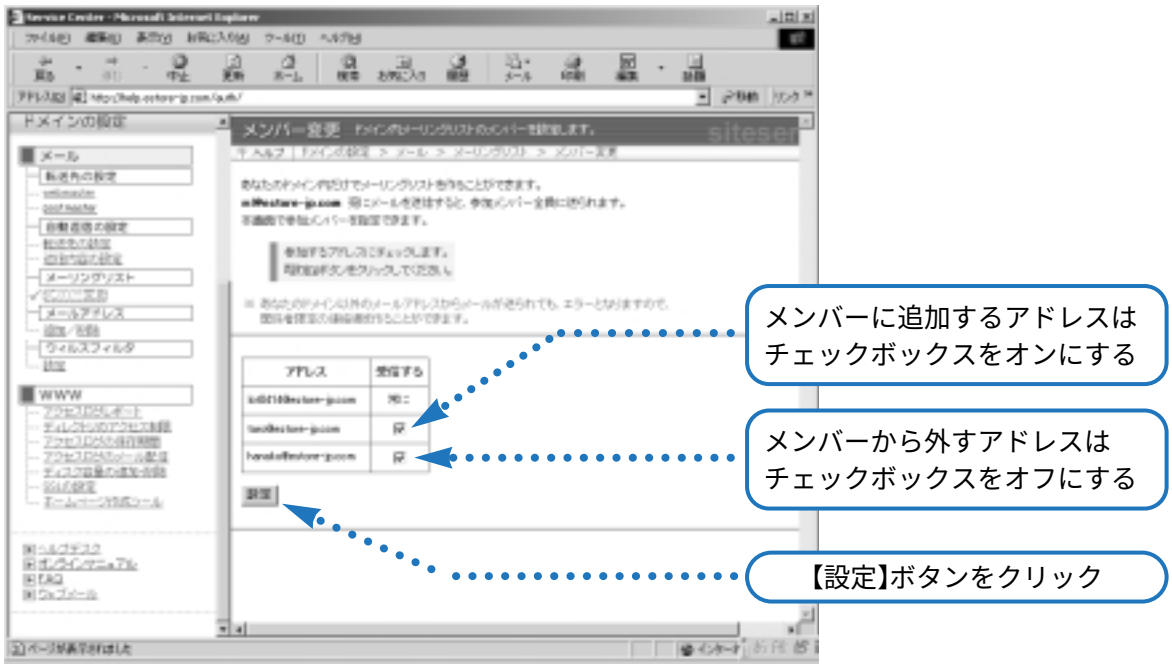
メーリングリストに参加するメンバー（メールアドレス）を追加・削除します。

参加メンバーの追加

1 管理メニューから、メーリングリスト**[メンバー変更]**をクリックします。

登録した全メールアドレスが表示されます。

2 メーリングリストに追加するメールアドレスのチェックボックスをクリックしてオンにします。
最後に**【設定】**ボタンをクリックします。



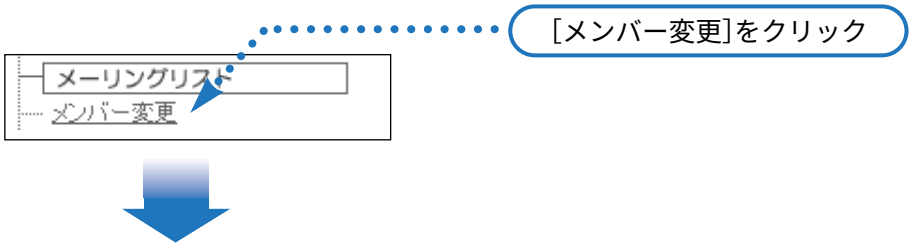
「メンバーを変更しました。」という確認の画面が表示されます。
これにより、メンバーが追加されます。

注意

サイトサーブで提供するメーリングリストは、お客様のドメイン内のメンバーだけが利用できます。お客様のドメイン以外またはメーリングリストに登録されていないメールアドレスからml@お客様のドメイン名宛にメールを送信しても、エラーとなりますので、ご注意ください。
お客様のドメイン以外のメールアドレスでも参加できるメーリングリストについては、専門の業者などで作成する必要があります。

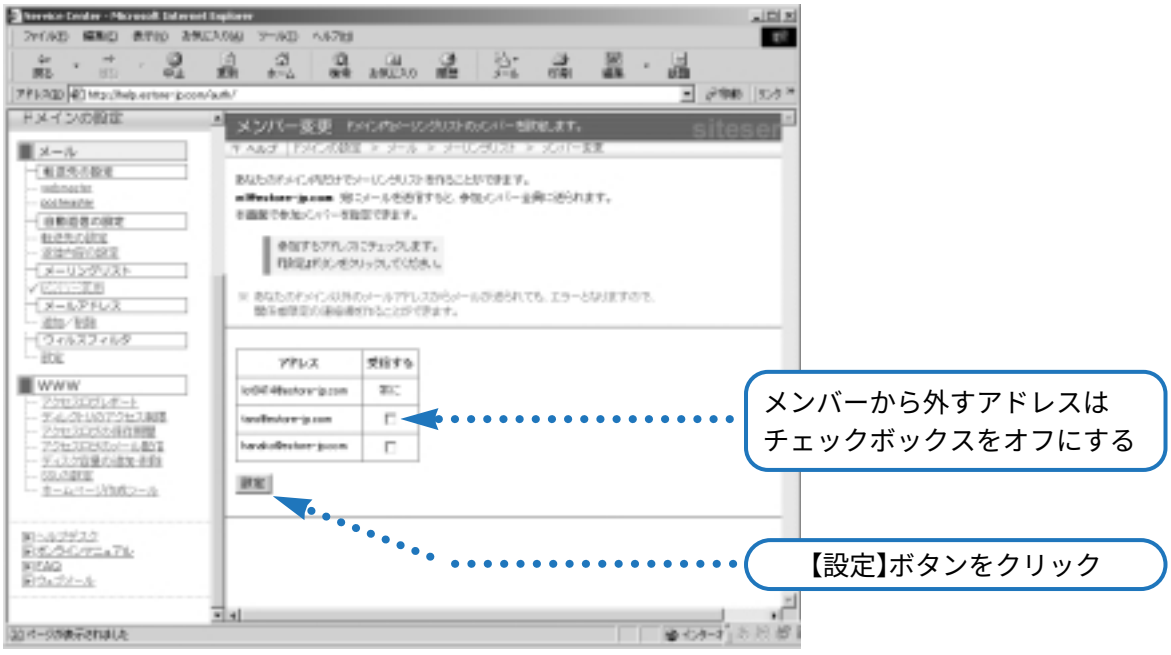
参加メンバーの削除

1 管理メニューから、メーリングリスト**[メンバー変更]**をクリックします。



メンバー変更画面が表示されます。登録された全メールアドレスが表示されます。その中で、現在メーリングリストに参加しているメールアドレスは、右側のチェックボックスがオンになっています。

2 メンバーから外したいアドレスのチェックボックスをクリックして、オフにします。
最後に**【設定】**ボタンをクリックします。



メンバーを変更したという確認の画面が表示されます。
メンバーの削除は、設定の一つとみなされます。これにより、オフにしたメンバーが削除されます。

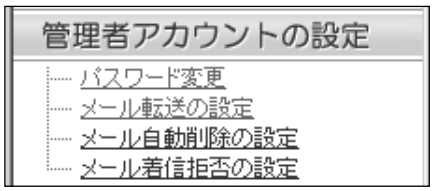
メーリングリスト

メーリングリストとは、特定多数のメンバーに同じメールを一斉送信するためのシステムです。メーリングリストの参加メンバーが、メーリングリスト用のメールアドレス(サイトサーブではml@(お客様のドメイン))宛にメールを送信すると、その内容がメーリングリストに登録された参加メンバー全員に届きます。仲間内の情報交換や、社内での連絡事項の伝達などに使われます。

4-4 管理者メールアドレスの管理

管理者のメールアドレスの管理を行います。

管理者のメールアドレスは、管理画面の**[管理者アカウントの設定]**を使って、ユーザのメールアドレス同様に、パスワード変更、メール転送の設定、メール自動削除の設定、メールの着信拒否の設定を行うことができます。



詳細の操作方法は、【メール編】の『第2章　メールの送受信』を参照してください。

4-5 ウィルスフィルタの設定

ウィルスフィルタサービスの設定・解除を行います。

ウィルスフィルタサービスは、サーバ側でメールの送受信の際にメールのウィルスをチェックし、ウィルスに感染していた場合自動で削除するサービスです。

利用にあたっては、あらかじめ利用申請を行う必要があります。また、利用をやめるときは、利用解除申請を行う必要があります。

参考

ウィルスフィルタの利用については、初期設定料5000円と、1ヵ月あたり1メールごとに200円のオプション料金がかかります。

1ヵ月あたりの利用料は、利用申請を行った日の24時から、末日までの間のメールアドレスの最大数によって算出されます。なお、管理者メールアドレス、標準メールアドレス(webmaster@ info@ postmaster@ ml@)は課金の対象外です。ただし、ウィルスチェックは行われます。

ウィルスフィルタサービスを解除した後で、再度利用申請をすると、初期設定料がかかります。

ウィルス検索・駆除のエンジンは、株式会社シマンテック社製を採用しています。管理用メールアドレス(任意のメールアドレス)を登録することにより、全メールアドレスの被害状況を確認することができます。

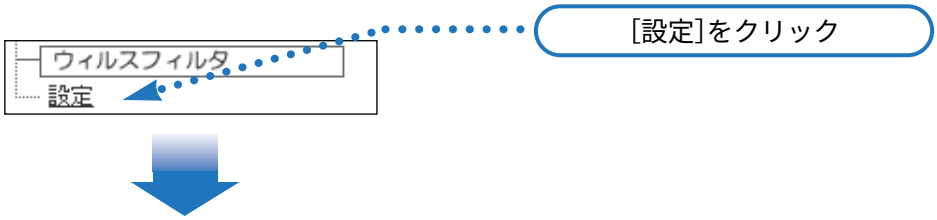
ウィルスフィルタの動作

	駆除可能なウィルス	駆除不可能なウィルス
メール受信時	(1)添付ファイルからウィルス部分を取り除き(無効化)受信 (2)受信者へメールにて通知 (3)管理用メールアドレスへメールにて通知	(1)受信しません (2)受信者へメールにて通知 (3)管理用メールアドレスへメールにて通知
メール送信時	(1)添付ファイルからウィルス部分を取り除き(無効化)送信 (2)送信者へメールにて通知 (3)管理用メールアドレスへメールにて通知	(1)送信しません (2)送信者へメールにて通知 (3)管理用メールアドレスへメールにて通知

注意 お客様のパソコンのウィルスをチェックするものではありません。

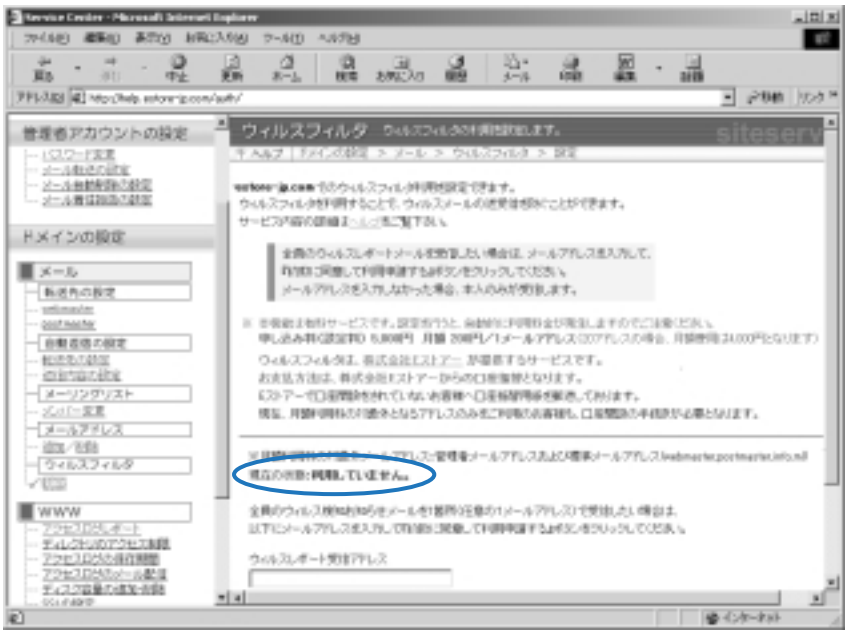
ウィルスフィルタの利用申請

1 管理メニューから、ウィルスフィルタ**[設定]**をクリックします。

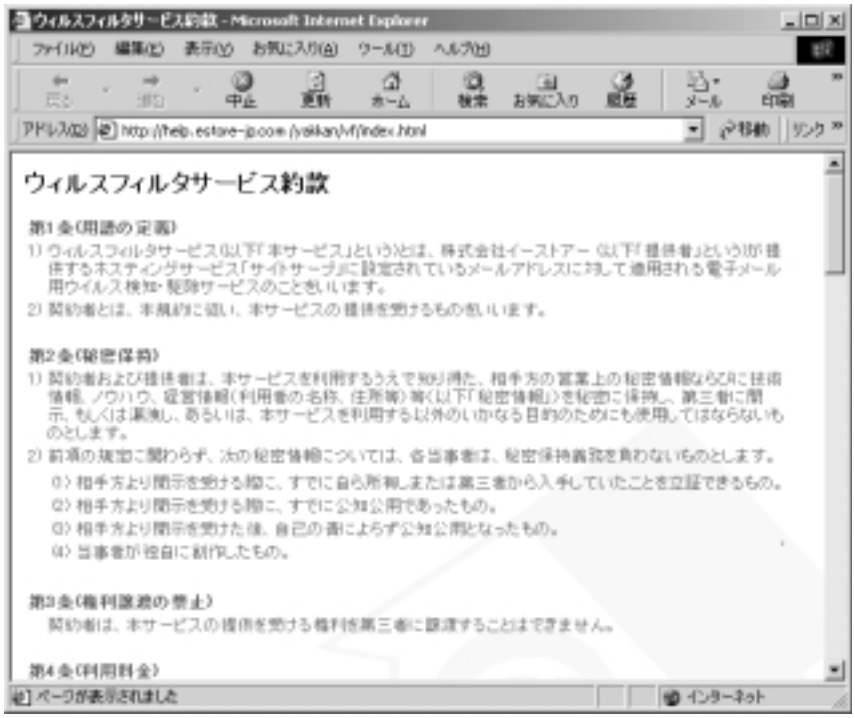


ウィルスフィルタ利用申請の画面が表示されます。

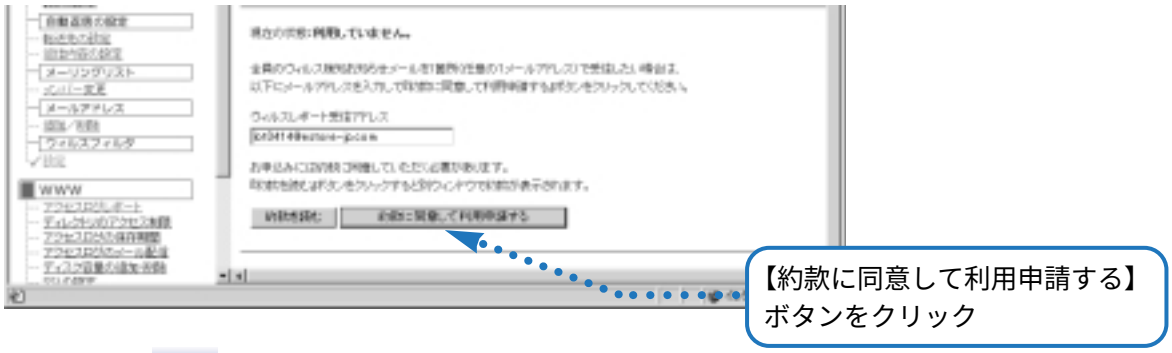
2 現在の状態が、**「利用していません。」**であることを確認します。



3 利用の前には、必ず**【約款を読む】**をクリックして、約款を読んでください。



約款を読んだ後、**[ウィルスフィルタ設定画面]**に戻って、ウィルスレポート受信アドレスを入力し、**【約款に同意して利用申請する】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

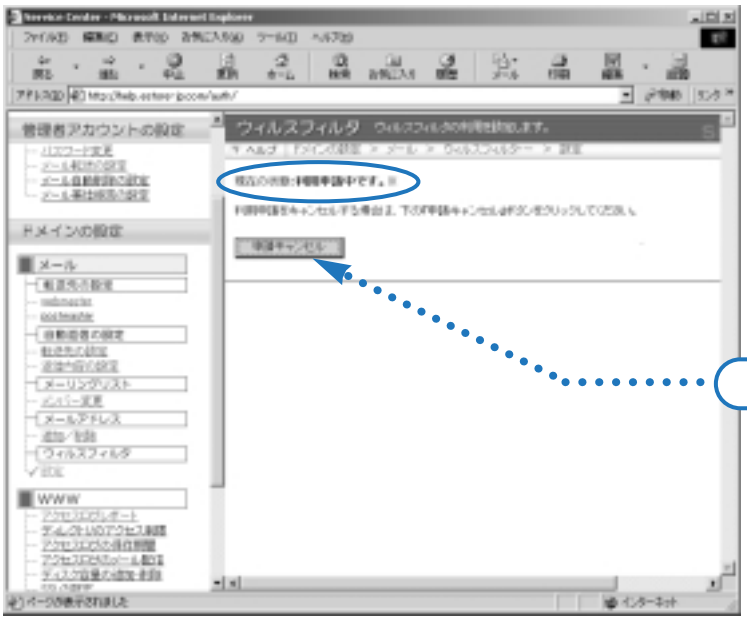
4 **【決定】**をクリックします。

設定をしたという確認画面が表示されます。
これにより、利用申請が完了します。

DNSの設定が必要ですので、利用できるようになるまで多少時間がかかります。通常は、翌日の早朝から利用できるようになります。また、利用申請時のキャンセル処理は、申請時の24時までできます。

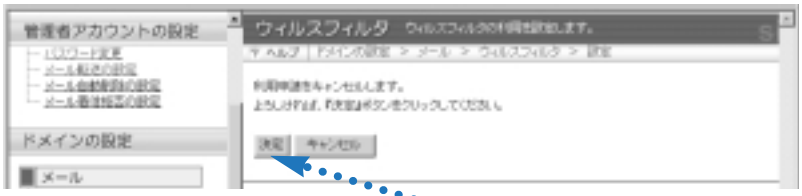
利用申請後、申請をキャンセルする場合

1 ウィルスフィルタ利用申請の画面で、現在の状態が**「利用申請中です。」**であることを確認し、**【申請キャンセル】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

2 **【決定】**ボタンをクリックします。



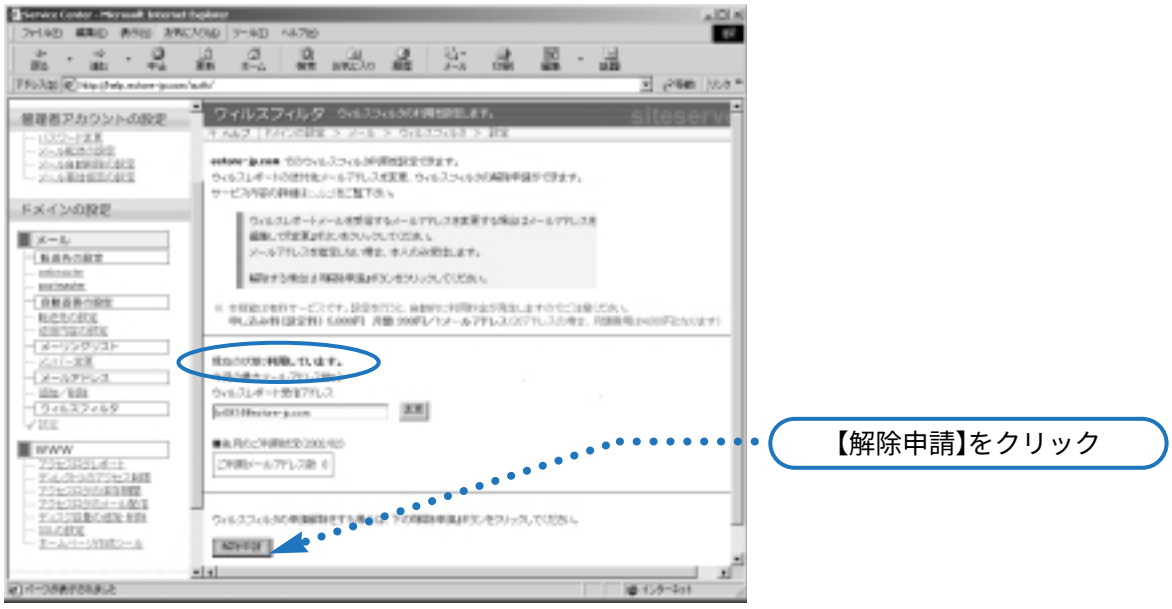
申請を解除したという確認画面が表示されます。
これにより、申請のキャンセルが完了します。

ウィルスフィルタの解除申請

1 管理メニューから、ウィルスフィルタ**[設定]**をクリックします。

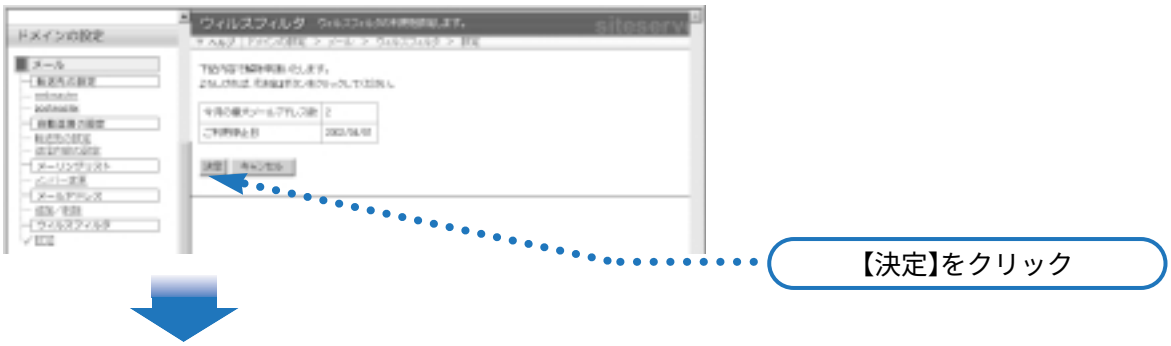
ウィルスフィルタ利用申請の画面が表示されます。

2 現在の状態が**「利用中です。」**であることを確認し、**【解除申請】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

3 **【決定】**をクリックします。



利用を解除したという確認画面が表示されます。
これにより、解除申請が完了します。

解除申請をしてから月末までは、サービスが利用できます。したがって、申請日の当月末まで解除申請キャンセル処理ができます。

解除申請後、解除申請をキャンセルする場合

1 ウィルスフィルタ利用申請の画面で、現在の状態が**「利用解除申請中です。」**であることを確認し、**【解除申請キャンセル】**ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

2 **【決定】**ボタンをクリックします。

解除申請をキャンセルしたという確認画面が表示されます。
これにより、解除申請のキャンセルが完了します。

5. サイトサーブ全般の管理

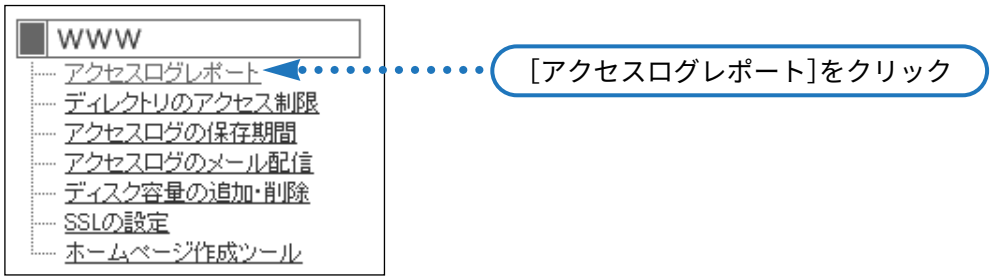
ここでは、サイトサーブ全体の運営を管理したり、公開したホームページに関する利用状況を把握したり、さまざまな設定について説明します。

5-1 アクセスログの閲覧

アクセスログを表示します。あわせて、それぞれのレポート項目の見方について説明します。
サイトサーブでは、開設したホームページに、いつ、どこから、何回アクセスがあったのかなどの情報を「アクセスログ」に記録します。このアクセスログは、「アクセスログレポート」で見ることができます。アクセスログを調べることで、「ホームページの中でも特にどのページが多く参照されているのか」「どの時間帯に最もアクセスが多いのか」などの傾向を調べることができます。

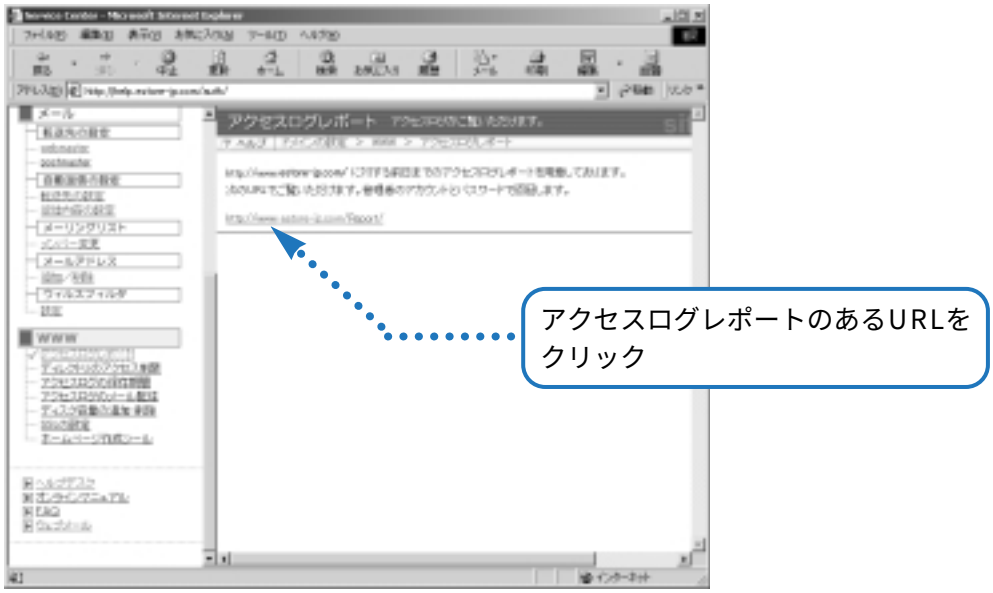
アクセスログレポートの表示

1 サービスセンターのWWW項目から、**[アクセスログレポート]**をクリックします。



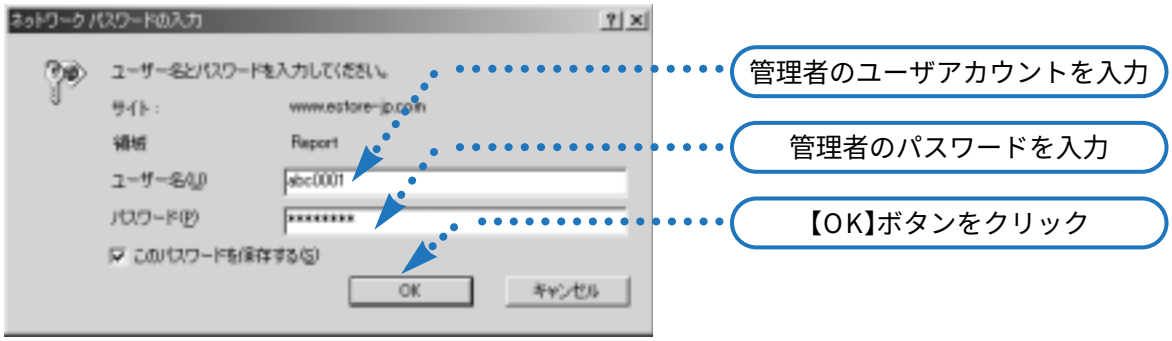
アクセスログレポートのあるURLが表示されます。

2 **アクセスログレポートのあるURL(http://www.(お客様のドメイン名)/Report/)**をクリックします。



ブラウザのウィンドウが新たに開き、**[ネットワークパスワードの入力]**ダイアログボックスが表示されます。

❸ **[ユーザ名]**テキストボックスに管理者のユーザアカウントを、**[パスワード]**テキストボックスにパスワードをそれぞれ入力し、**【OK】**ボタンをクリックします。



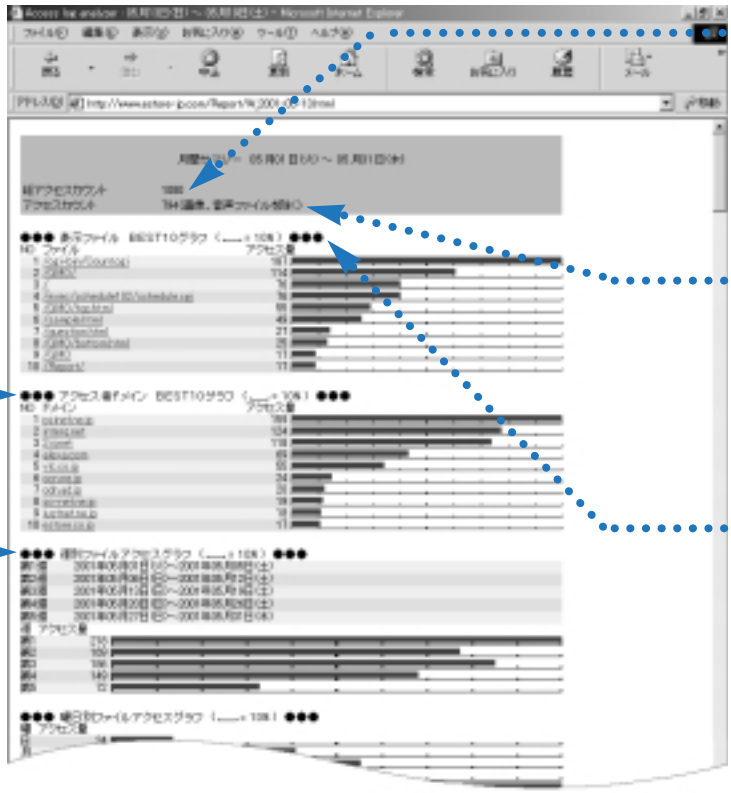
アクセスログレポートが表示されます。

アクセスログレポートの見方

アクセスログレポートは、期間別に3種類のサマリーに分かれています。

1. **月間ログサマリー（1ヶ月のログ統計）**
   常に前月2ヶ月間の統計が保存されています。
2. **週間ログサマリー（1週間のログ統計）**
   常に8週間前までの統計が保存されています。
3. **日次ログサマリー（1日のログ統計）**
   常に前日までの14日分の統計が保存されています。

ここでは、月間ログサマリーの画面を例に、各指標について説明します。



総アクセスカウント

htmlファイル、画像・音声ファイル、CGIファイルなどすべてのファイルに対するアクセス数の合計が表示されます。

アクセスカウント

総アクセスカウントから、画像・音声ファイルへのアクセス数を引いた数が表示されます。いわゆる「ページビュー」の数字になります。

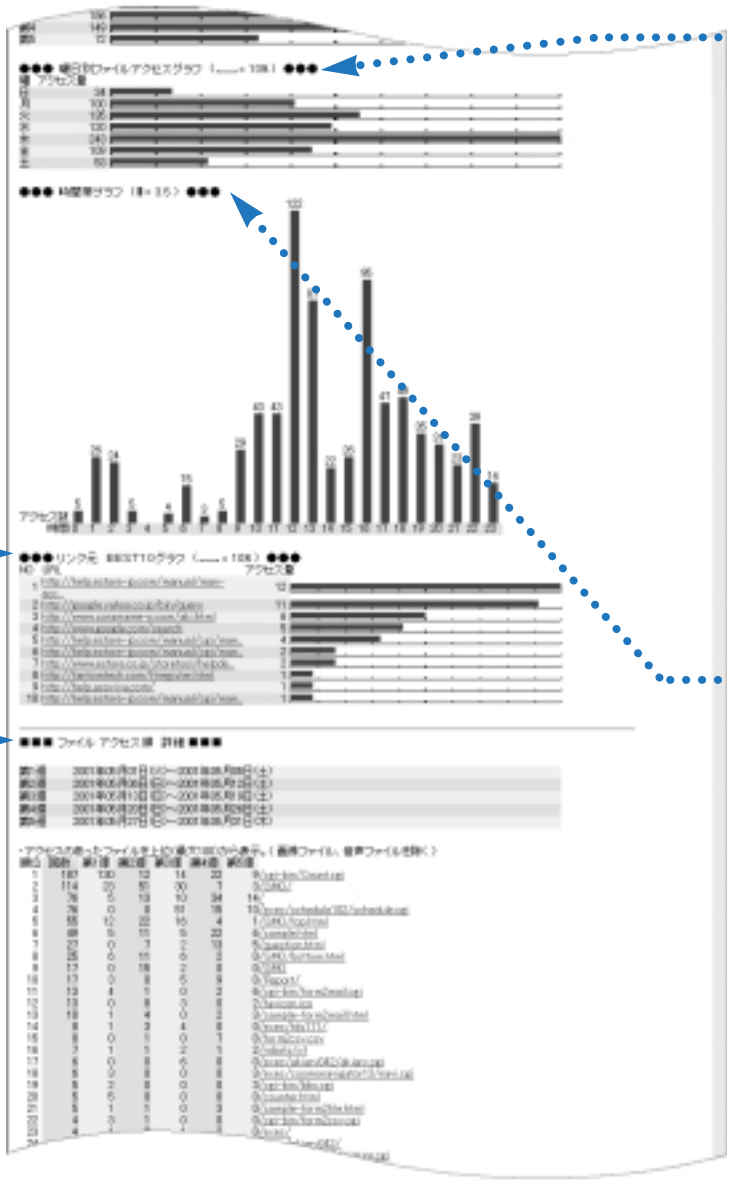
表示ファイル BEST10 グラフ

アクセスされたファイル名とそのアクセス数の、上位10位までがグラフで表示されます。このグラフで、ホームページの中で特にどのページに一番アクセスが集まっているのかがわかります。このデータは、事後に分析するだけではなく、事前の予測にも活用できます。たとえば、ホームページの内容からアクセス件数の仮説をたて、その通りの結果が出るのか、あるいは予想に反した結果が出るのかなどの試行錯誤を繰り返すことで、より正確にユーザーの動向パターンを把握できるようになります。

アクセス者ドメイン BEST10 グラフ

アクセス元のドメイン名とアクセス数の、上位10位までがグラフで表示されます。このグラフで、どのようなプロバイダや企業からアクセスがあるのかがわかります。
たとえば画面例にある「iij.net」は、インターネットのプロバイダを指しています。そして"プロバイダからアクセスしてきている"ということは、「個人が利用している可能性が大きい」ことを意味しています。また、企業名のドメインでアクセスしてきているとすれば「個人が会社から見ている」可能性が大きいのです。同じ個人であっても「自宅からか、会社からか」がわかるだけで、その利用動向を分析する大きな手がかりとなります。

週別ファイルアクセスグラフ（月間サマリーのみ）



曜日別ファイルアクセスグラフ（月間・週間サマリーのみ）

週別・曜日別にアクセス数がグラフで表示されます。このグラフから、どの週や曜日にアクセスが集中しているのかがわかります。例えば週末にアクセスが多いならば、できるだけ、週末前に最新情報へ更新しておくとよいことがわかります。また、週明けや、特定の曜日にアクセスが多いならば、時間帯や、アクセスしているドメインなどを調べて、綿密なプロファイリングを行います。希望商品をタイムリーに提供できるようになるはずです。

時間帯グラフ

１時間ごとのアクセス数がグラフで表示されます。このグラフから、１日のうちでアクセスの集中する時間帯がわかります。
ここで注目すべき点は「９時」「１２時」「１７時」、そして「２３時」です。９時というのは、多くの会社が仕事を始める時間です。この時間にアクセスが集中するならば、そのページは「定点観測」されている可能性があります。それだけ多くの人の興味を引き、毎日欠かさず見てもらえるサイトということです。１２時は休憩時間のピークです。職場であっても、息抜きやプライベートに見たいサイトなどは、この時間にアクセスが集中します。１７時は退社直前の時間です。"アフター５"など会社を出る前に見たいサイトであれば、この前後にアクセスが増加します。そして２３時というのは「テレホーダイ」の始まる時間です。インターネットを個人で頻繁に利用しているユーザーの集中する時間帯です。この時間にアクセスが集中するようであれば、個人が強い興味を示しているホームページということになります。

リンクによるアクセス数 BEST10 グラフ

リンク元ごとのアクセス数の、上位１０位までがグラフで表示されます。このグラフから、どこのサイトからのアクセス数が多いのかがわかります。
リンクを効果的に張ることは、自社のホームページを認知してもらう上で重要です。バナー広告を掲載するサイト、あるいは協力関係を結びたいサイトなどを探す上でも、かなり重要なデータと言えます。

ファイルアクセス順詳細

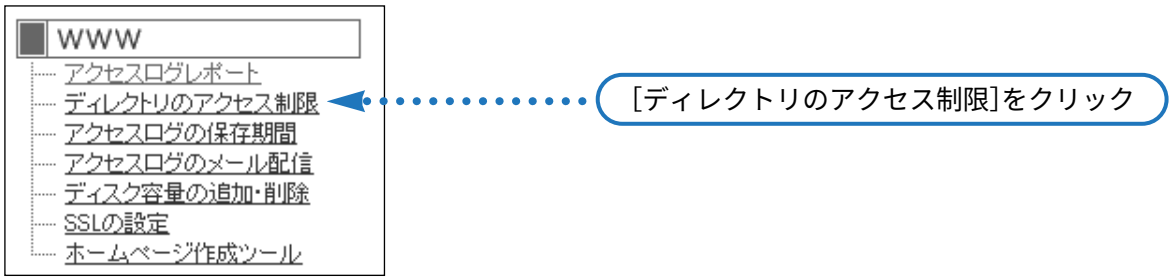
ファイルの種類（html・cgi・画像・音声ファイル）別に、アクセス数の上位１００位までが表示されます。この表から、どのコンテンツに人気があるのかがファイル単位で、詳細に把握できます。豊富な内容を持つホームページでは、ページ単位の人気調査に加え、さらにそのページのどの情報（ファイル）に人気が集まったのかという"突っ込んだ分析"が重要です。

5-2 ホームページのアクセス制限

許可された人以外はアクセスできないよう、サーバ上の特定のディレクトリにアクセス制限を設定します。
ホームページは、基本的に誰でもアクセスすることができるようになっていますが、サイトサーブでは、ディレクトリ単位でアクセスを制限することができます。アクセス制限を設定したページにアクセスしようとすると、ユーザ認証画面が表示され、そこに特定のアカウントとパスワードを入力しないとアクセスできないようになります。会員制のページや、社員専用のページ等によく使われます。

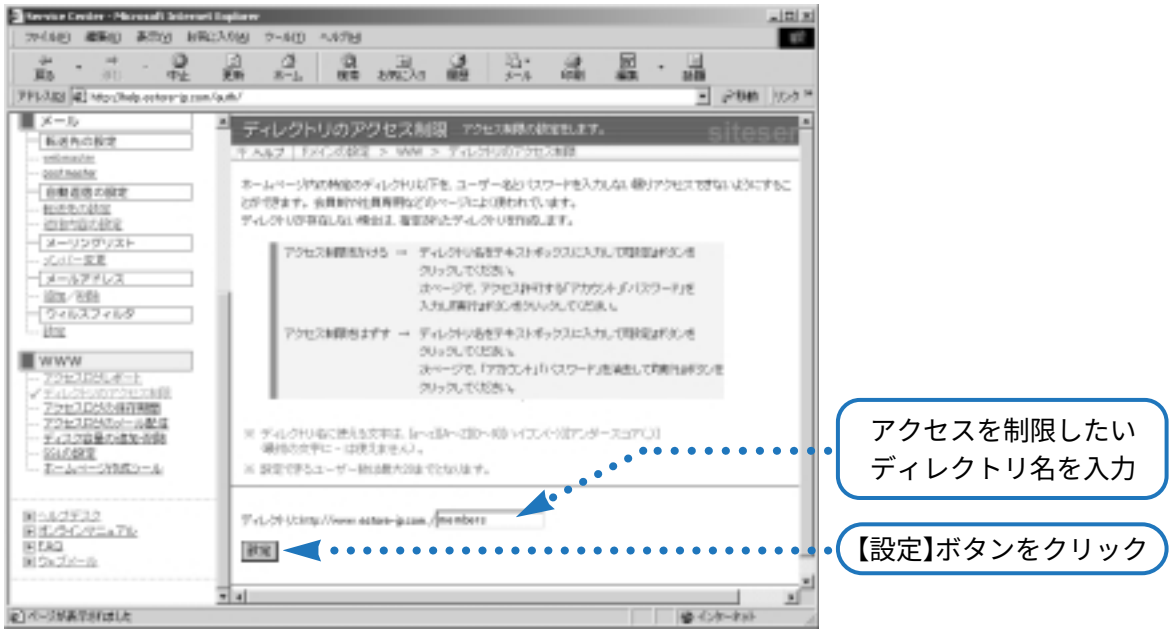
アクセス制限の設定

1 サービスセンターのWWW項目から**[ディレクトリのアクセス制限]**をクリックします。



ディレクトリのアクセス制限画面が表示されます。

2 アクセスを制限したいディレクトリ名を入力して**【設定】**ボタンをクリックします。



アクセス制限画面の続きが表示されます。

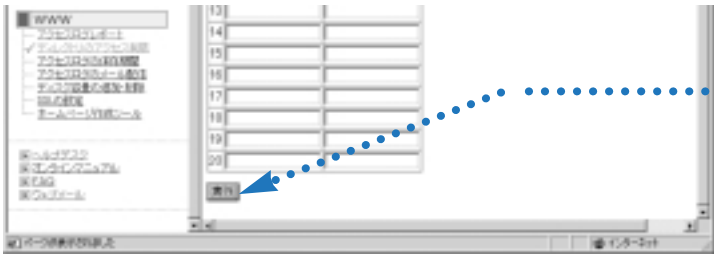
❸ アクセスを許可するためのアカウントとパスワードを入力し、【実行】ボタンをクリックします。

注意

アカウントとパスワードの設定には、次のような制限があります

使用できる文字の種類
- 半角英数字（A～Z,a～z,1～0）
- 半角アンダースコア（_）
- 半角ハイフン（-）

使用できる文字数
- 3文字以上8文字以下



設定した内容を確認する画面が表示されます。
これにより、設定が完了します。

注意

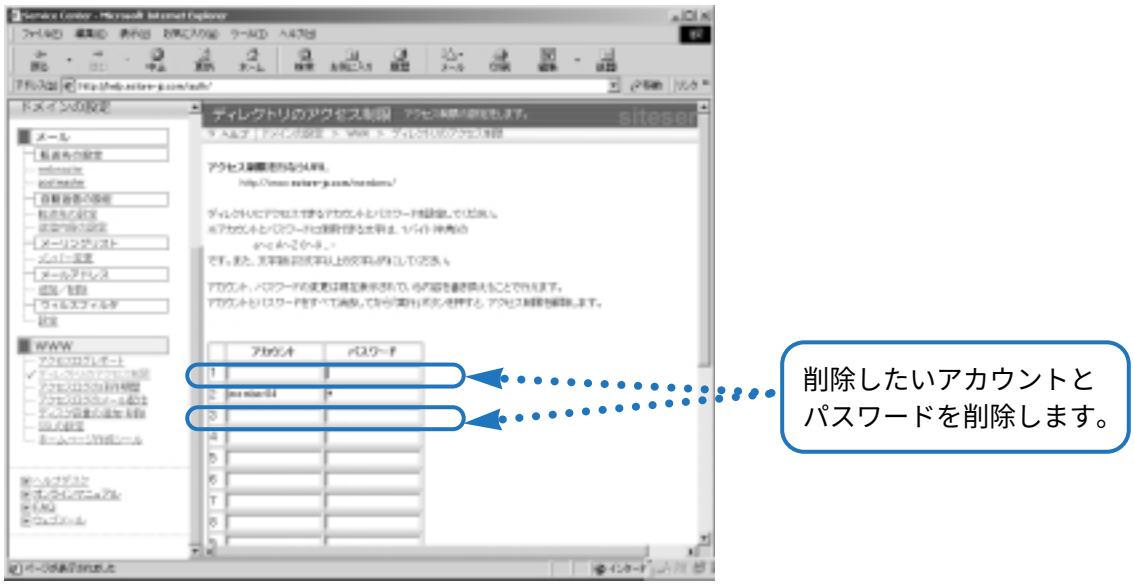
この設定画面では、アカウントは表示されますが、パスワードは表示されません。アカウントを作成するときに、パスワードのメモを作成するなど、自分で記録を残しておいてください。

アクセス制限の変更

❶ ディレクトリのアクセス制限の画面で、変更したいディレクトリ名を入力して【設定】ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

❷ アクセスの許可を削除したいアカウントとパスワードを削除します。【実行】をクリックします。



設定した内容を確認する画面が表示されます。
これにより、設定が完了します。

アクセス制限のアカウントの削除は、設定の一つとみなされます。これにより、削除したアカウントが削除されます。

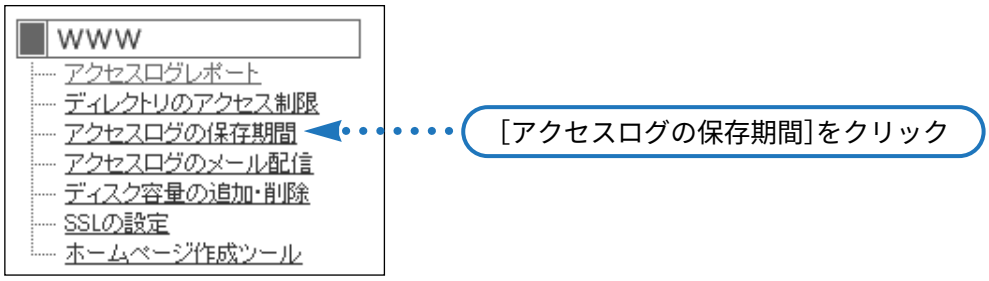
5-3 アクセスログ保存期間の設定

アクセスログの保存期間を変更します。
サイトサーブでは、アクセスログサマリーの元になっている、テキスト形式の「アクセスログ」を、サーバの「logs」ディレクトリに保存しています。ftpソフト等を使ってアクセスログをダウンロードし、市販のアクセスログ解析ソフトに取り込むと、より詳細にログを解析することができます。アクセスログは、一定期間（標準で0日）が経過すると自動的に削除されます。必要に応じて期間の長さを変更します。

※アクセスログの保存期間は、0日に設定してもアクセスログレポートは見ることができます。
※ファイルのダウンロード方法については、「3章 4 ホームページの公開」を参照してください。

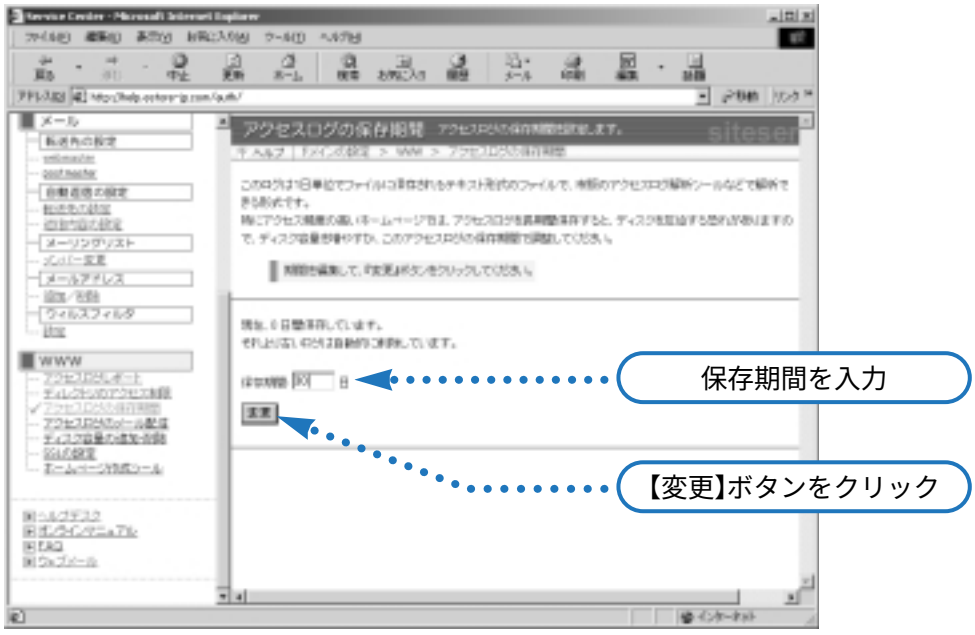
システムログ保存期間の設定

1 サービスセンターのWWW項目から**[アクセスログの保存期間]**をクリックします。



アクセスログ設定画面が表示されます。

2 **[保存期間]**テキストボックスに保存する日数を入力し、**【変更】**ボタンをクリックします。



保存期間の変更を確認する画面が表示されます。
これにより、設定が完了します。

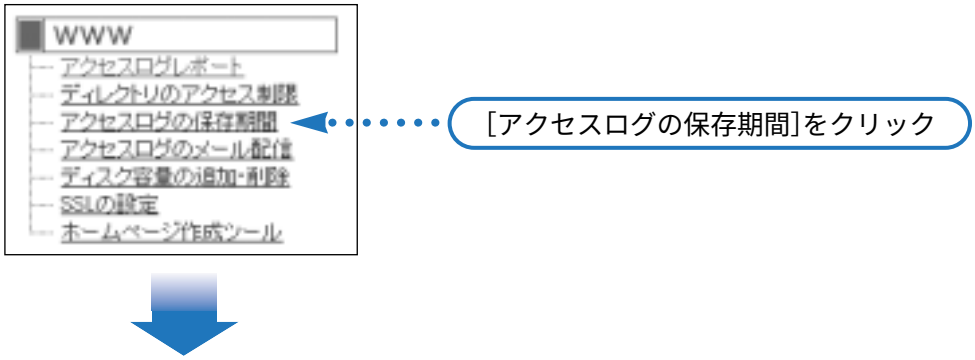
※アクセスログ設定画面で、保存期間を0日に変更すると、保存されません。

5-4 アクセスログのメール配信

蓄積されたアクセスログを、指定したサイクルでメールで受信できるように、メールアドレスを設定します。

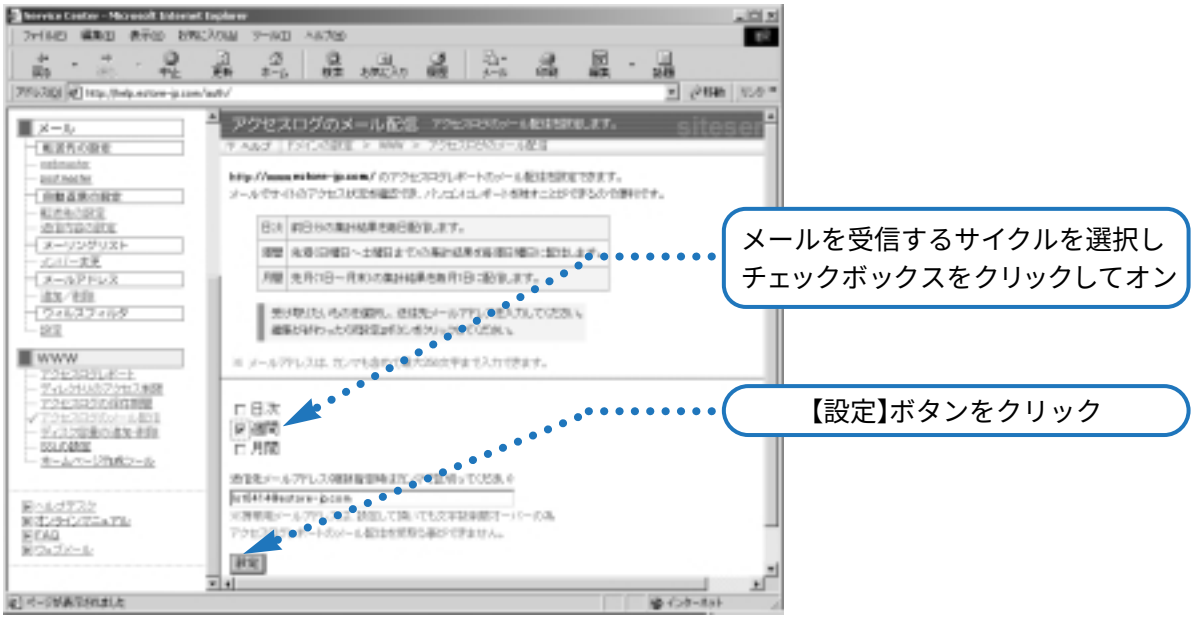
メール配信の設定

1 サービスセンターのWWW項目から、**[アクセスログのメール配信]**をクリックします。



アクセスログのメール配信の画面が表示されます。

2 アクセスログのメール配信の画面で、メールを受信するサイクルを選択してチェックボックスをクリックしてオンにし、送信先のメールアドレスを入力します。最後に**【設定】**ボタンをクリックします。

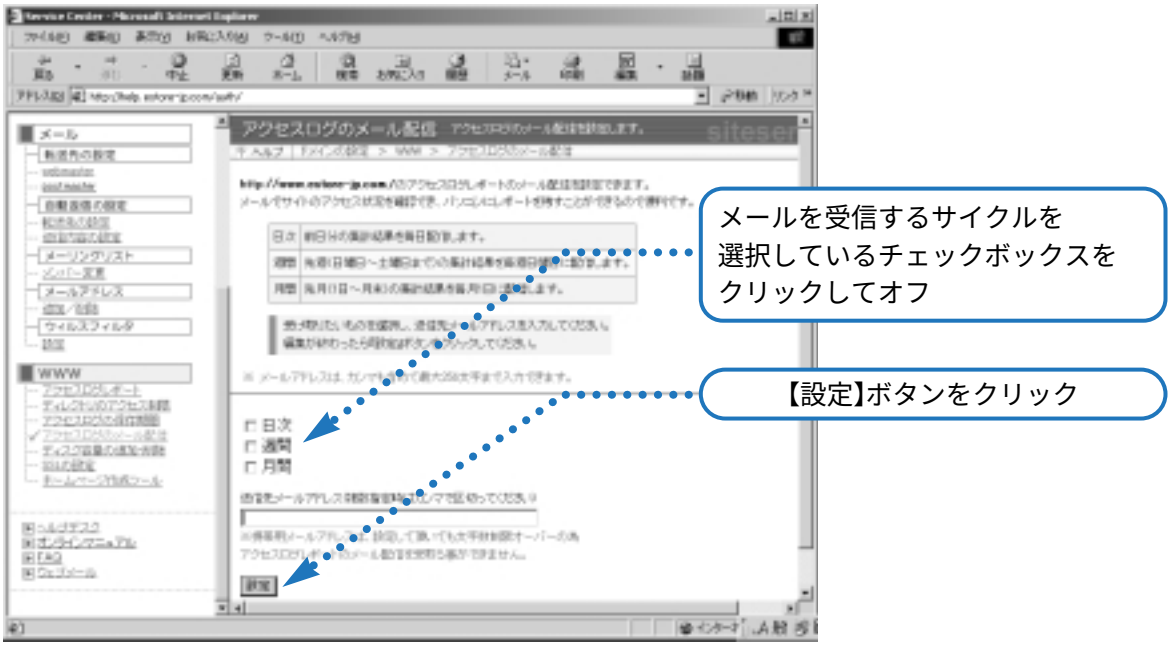


配信先リストの確認画面が表示されます。

これにより、アクセスログをメールで受信することができます。

メール配信の解除

❶ アクセスログのメール配信の画面で、メールを受信するサイクルを選択しているチェックボックスをクリックしてオフにします。最後に**【設定】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

これにより、アクセスログのメール配信を解除できます。

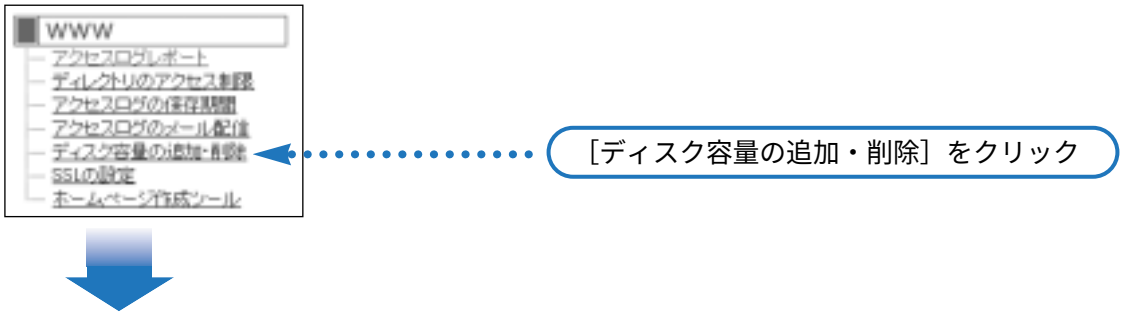
5-5 ディスク容量変更

サーバ上のディスクの総容量を確認し、必要に応じて変更します。
管理メニューには、ディスクの総容量と使用量が表示されています。使用量は不要なファイルやメールを削除することで節約できますが、それでも使用量が不足する場合は、ディスク容量を増やす必要があります。ディスク容量は標準で100MBですがが、最大1000MBまで追加・削除できます。

> **参考** ディスク容量の追加分については、50MBごとに5000円のオプション料金がかかります。

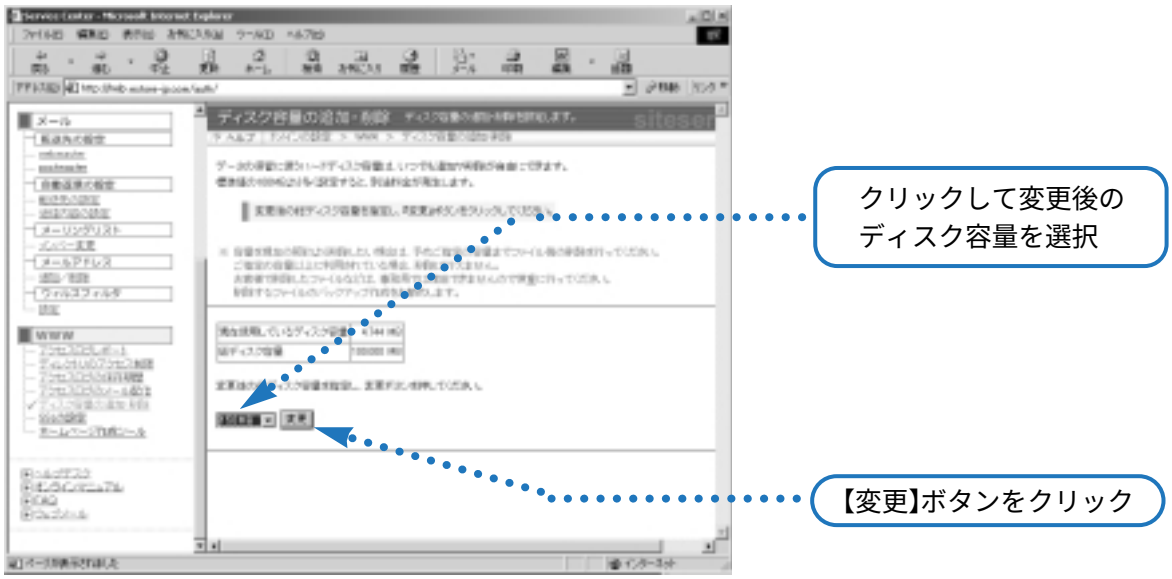
ディスク容量の追加

1 サービスセンターのWWW項目から**[ディスク容量の追加・削除]**をクリックします。



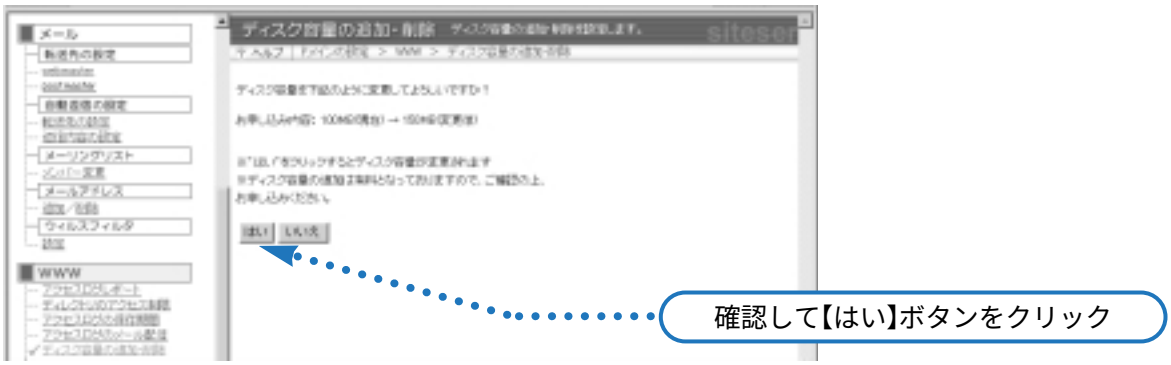
ディスク容量の設定画面が表示されます。

2 プルダウンメニューをクリックし、変更後の総ディスク容量を選びます。
最後に**【変更】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

3 変更後の容量が正しいことを確認して、**【はい】**ボタンをクリックします。

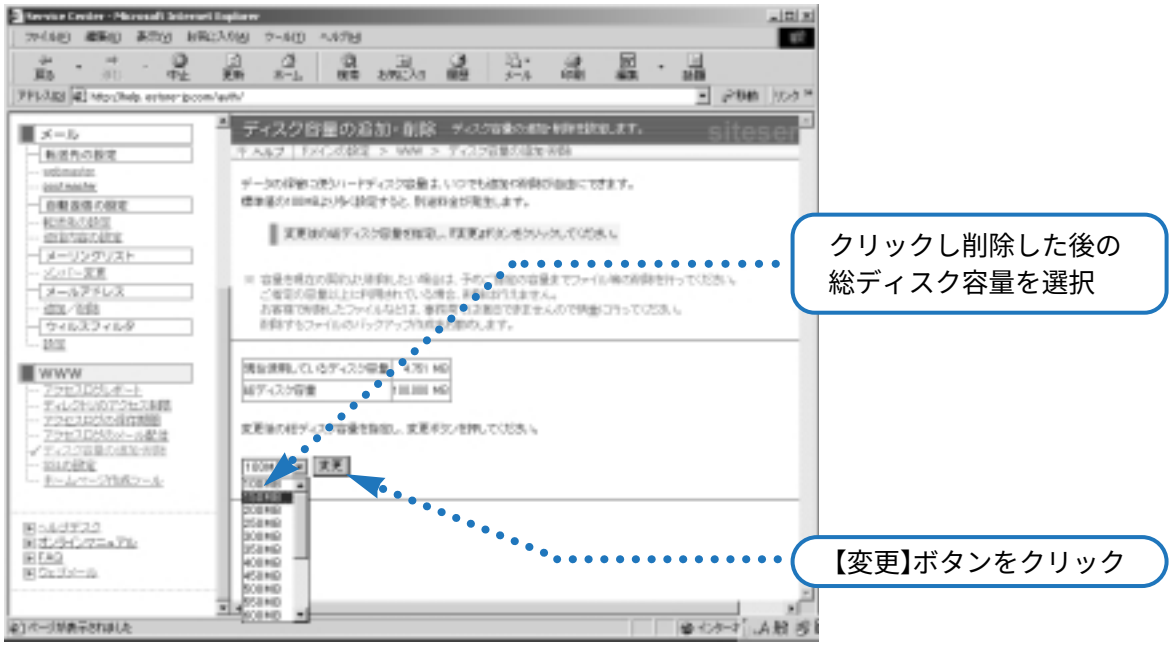


ディスク容量を変更したという確認画面が表示されます。

これにより、ディスク容量の変更が完了します。

ディスク容量の削除

1 ディスク容量の設定画面で、プルダウンメニューをクリックし、削除した後の総ディスク容量を選択します。最後に**【変更】**ボタンをクリックします。



ディスク容量を変更したという確認画面が表示されます。
これにより、ディスク容量の削除(変更)が完了します。

> **注意**
> ディスク容量を削除(減らす)ときは、先にディスクの内容を削除し、変更したい容量より少なくしておいてください。指定した容量よりディスクの容量が多いときは、変更はできません。

5-6 SSL利用設定

SSLの利用申請・利用解除申請を行います。
サイトサーブではホームページのセキュリティを高めるためにSSLを利用することができます。利用にあたっては、あらかじめ利用申請を行う必要があります。また、SSLの利用をやめるときは、利用解除申請を行う必要があります。これらの申請は、管理メニューから行います。

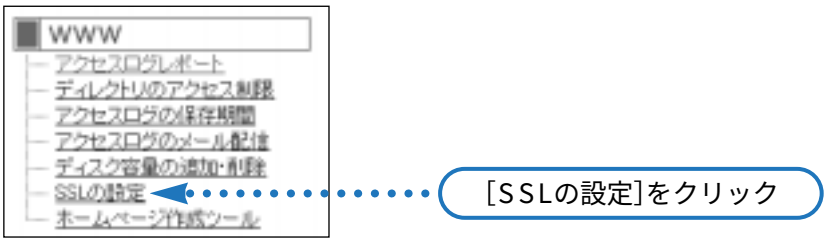
> **参考** SSLの利用については、1ヶ月あたり2000円のオプション料金がかかります。

> **注意**
> SSLのホームページを作成する場合は、通常のホームページ作成方法とは異なりますので、『第3章 SSL利用ページへのリンクについて』を参照してください。

※サイトサーブのSSLはThawte社を利用しています。
Thawte社のホームページ：http://www.jp.thawte.com/

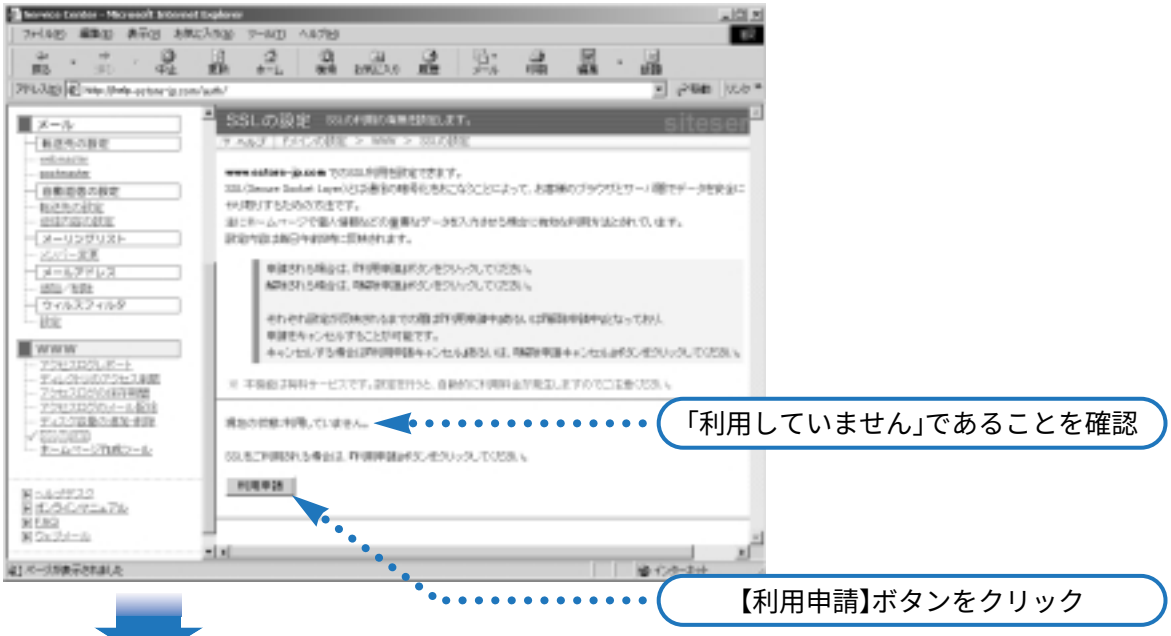
SSL利用申請

1 サービスセンターのWWW項目から**[SSLの設定]**をクリックします。



SSL利用設定画面が表示されます。

2 現在の状態が**「利用していません。」**であることを確認し、**【利用申請】**ボタンをクリックします。



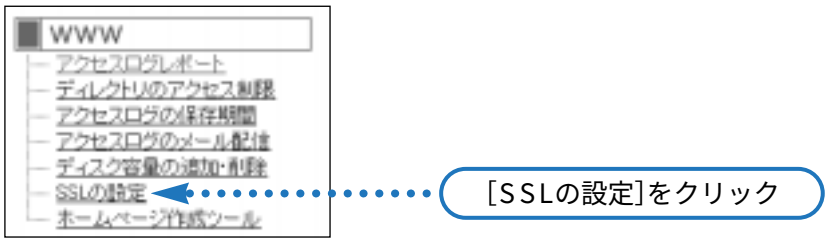
確認画面が表示されます。

3 **【はい】**をクリックします。

設定を変更したという確認画面が表示されます。
これにより、利用申請が完了します。
翌午前5時からSSLが利用できるようになります。

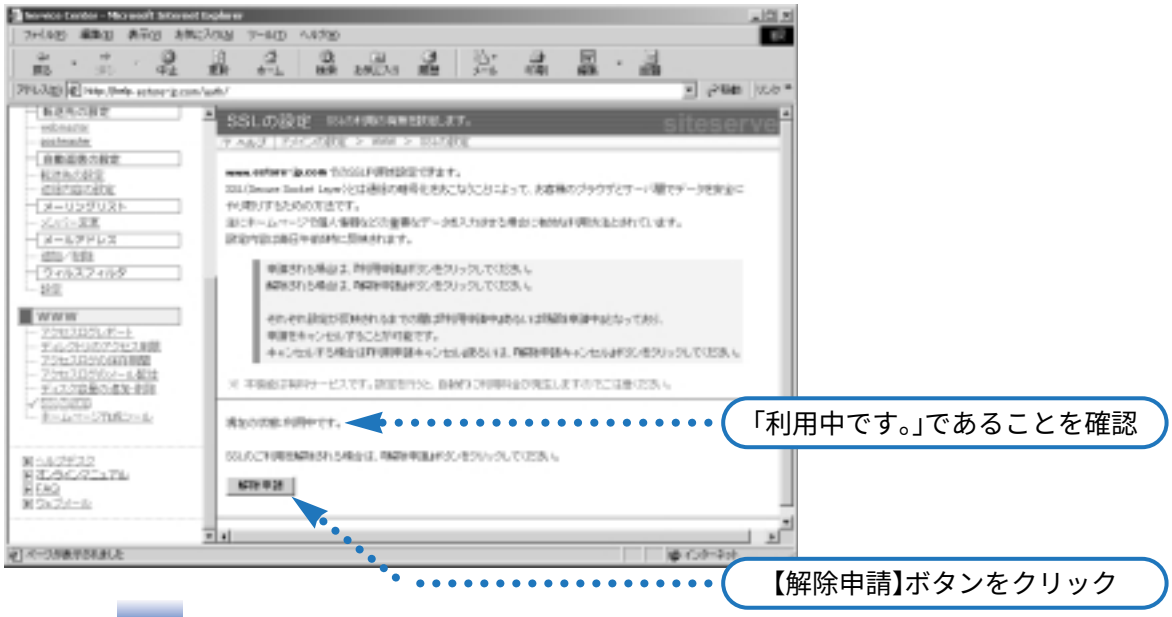
ＳＳＬ利用解除申請

1 サービスセンターのWWW項目から**[ＳＳＬの設定]**をクリックします。



ＳＳＬ利用設定画面が表示されます。

2 現在の状態が**「利用中です。」**であることを確認し、**【解除申請】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

3 **【はい】**をクリックします。

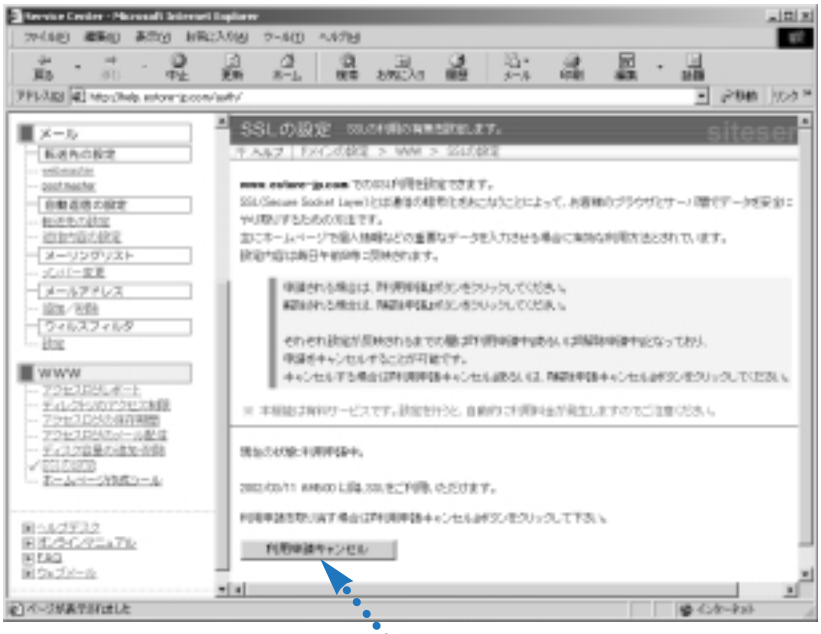
利用を加除したという確認画面が表示されます。
これにより、利用解除申請が完了します。

翌午前5時からSSLが利用できなくなります。

※SSLの利用・解除は、申請後の翌午前5時に実際の設定が行われます。申請後から翌午前5時までの間は、申請を取り消すことができます。利用申請を行った後、翌午前5時までに利用申請のキャンセルを行った場合、オプション料金は発生しません。

利用申請後、翌午前5時より前に利用申請を取り消す場合

1 SSL利用申請の画像で、現在の状況が「利用申請中。」であることを確認し、**【利用申請キャンセル】**ボタンをクリックします。



確認画面が表示されます。

2 **【はい】**をクリックします。

申請をキャンセルしたという確認画面が表示されます。
これにより、申請のキャンセルが完了します。

再度、利用を申請したいときは、利用申請の操作を行います。

SSL

SSL(Secure Socket Layer)とは、インターネット上で送信するデータを暗号化するための方法です。SSLを利用したページでは、ユーザのコンピュータとサーバとの間で「鍵」を取り交わしてから、データを暗号化して送信します。送信データは、「鍵」を持っているサーバでないと暗号化を解除できないようになっているため、第三者には意味不明の文字・記号の羅列にしか見えません。

5-7 その他の設定項目

ホームページ作成ツール

画面に従って背景画像やページタイトルなどを指定していくことで、トップページ(http://www.(お客様のドメイン名)/index.html)を作成することができます。詳しくはオンラインマニュアルの「ホームページ作成ツール」の項(http://help.お客様のドメイン名/manual/man-mkhp.html)を参照してください。

第3章 ホームページの作成と公開

**この章では、ホームページの作成と公開の方法について説明します。
また、ホームページ上で入力された内容をメールで送信したり、
ホームページで掲示板を動かしたりするCGIについても説明しています。**

ホームページは、ホームページ作成ツールやテキストエディタを使って、自分自身で作成することができます。また、作成したホームページは、アップロードを行って公開することができます。
また、サイトサーブで用意している4つのCGIプログラムや、代表的なプログラム作者が無償提供しているCGI、そのほかの利用方法について紹介しています。

1. ホームページ作成の前に …… 52
2. ホームページ作成　ホームページ作成ソフト編 …… 54
3. ホームページ作成　テキストエディタ編 …… 58
4. SSL利用ページへのリンクについて …… 65
5. ホームページの公開（アップロード） …… 67
6. ホームページ作成ツールで作成 …… 81
7. ホームページ制作会社への依頼 …… 88
8. CGIの利用 …… 90

第3章

1. ホームページ作成の前に

ここでは、ホームページ作成にあたって、あらかじめ知っておく必要がある事柄について説明します。どのソフトを使う上でも共通です。

1-1　ホームページのHTMLファイル作成について

ホームページは、「HTML」という言語で書かれています。
このHTMLで書かれたファイルは、次のようなツールを使って作成します。

ホームページ作成ソフト

ホームページ作成ソフトは、ワープロ感覚でデザインしたものをHTMLファイルとして保存することができるものです。初めての人でも、比較的簡単にホームページを作成することができます。

テキストエディタ

文字を入力・編集するためのソフトで、直接HTMLタグを入力して、ホームページを作成することができます。このソフトを使用する場合は、HTMLタグについての知識が必要です。ただし、ホームページ作成ソフトでは対応できない細かい調整が可能です。また、この後で触れるSSL利用ページへのリンクを設定するときや、CGIを利用したページを作成するときには、テキストエディタを使った作成が必要になります。

ホームページの作成では、どちらか一方のソフトだけを使うとはかぎりません。ふだんはホームページ作成ソフトで、細かい修正が必要なときはテキストエディタで、といった使い分けが一般的です。

ホームページ作成ツール

サイトサーブには「ホームページジェネレータ」という機能があります。ブラウザでサービスセンターにアクセスし、背景・画像・文字サイズ・タイトル等を指定していくだけで、簡単にホームページを作成することができます。
「詳しくは、オンラインマニュアル「ホームページ作成ツール」(http://help.(お客様のドメイン名)/manual/man-mkhp.html)を参照してください。」

1-2　ファイルの保存について

作成したホームページを保存するときには、次の点に注意してください。

・ファイル名に使える文字種

ファイル名は必ず半角英数字および一部の半角記号（ハイフン「-」、アンダースコア「_」など）で入力してください。ファイル名に全角文字や半角カナを使用すると、サーバにアップロードした時に、ページが正しく表示されないといった原因となります。

・トップページのファイル名

ホームページで最初に表示されるページのファイル名は、「index.html」（またはindex.htm）が一般的です。
サイトサーブのトップページは、index.html（または、index.htm）としてください。なお、その他のページのファイル名については特に決まりはありませんが、拡張子は必ず.html（または.htm）にします。

1-3　ホームページ作成に必要なファイル

ホームページに画像など表示する場合は、HTMLファイルとは別に、それぞれのファイルが必要になります。画像を表示するなら画像ファイル、音声を再生するなら音声ファイル、などです。これらは次の方法で用意することができます。

・自分で作成する

デジタルカメラで撮影した画像ファイルや、デジタルレコーダーで録音した音声ファイル。

・ホームページ作成ソフト付属のサンプルファイルを利用する

ホームページ作成ソフトに付属しているすぐに利用できる画像ファイルや音声ファイル。

・CD-ROMやインターネットで提供されている素材集を利用する

ホームページでの利用を目的に作成された画像ファイルや音声ファイルがCD-ROMに収録された「素材集」や、インターネットからダウンロードができる素材。

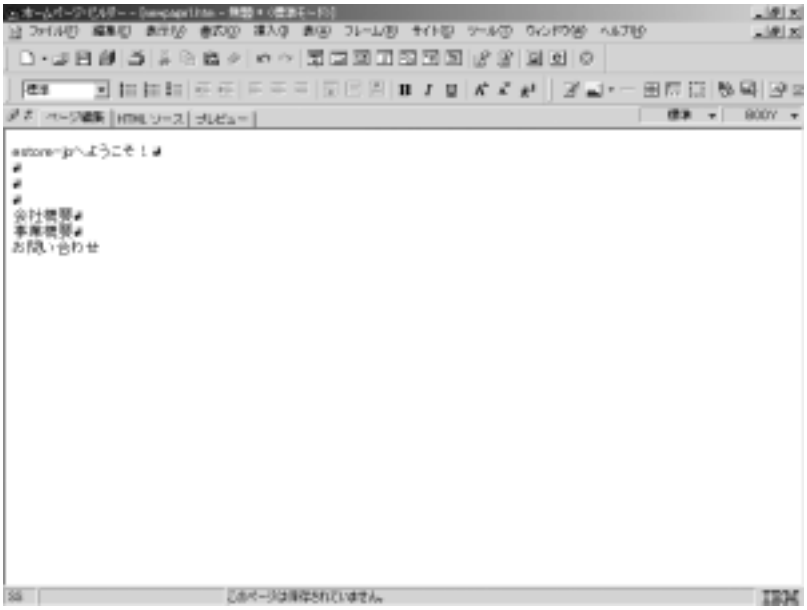
※画像ファイルや音声ファイルをそのまま利用しないで加工する場合には、フォトレタッチソフトや音声編集ソフトが別途必要です。

2. ホームページ作成　ホームページ作成ソフト編

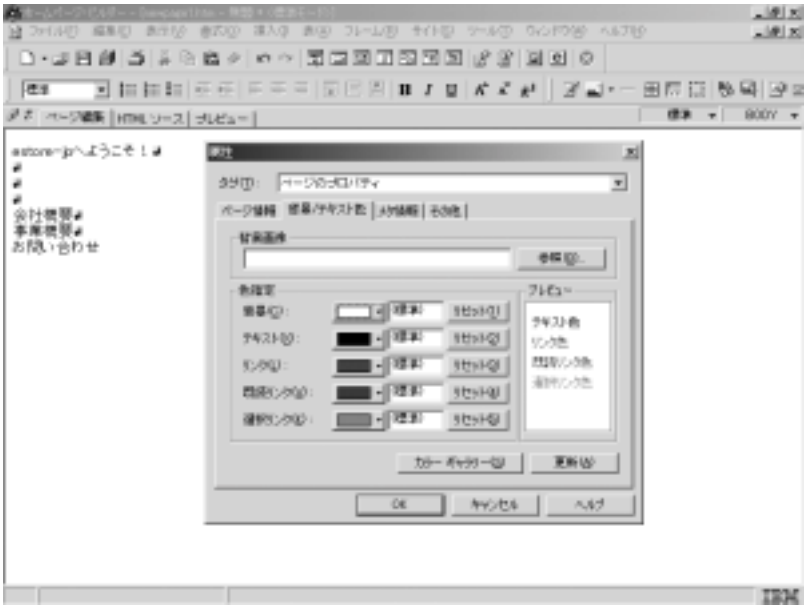
ここでは、ホームページ作成ソフト「IBM ホームページビルダー」を例に、基本的なホームページの作成の流れを説明します。詳しい操作方法については、ソフト付属のマニュアルを参照してください。

文字入力と編集

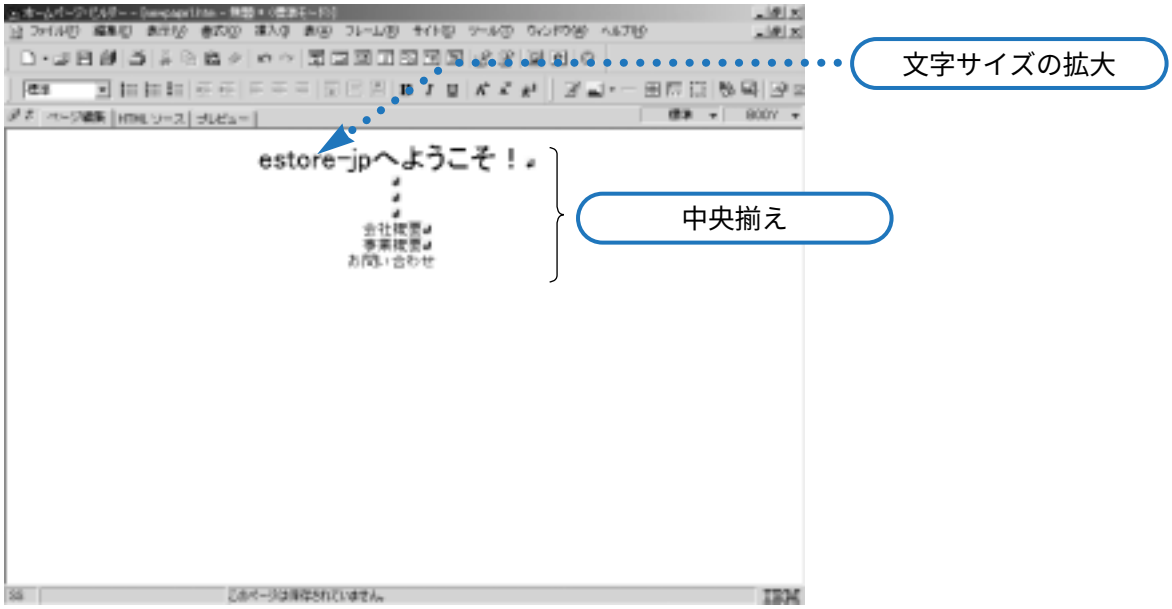
1 ホームページビルダーを起動し、文字を入力します



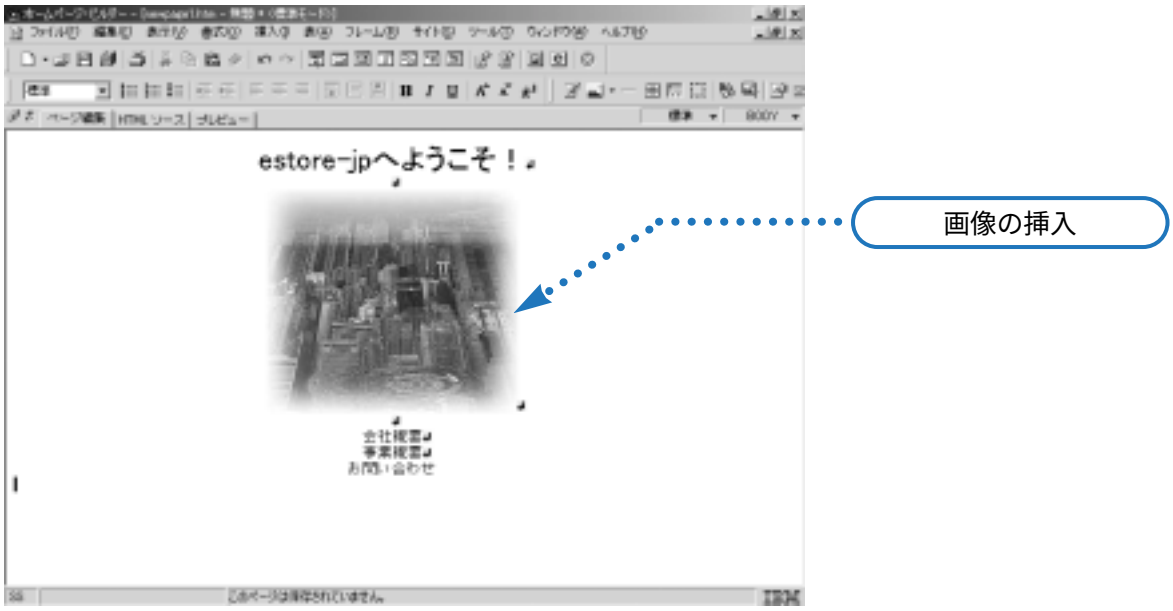
2 背景色（または壁紙）や文字色を設定します。
ここでは、背景色・文字色・リンクの色などを設定しています。



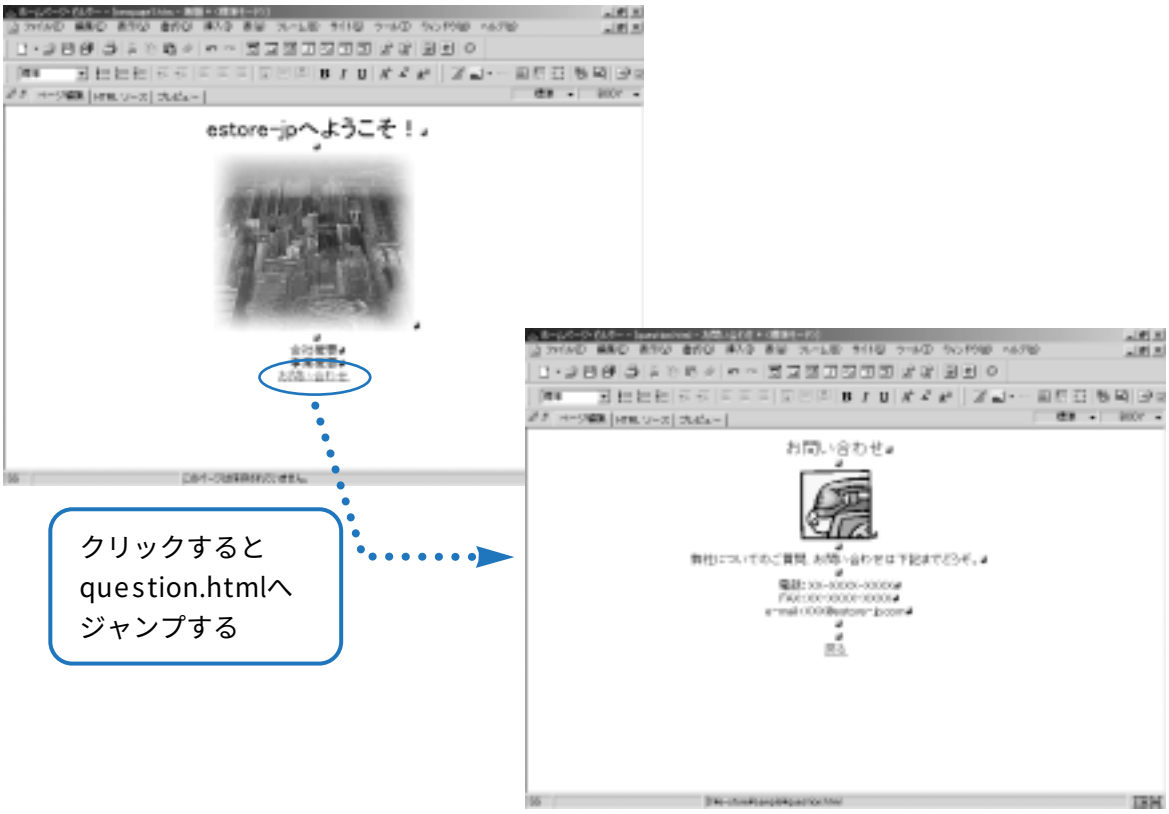
3 文字サイズや文字位置を設定します。
ここでは、タイトルの文字サイズを拡大し、さらに全体の文字位置を中央揃えに設定しています。



4 画像を挿入します。
ここでは、タイトルの下に写真を挿入しています。

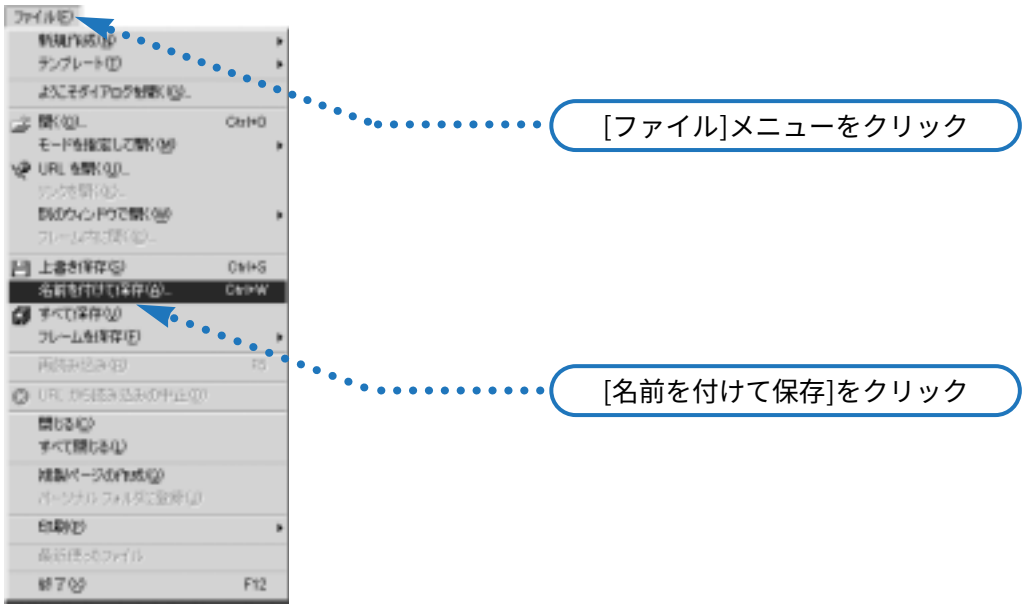


5 リンクを設定します。
ここでは、問い合わせ先のページ(question.html)を作成し、そのページへリンクを設定しています。



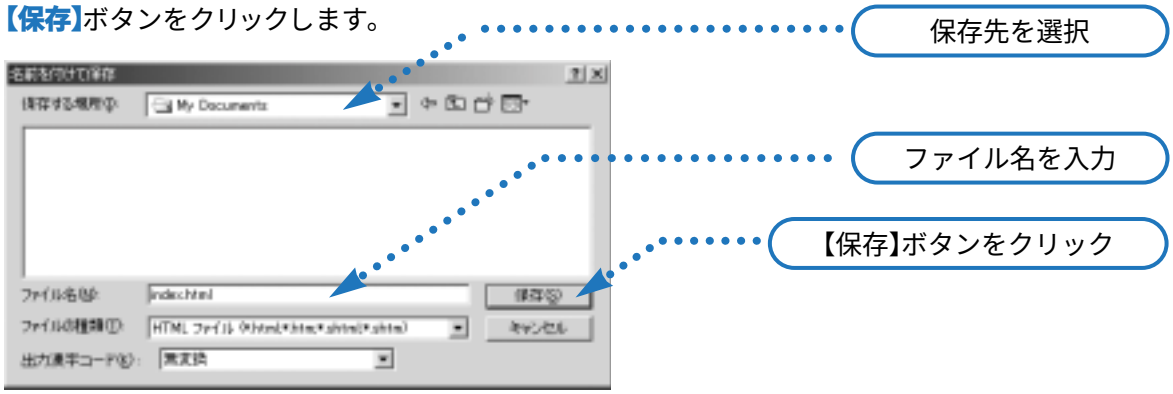
ファイルの保存

1 **[ファイル]**メニュー→**[名前を付けて保存]**をクリックします。



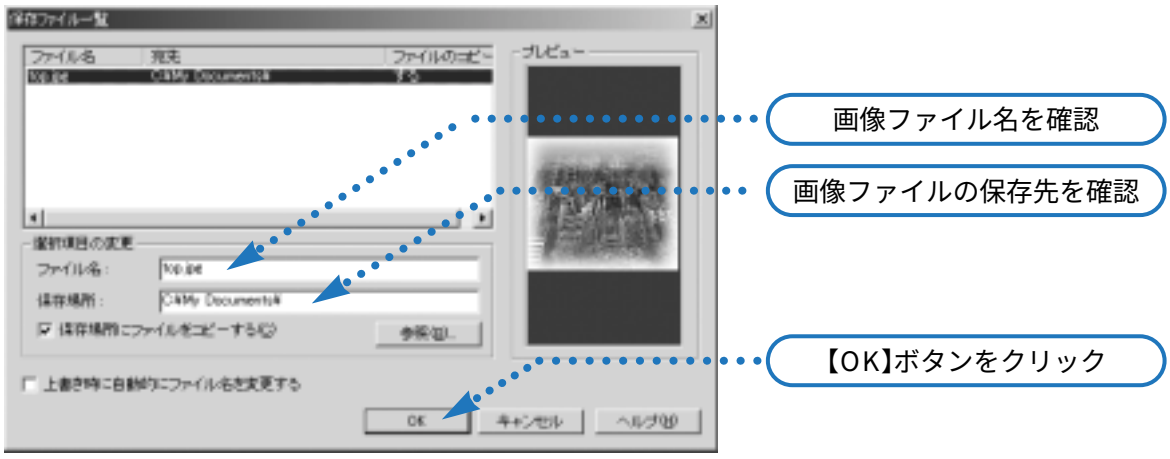
[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

2 **[保存する場所]**コンボボックスをクリックして、保存先を選択します。
[ファイル名]テキストボックスにファイル名を入力します。
【保存】ボタンをクリックします。



[保存ファイル一覧]ダイアログボックスが表示されます。

3 index.htmlから呼び出している画像ファイル名と保存場所を確認して、
【OK】ボタンをクリックします。



保存が完了します。

作成したHTMLファイルと同じ場所に、挿入した画像ファイルも保存されていることを確認します。
ホームページをインターネット上に公開するためには、このあとアップロードという作業をしますが、その時には画像ファイルも一緒にアップロードします。

3. ホームページ作成　テキストエディタ編

ここでは、テキストエディタを使ってホームページを作成する方法について説明します。Windowsには「メモ帳」、Macintoshには「Simple Text」というテキストエディタがそれぞれ標準で付属しています。その他にも、フリーウェアやシェアウェア、市販ソフトで様々なテキストエディタがありますが、「入力」「ファイルを開く」「保存」の操作ができれば、ソフトによる操作の違いはありません。なお、HTMLの書き方やタグの説明など、HTMLの詳細に関しては、関連書籍などを参照してください。

3-1　ホームページ作成の流れ

ここでは、メモ帳を使用した基本的なホームページ作成の流れを説明します。

HTMLタグの入力

1 メモ帳を起動し、次の内容を入力します。

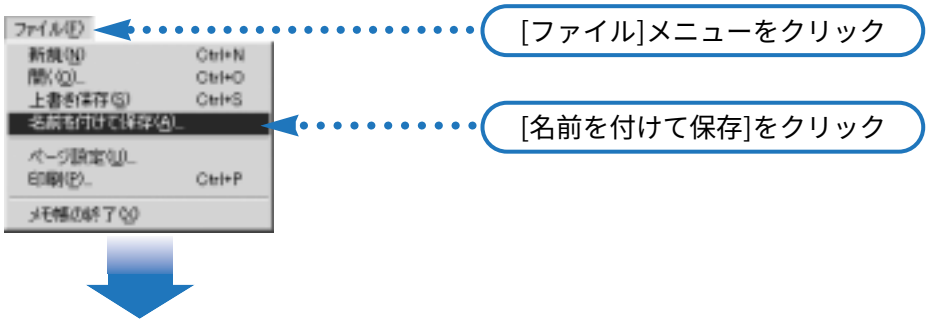
```
<html>
<head>
<title>estore-jpへようこそ</title>
</head>
<body>
estore-jpへようこそ！

会社概要
事業概要
お問い合わせ

</body>
</html>
```

< と > で囲まれた部分を「タグ」と呼びます。ホームページに載せたい文章を<body>～</body>タグの間に入力することによって、ブラウザで表示することができるようになります。

> **注意**
> タグは必ず半角文字で入力してください。全角文字で入力すると、タグではなくホームページに表示する文章の一部と認識されます。

ファイルの保存

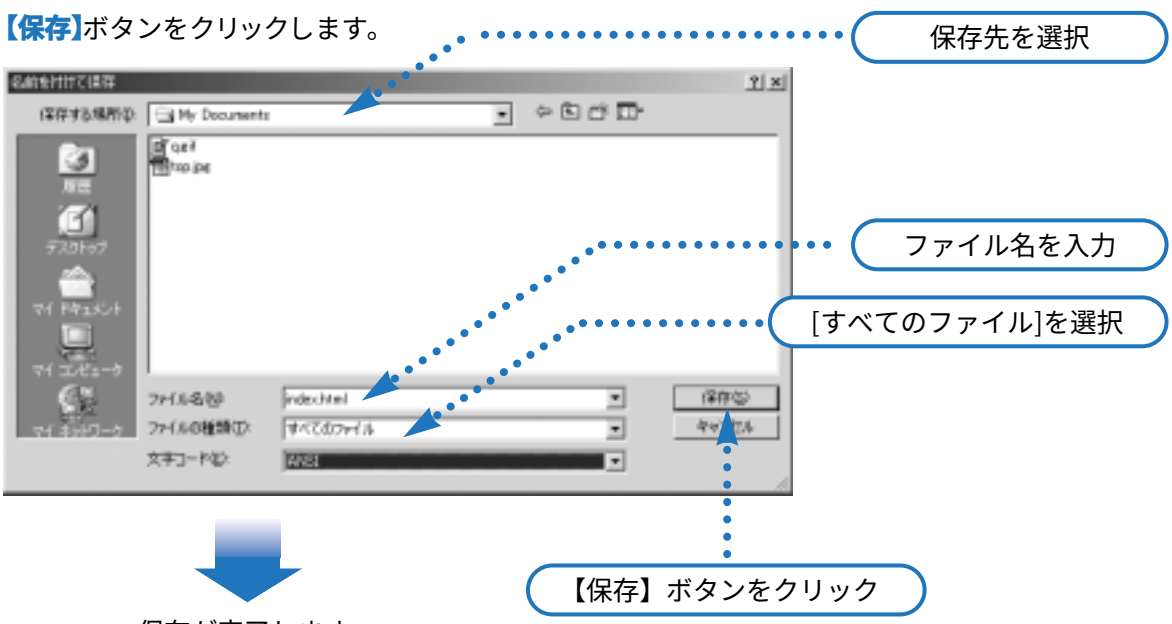
1 **[ファイル]**メニュー→**[名前を付けて保存]**をクリックします。



[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

❷ **[保存する場所]**コンボボックスをクリックして、保存先を選択します。
[ファイル名]テキストボックスにファイル名を入力します。拡張子を.htmlにします。

【保存】ボタンをクリックします。

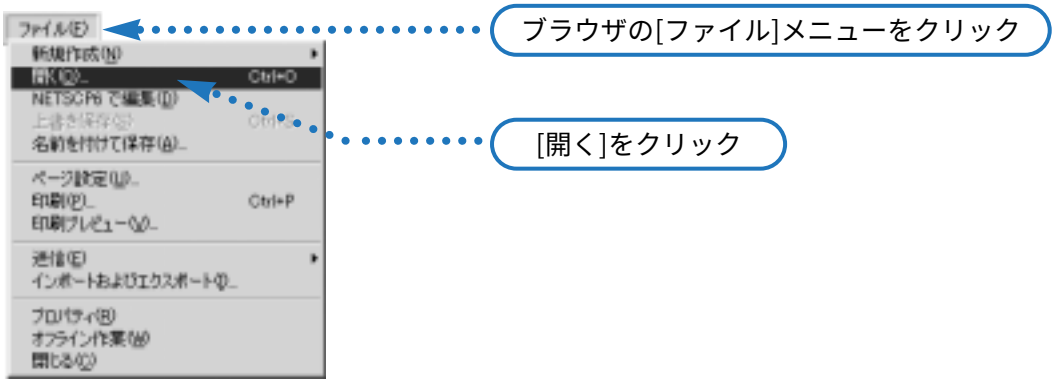


3-2 ブラウザによる画面の確認

ここでは、保存したHTMLファイルをブラウザで開いて確認する方法について説明します。
テキストエディタは、ホームページ作成ソフトと違って、作成中に画面のイメージを見ることができません。そのため、ある程度作業が進んだところで、HTMLファイルを保存して、ブラウザでそのファイルを開くことによって実際の画面を確認します。

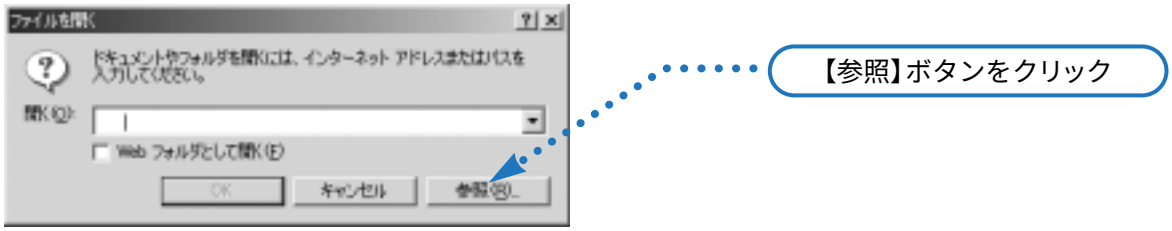
ブラウザでファイルを開く

❶ ブラウザを起動し、**[ファイル]**メニュー→**[開く]**をクリックします。



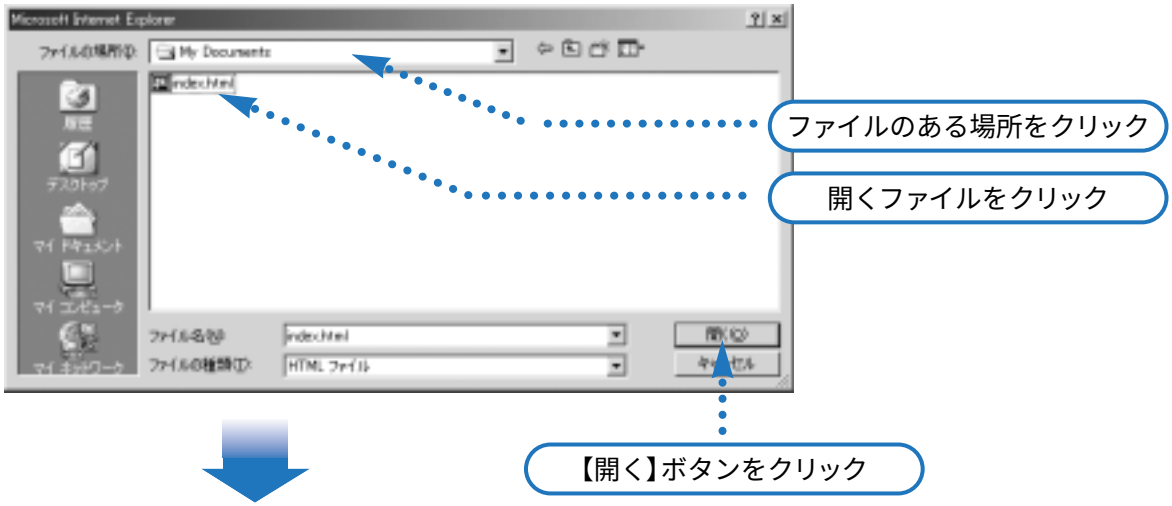
[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

2 **【参照】**ボタンをクリックします。



[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

3 先ほど保存したファイルを選択し、**【開く】**ボタンをクリックします。



[Microsoft Internet Explorer]ダイアログボックスが再び表示されます。

4 **【OK】**ボタンをクリックします。

選択したファイルが表示されます。

以降、**「テキストエディタでタグを入力し、保存する」**→**「ブラウザの表示を更新し、実際の画面を確認する」**をくり返して編集していきます。

3-3　タグの追加

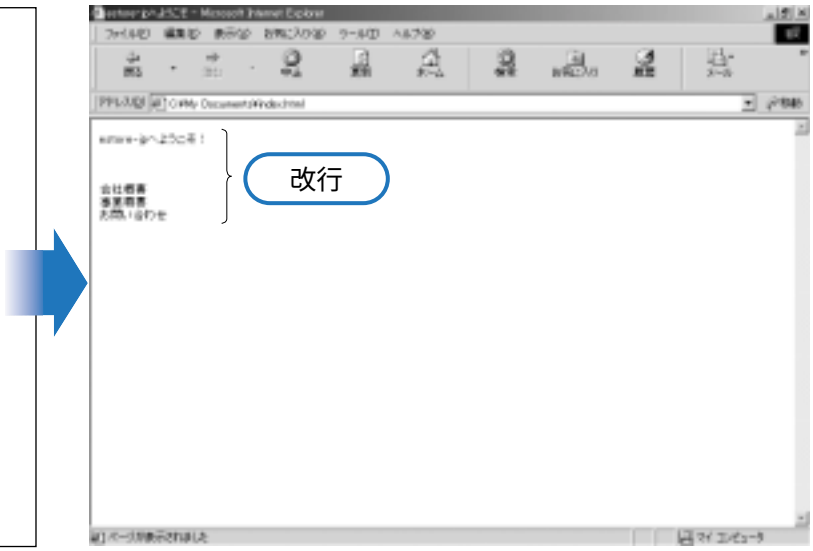
ここまでに入力した内容に、文字サイズや位置などを指定するタグを追加していきます。

【改行を入れる】

：改行

ブラウザの画面

```
<html>
<head>
<title>estore-jpへようこそ</title>
</head>
<body>
estore-jpへようこそ！<br>
<br>
<br>
<br>
会社概要<br>
事業概要<br>
お問い合わせ
</body>
</html>
```

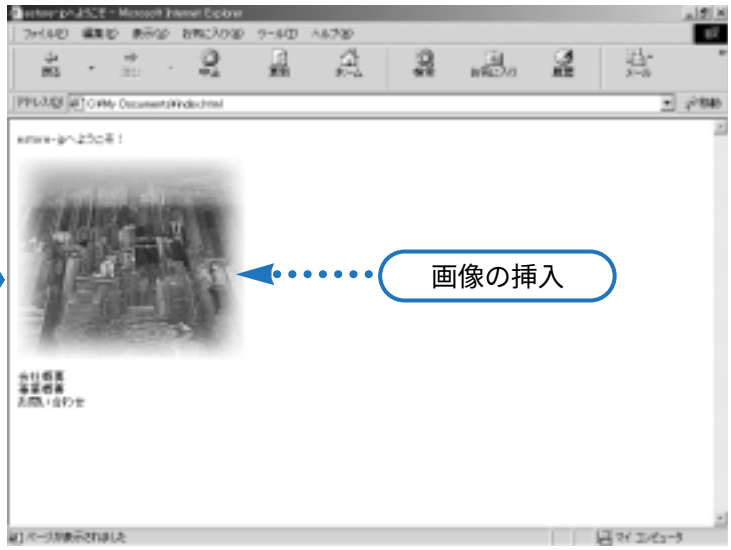


【画像を入れる】
ここで使う画像ファイル(例ではtop.jpg)は、あらかじめhtmlファイルと同じフォルダにコピーしてあります。

<img src="(ファイル名)">：画像ファイルを呼び出す

ブラウザの画面

```
<html>
<head>
<title>estore-jpへようこそ</title>
</head>
<body>
estore-jpへようこそ！<br>
<br>
<img src="top.jpg"><br>
<br>
会社概要<br>
事業概要<br>
お問い合わせ
</body>
</html>
```



【文字サイズを大きくする】
～：文字サイズを拡大・縮小する
【文字の色を赤にする】
：文字色を変更する
【文字を強調(太く)する】
～：文字を太くする
【文字位置を変更する】
～ ：文字位置を変更する

ブラウザの画面

```
<html>
<head>
<title>estore-jpへようこそ</title>
</head>
<body>
<div align="center"><font size="
+4" color="#0000ff">estore-jpへ
ようこそ！</font><br>
<br>
<img src="top.jpg"><br>
<br>
会社概要<br>
<b>事業概要</b><br>
お問い合わせ</div>
</body>
</html>
```

【リンクを設定する】

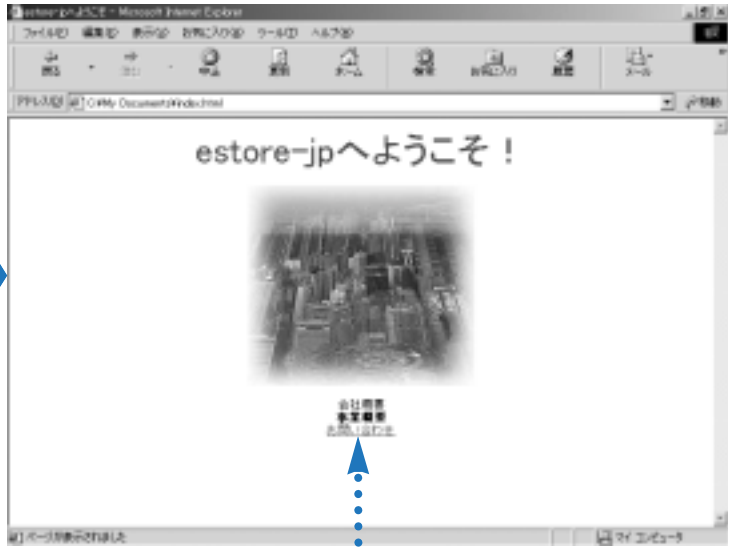
ここでは、index.htmlと同じフォルダにquestion.html、q.gifを作成しています。

～：指定ファイルにリンクする

ブラウザの画面

index.html

```
<html>
<head>
<title>estore-jpへようこそ</title>
</head>
<body>
<div align= ” center ” ><font size= ”
+4 ” >estore-jpへようこそ！
</font><br>
<br>
<img src= ” top.jpg ” ><br>
<br>
会社概要<br>
事業概要<br>
<a href= ” question.html ” >お問い合わ
せ</a></div>
</body>
</html>
```



リンクの設定

question.html

```
<html>
<head>
<title>お問い合わせ</title>
</head>
<body>
<div align= ” center ” ><font size= ”
+2 ” >お問い合わせ</font><br>
<br>
<img src= ” q.gif ” ><br>
<br>
弊社についてのご質問、お問い合わせ
は下記までどうぞ。<br>
<br>
電話：XX-XXXX-XXXX<br>
FAX：XX-XXXX-XXXX<br>
e-mail：XXX@estore-jp.com<br>
<br>
<br>
<a href= ” index.html ” >戻る
</a></div>
</body>
</html>
```

ここでは紹介しませんが、表組みやフレームなど、タグの種類は他にもたくさんあります。詳しくは、市販のhtmlタグ辞典や解説書などを参照してください。

3-4　タグ入力の注意点

ホームページ作成ソフトと違って、テキストエディタでホームページを作成する場合は、特に次のことに注意します。

【大文字/小文字】

WindowsやMacintoshパソコンでは、ファイル名を大文字で入力しても小文字で入力しても区別をしないで、綴りが同じであれば同じファイル名として認識します。しかし、ホームページをアップロードするサーバの多くにはUNIXというOSが使われていて、そこでは文字の大文字・小文字を区別します。例えば、パソコン上では「index.html」と「INDEX.HTML」は同じファイルとして扱われますが、UNIXサーバ上では別のファイルとして扱われます。
そのため、ホームページの作成でリンクを指定する時には、綴りだけではなく大文字・小文字まで実際のファイル名と全く同じにする必要があります。実際のファイル名が「index.html」であるときに、リンクの指定を<a href= "INDEX.HTML ">とすると、サーバにアップロードした時点でリンクがつながらないで切れてしまいます。
パソコン上で作業をしているときには、大文字でも小文字でも同じファイル名として扱われるため、上の例でもリンク先は正しく表示されてしまいます。したがって、最終的なリンクの確認は、必ずアップロード後にインターネット上で行う必要があります。

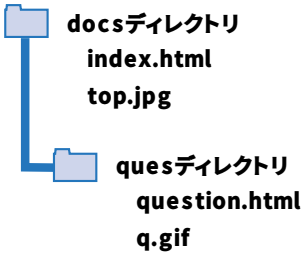
【ファイル名に使える文字種】

ファイル名は、必ず半角英数字および一部の半角記号（ハイフン「-」、アンダースコア「_」など）で入力してください。ファイル名に全角文字や半角カナを使用すると、サーバにアップロードした時に、ページが正しく表示されなくなります。

【他のディレクトリにあるファイルへのリンク方法】

通常、リンクをするファイルが同じディレクトリ（フォルダ）内にある場合は、そのままファイル名だけを入力します。しかし、リンクをするファイルが別のディレクトリにある場合は、ディレクトリ名をつけたファイル名で指定する必要があります。
これはhtmlファイルへのリンクだけでなく、画像ファイルや音声ファイルの呼び出しについても、別のディレクトリにある場合は同じようにディレクトリ名をつけたファイル名で指定します。

例　ここでは、次のようなディレクトリ構成の場合を例に説明します。



index.html→question.htmlへのリンク
<a href= "./ques/question.html ">

./　　現在のディレクトリ（この場合、index.htmlのあるディレクトリ）

question.html→index.htmlへのリンク
<a href= "../index.html ">

../　　一つ上のディレクトリ（この場合、quesディレクトリの一つ上＝index.htmlのあるディレクトリ）

4. SSL利用ページへのリンクについて

**ここでは、SSLを利用する場合のリンクの設定方法について説明します。
サイトサーブでは、SSLというデータを暗号化するサービスを提供しています。
オンラインショップの商品注文画面などで、アクセスした人が個人情報を入力・送信するページでよく利用されます。SSLを利用すると、第三者に個人情報を盗まれる危険性が減るので、利用者が安心してデータを送信できます。
SSLを利用する場合、「SSL利用ページへのリンク方法」と「SSL利用ページ内の画像ファイル・音声ファイルなどの呼び出し方法」が通常と異なります。
SSLを利用するすべてのページについて、必ず次の方法でリンクを修正してください。**

注意
SSLを利用するには、あらかじめ利用申請が必要です。必ず利用申請をして、利用できる状態になってからSSL利用ページの修正を行ってください。
なお、利用申請は管理者がサービスセンターにアクセスして行います。利用申請の方法については、「第2章　5-6　SSL利用設定」を参照してください。

**例 ここでは、「3.ホームページ作成テキストエディタ編」で作成したファイルのうち、
index.html：SSLを利用しないページ
question.html：SSLを利用するページ
とした場合を例に説明します。**

【SSL利用ページへリンクする場合】
あるページから、SSLを利用するページにリンクする場合は、リンク先ファイル名の前に「https://secsvr.com/(お客様のドメイン名)/」を追加します。

例では、index.htmlをテキストエディタなどで開き、question.htmlへのリンクを次のように修正します。
修正前：お問い合わせ
修正後：お問い合わせ

【SSL利用ページの中で画像ファイルなどを呼び出す場合】
SSLを利用するページの中で画像ファイルや音声ファイルを呼び出す場合にも、呼び出すファイル名の前に「https://secsvr.com/(お客様のドメイン名)/」を追加します。

例では、question.htmlをテキストエディタなどで開き、q.gifを呼び出すタグを次のように修正します。
修正前：<img src= "q.gif ">
修正後：<img src= "https://secsvr.com/(お客様のドメイン名)/q.gif ">

【SSL利用ページから他のページへリンクする場合】
SSLを利用するページの中で、SSLを利用しない他のページにリンクする場合は、リンク先ファイル名の前に「http://www.(お客様のドメイン名)/」を追加します。

例では、question.htmlをテキストエディタなどで開き、index.htmlへのリンクを次のように修正します。
修正前：戻る
修正後：戻る

リンク修正後、サーバにアップロードしてquestion.htmlをブラウザで表示すると、ブラウザ右下にSSL利用を示す錠のアイコンが表示されます。

注意

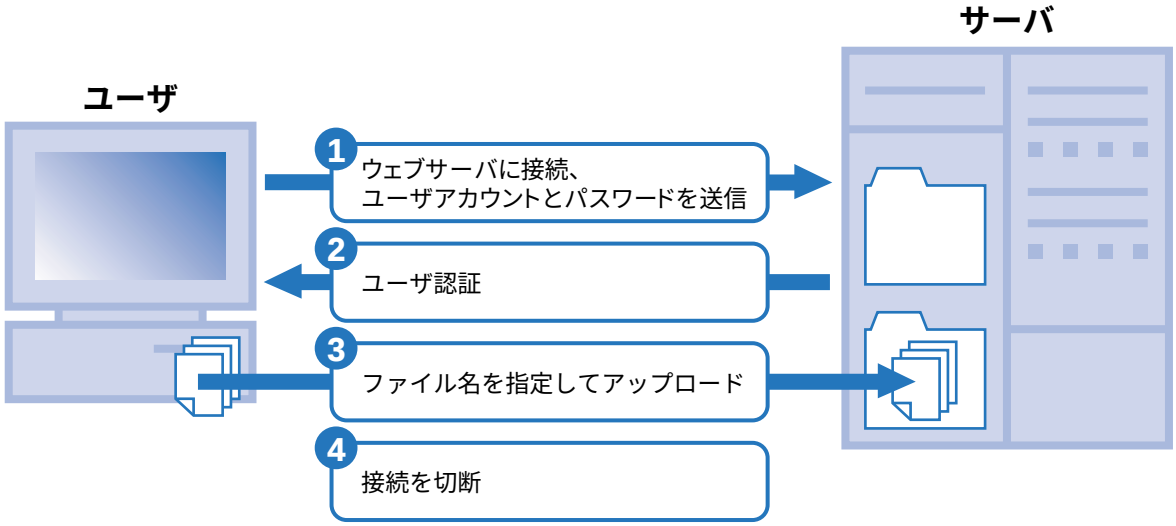
SSLを利用するページで画像ファイルや音声ファイルを複数呼び出す場合は、必ずすべてのファイルについて呼び出すタグの修正を行ってください。1つでも修正していない呼び出し先があると、それは「セキュリティで保護されていない項目」と見なされ、SSL利用ページをブラウザで表示した時に[セキュリティ情報]ダイアログボックスが表示されます。
お客様のドメイン外から呼び出すファイルがある場合(例えばバナー広告など)、それをSSLで保護することはできませんので、SSL利用ページでは呼び出さないようにしてください。

5 ホームページの公開（アップロード）

**ここでは、ホームページの公開に必要な事項とその手順について説明します。
作成したファイルはウェブサーバにアップロードして公開します。
アップロードはホームページ作成ソフトのFTP機能、およびFTPソフトで行ないます。
ホームページ作成ソフトを使用していない、または使用しているホームページ
作成ソフトにアップロード機能がない、などの場合は、FTPソフトでアップロードします。
FTPソフトは、市販のものからフリーウェアまでいろいろありますが、
設定項目やアップロードの手順ははぼ同じです。**

5-1 アップロードの流れ

アップロードの大まかな流れは、次の図のようになります。



アップロードするには、まずウェブサーバに接続してユーザ認証を受けます。次に、自分のパソコンの中にあるホームページ用のファイルを選択して、サーバにアップロードします。

※アップロードとは逆に、ウェブサーバにあるファイルを選択して自分のパソコンに転送することもできます。これをダウンロードと呼びます。

アップロードが終了したら、ウェブサーバとの接続を切断します。この時、インターネットとの接続が同時に切断されるか、そのまま接続されているかは、ソフトによって異なります。詳しくは、お使いのソフト付属のマニュアルを参照してください。

5-2 アップロードに必要な設定項目

アップロードを行うには、次の項目が必要になります。

本マニュアルで説明していないソフトについても、これらの設定は必要です。なお、オンラインマニュアル（http://help.お客様のドメイン名/manual/man-setftp.html）では、他のソフトの設定方法も一部説明していますので、ご覧ください。

※設定項目の名称は、ソフトによって違います。詳しくは、お使いのソフト付属のマニュアルを参照してください。

(アップロードに必要な設定項目の一覧表)

設定項目	サイトサーブ用の設定値	この章の設定例
ホスト名・サーバ名など	登録証記載の「ウェブサーバ」	www.estore-jp.com
ユーザ名・ユーザアカウント・アカウント名など	登録証記載の「管理者ユーザアカウント」	abc0001
パスワード・ユーザパスワードなど	登録証記載の「管理者ユーザパスワード」	abcdefgh
ローカル(ローカルホスト)側フォルダ	自分のパソコンの中で、ホームページが保存されているフォルダ名	C:\My Documents
ホスト(サーバ・リモートホスト)側フォルダ・ログインディレクトリなど	(指定なし)	

注意

ファイルを転送するときには「アスキーモード」と「バイナリモード」という2種類の転送方法があり、ファイルの種類によってどちらかを選択します。ホームページに使われるファイルでは、次のように分類されます。
htmlファイル・cgiファイル・txtファイル……アスキーモード
画像ファイル・音声ファイル……バイナリモード
多くのftpソフトでは、ファイルの種類を自動的に判別し、それぞれに適した転送方法で転送します。

5-3 サーバのディレクトリ構成について

サイトサーブでは、サーバのディスクスペースの中に、あらかじめいくつかのディレクトリが作成してあります。アップロードしたいファイルに応じて、適切なディレクトリを選択する必要があります。ディレクトリの構成とそれぞれの内容は次の通りです。

- **cgi-bin** …… 各種CGIファイルや設定ファイルが入っています。
- **Counter** …… アクセスカウンターの設定ファイルが入っています。
- **logs** …… ログ解析の元となるログファイルが入っています。
- **docs** …… あらかじめ用意してあるトップページ(準備中画面)のhtmlファイルが入っています。ここに作成したhtmlファイルや画像ファイルをアップロードすると、インターネットでホームページを見られるようになります。
  ホームページ作成ソフトのftp機能、またはftpソフトを使ってログインすると、最初にこのフォルダの中身が表示されます。そのため「ログインディレクトリ」とも呼びます。
  - **Report** …… アクセスログレポートのファイルが入っています。
  - **Error_msg** …… 各種エラーメッセージのファイルが入っています。(編集可能)
  - **Indeximg** …… あらかじめ用意してあるトップページ(準備中画面)の画像が入っています。
  - **exec** …… CGIプログラム作者より提供していただいている14種類のCGIが入っています。

この中で、ホームページのアップロード先は次の通りです。
・htmlファイル、画像・音声ファイルなど……**docsディレクトリ**
・サイトサーブ提供CGIの設定ファイル、自作CGIファイル……**cgi-binディレクトリ**

5-4　アップロード後の確認

ファイルをアップロードしたら、インターネット上でホームページが正しく表示できることを確認します。インターネットエクスプローラを起動し、URL「http://www.(お客様のドメイン名)/」を入力して、index.html(またはindex.htm)が正しく表示されるかどうか確認してください。また、表示されたホームページ(index.html)に設定したリンク先をクリックして、正しくリンク先のhtmlファイルが表示されるかどうかも併せて確認してください。

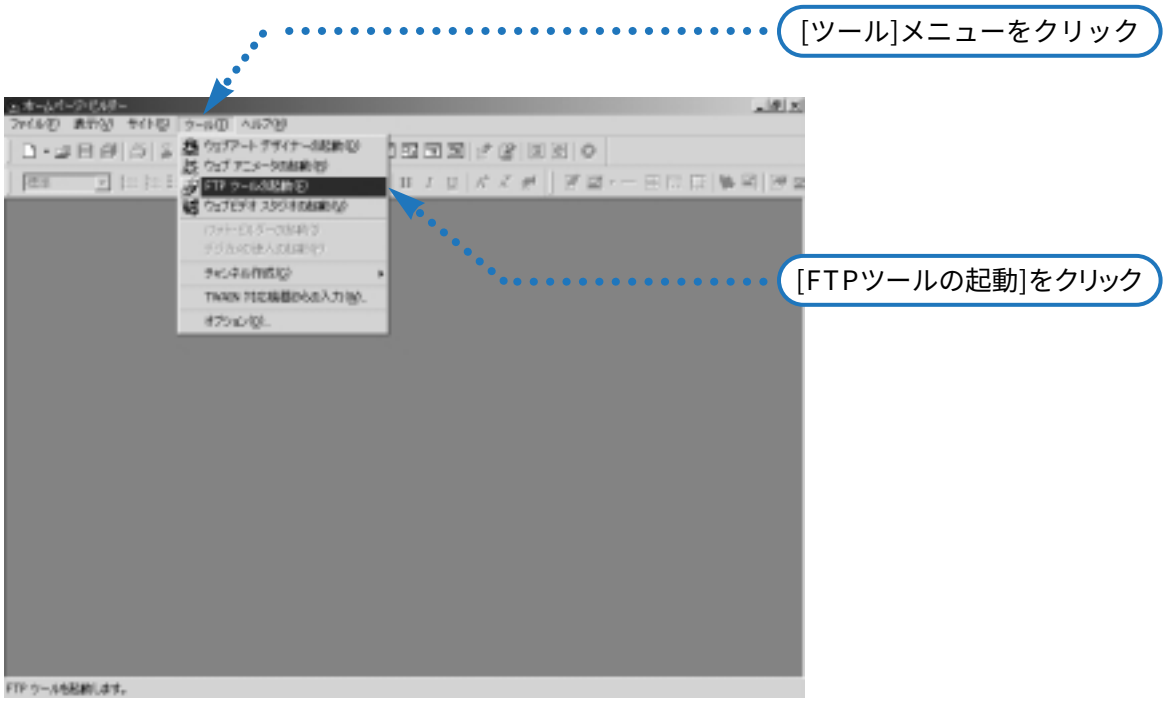
正しく表示されない場合は、「第5章　2.よくある質問と問題解決法」を参照してください。

5-5　ホームページ作成ソフトでアップロード

「2章　ホームページ作成」で紹介しているホームページ作成ソフト「IBM ホームページビルダー」を使用して、ホームページをアップロードします。

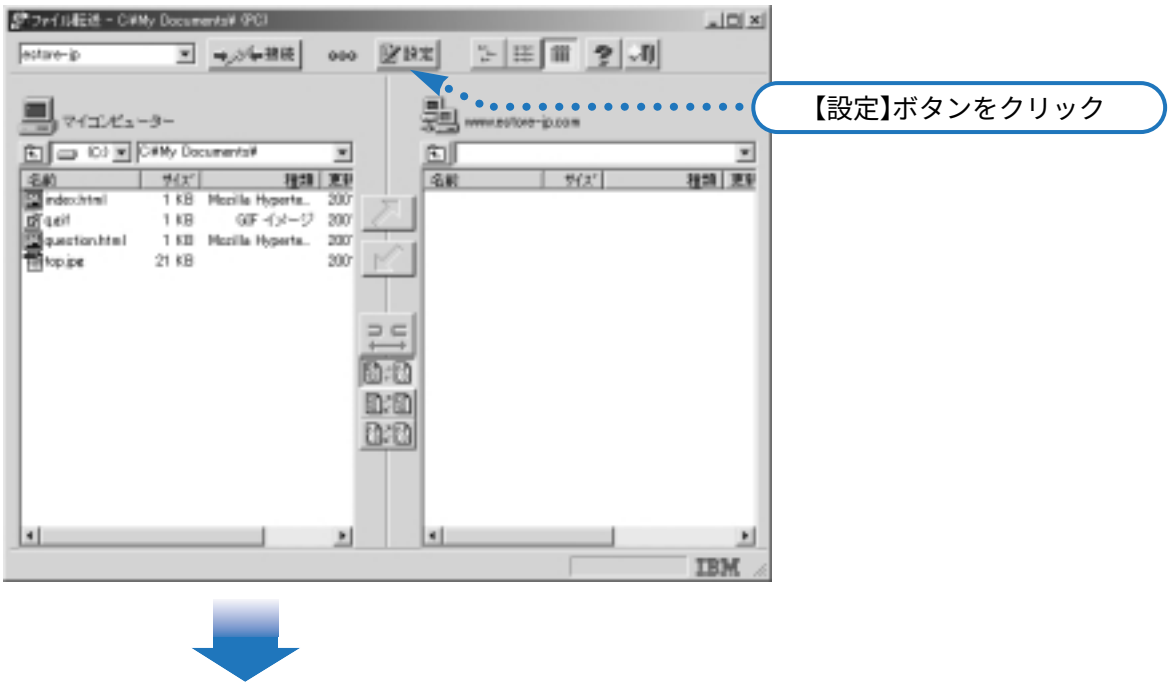
接続設定

❶ ホームページビルダーを起動し、メニューバーの**[ツール]**メニュー→**[ファイル転送](または[FTPツールの起動])**をクリックします。



[ファイル転送]ダイアログボックスが表示されます。

❷ 【設定】ボタンをクリックします。



[ファイル転送設定]ダイアログボックスが表示されます。

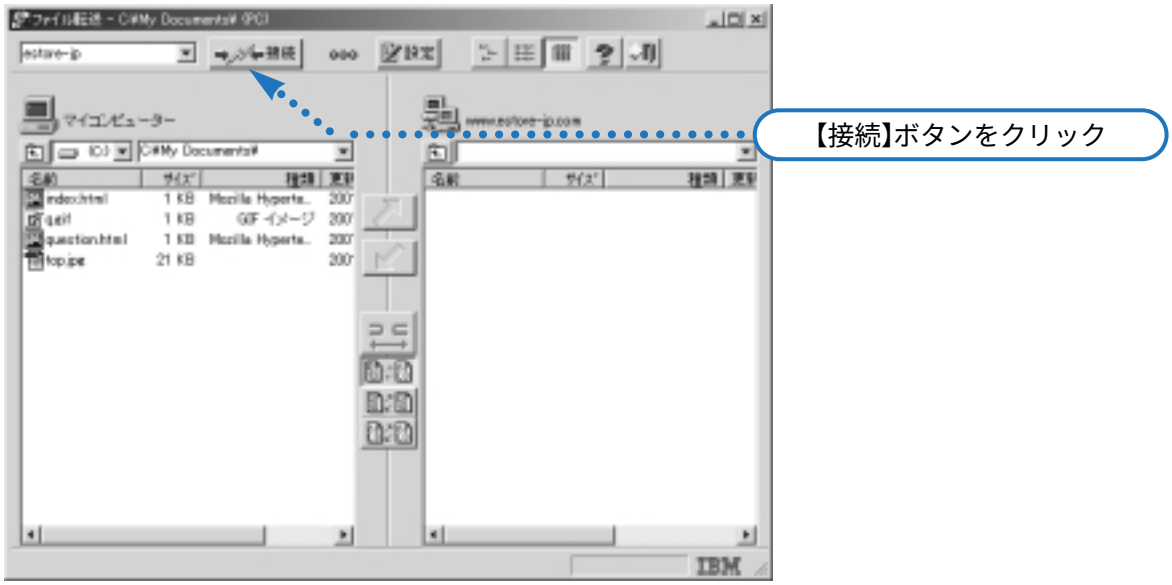
❸ それぞれの設定項目に必要事項を入力し、【OK】ボタンをクリックします。

・サーバプロファイル名	(自由に入力してください)
・FTPサーバー名	登録証記載の「ウェブサーバ」
・FTPアカウント名	登録証記載の「管理者のユーザアカウント」
・FTPパスワード	登録証記載の「管理者のユーザパスワード」 (変更している場合は変更後のパスワード)
・サーバの初期フォルダの設定	(指定しない)

[ファイル転送]ダイアログボックスが表示されます。
ダイアログボックス左側には、ホームページを作成・保存したフォルダの内容が表示されています。

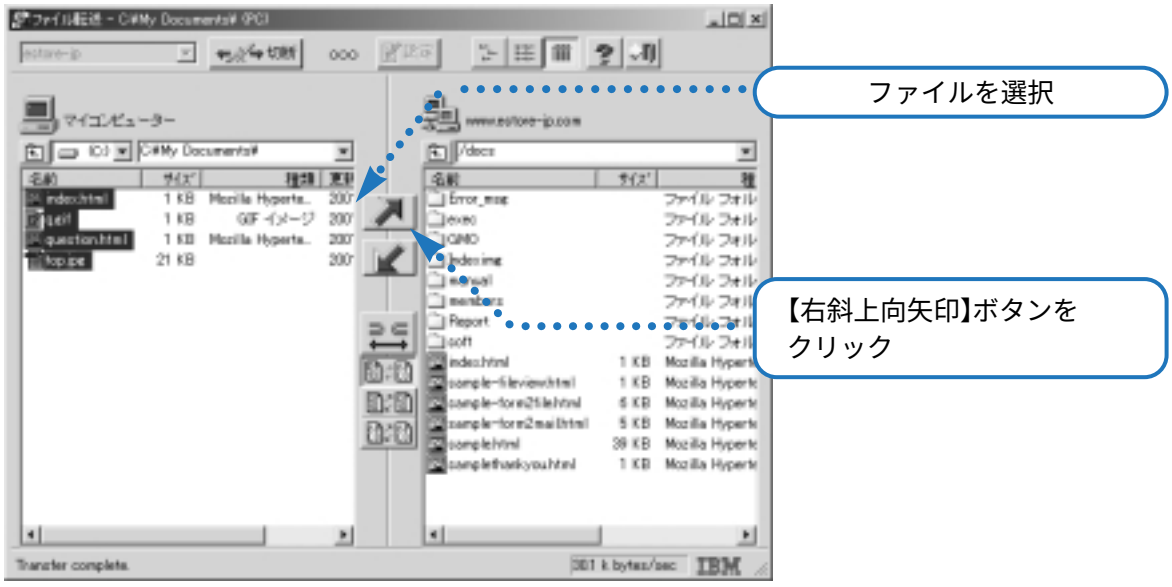
アップロード

1 パソコンがインターネットに接続されていることを確認して、**[ファイル転送]**ダイアログボックスの**【接続】**ボタンをクリックします。

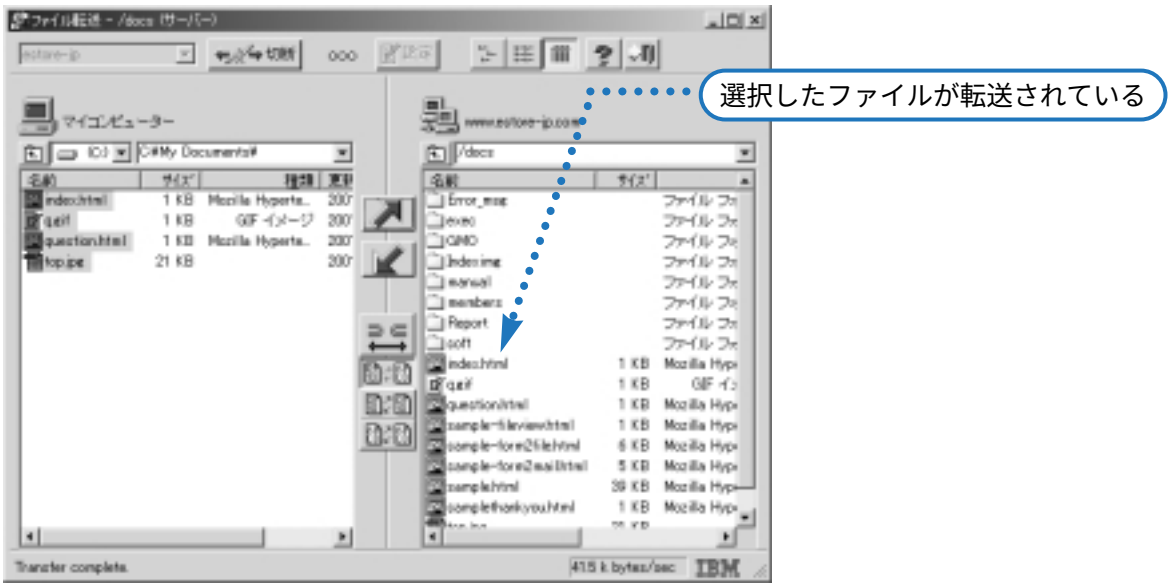


サーバに接続します。
接続が完了すると、ダイアログボックス右側の画面にサーバ上のファイルやフォルダが表示されます。

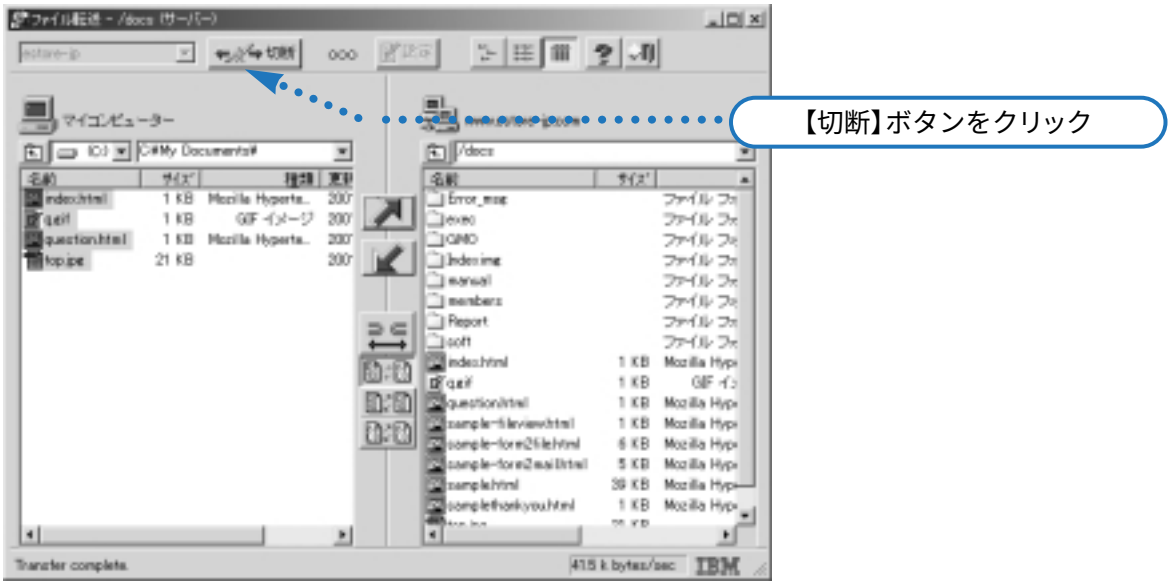
2 ダイアログボックス左側から、転送したいファイルやフォルダをクリックします。
複数のファイルやフォルダを一度に選択するときは、**【Shift】**キー、または**【Ctrl】**キーを押しながらクリックします。
ファイルを選択したら、**【(右斜上向矢印)】**ボタンをクリックします。



右側の画面に、転送したファイルやフォルダが表示されます。



3 転送が終わったら、**【切断】**ボタンをクリックします。



サーバとの接続が切断されます。

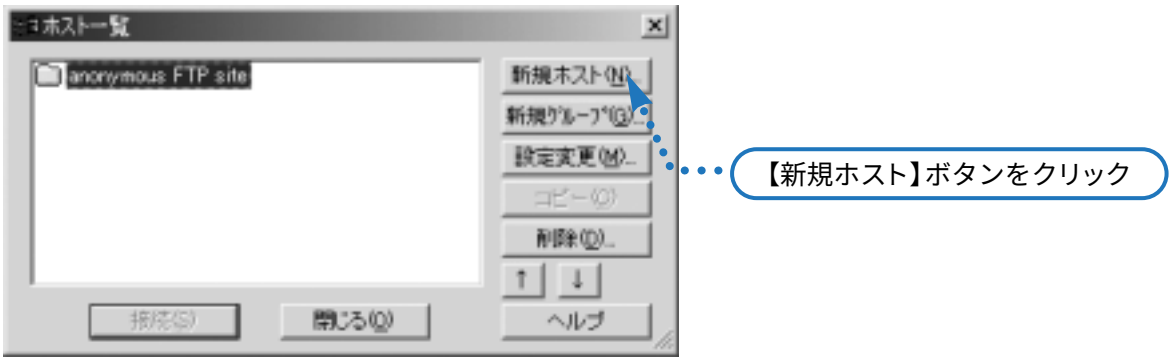
※[サイト転送]機能を使うと、アップロード処理を自動化することもできます。詳しくはソフト付属のマニュアルを参照してください。

5-6　FTPソフトでアップロードーWindows編

Windows用ftpソフト『FFFTP』を使用して、ホームページをアップロードします。
FFFTPはフリーウェアですから、インターネットのソフトウェアダウンロードサイト、またはパソコン雑誌の付録CD-ROMなどから入手できます。インストールの方法については、ソフト付属のマニュアルを参照してください。

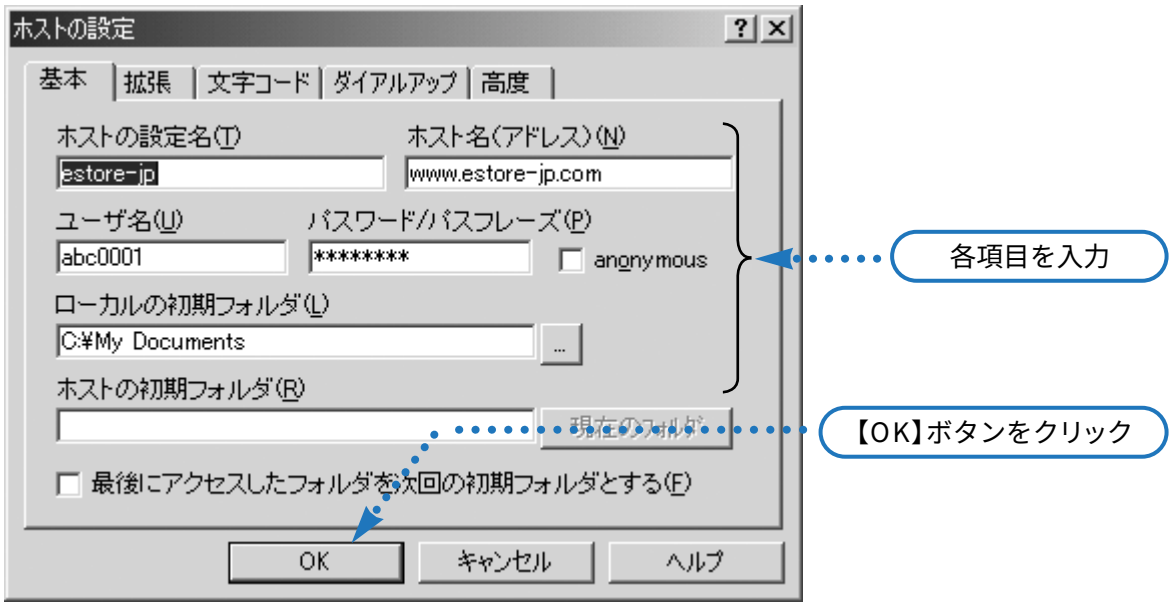
接続設定

1 FFFTPを起動し、**[ホスト一覧]**ダイアログボックスの**【新規ホスト】**ボタンをクリックします。



[ホストの設定]ダイアログボックスが表示されます。

2 次の項目を設定し、**【OK】**ボタンをクリックします。

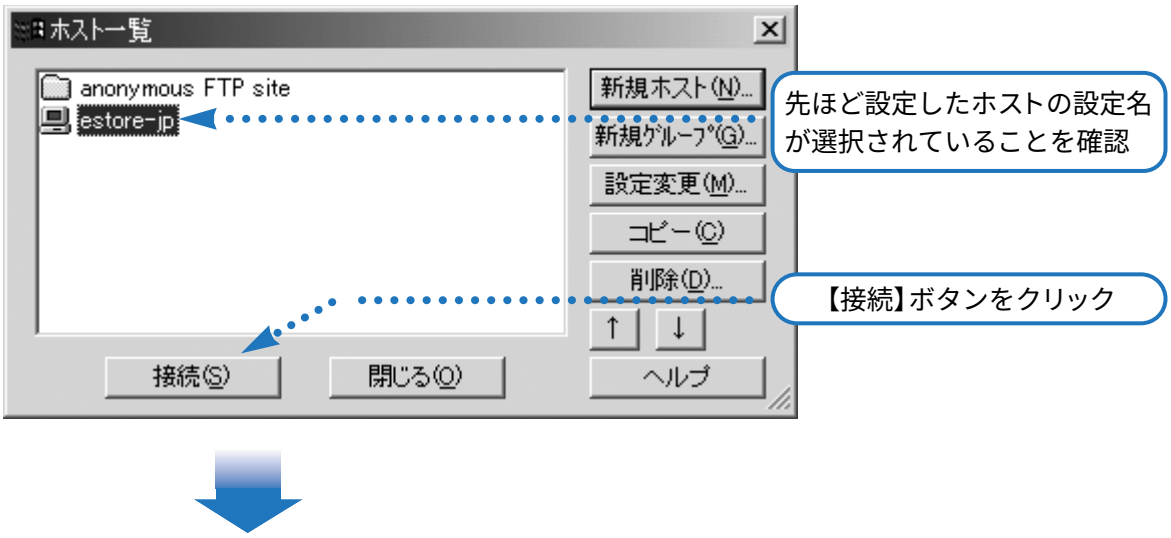


- ホストの設定名　（自由に入力してください）
- ホスト名（アドレス）　登録証記載の「ウェブサーバ」
- ユーザ名　登録証記載の「管理者ユーザアカウント」
- パスワード/パスフレーズ　登録証記載の「管理者ユーザパスワード」（変更している場合は変更後のパスワード）
- ローカルの初期フォルダ　ホームページが保存されているフォルダ名
- ホストの初期フォルダ　（指定なし）

再び**[ホスト一覧]**ダイアログボックスが表示されます。

アップロード

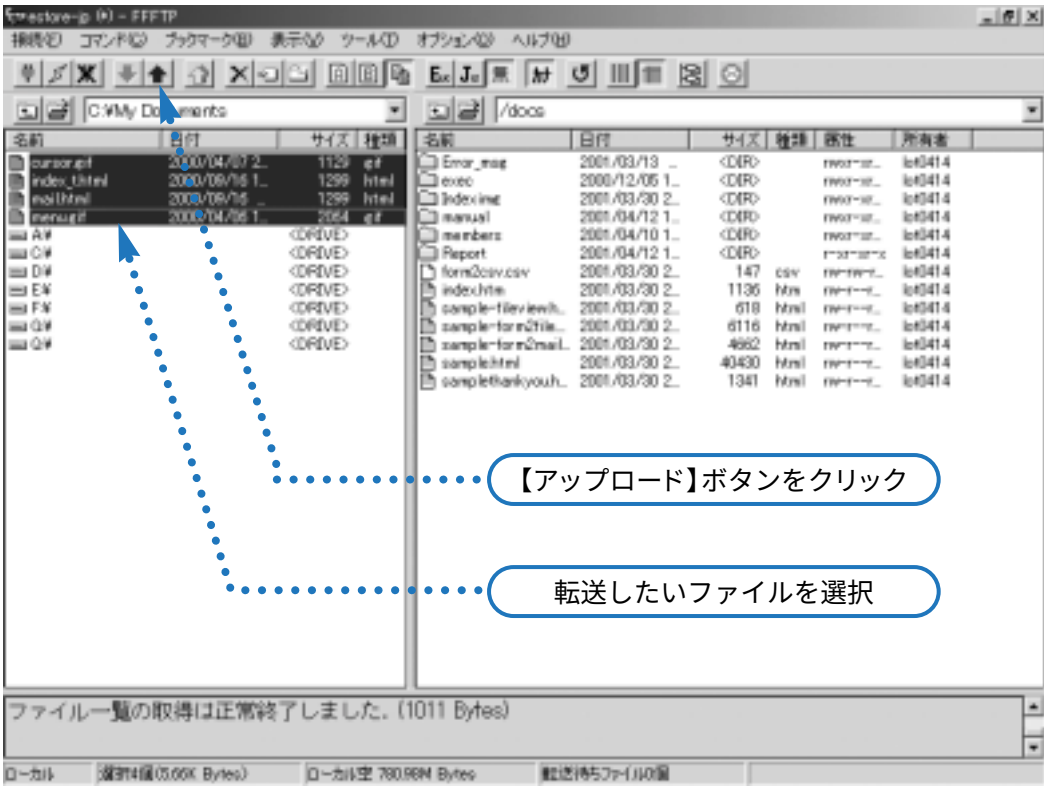
1 **[ホスト一覧]**ダイアログボックスで、先ほど設定したホストの設定名(例では「estore-jp」)が選択されていること、そしてインターネットに接続されていることを確認して、**【接続】**ボタンをクリックします。



ウェブサーバに接続されます。

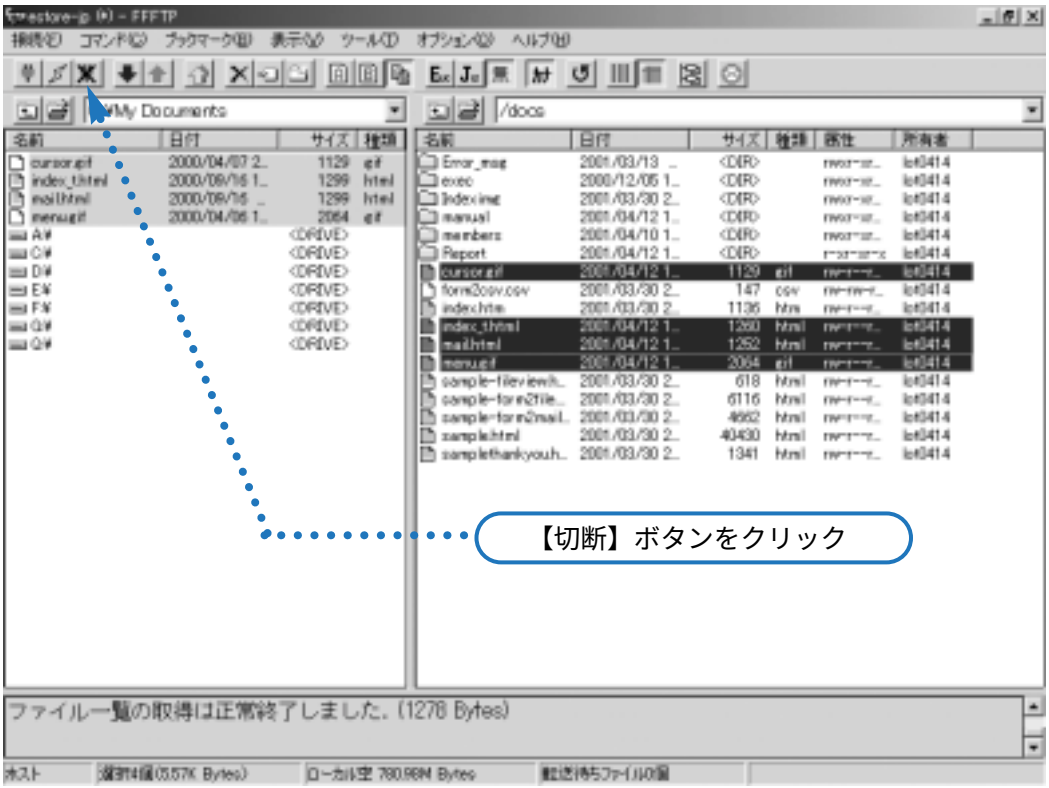
FFFTPのウィンドウ右側には、サーバ内のファイルやフォルダが表示されます。

2 ダイアログボックス左側から、転送したいファイルやフォルダをクリックします。
複数のファイルやフォルダを一度に選択するときは、**【Shift】**キー、または**【Ctrl】**キーを押しながらクリックします。
ファイルを選択したら、**【アップロード】**ボタン(または**[コマンド]メニュー→[アップロード]**)をクリックします。



右側の画面に、転送したファイルやフォルダが表示されます。

3 転送が終わったら、**【切断】**ボタン(または**[接続]**メニュー→**[切断]**)をクリックします。



接続が切断されます。

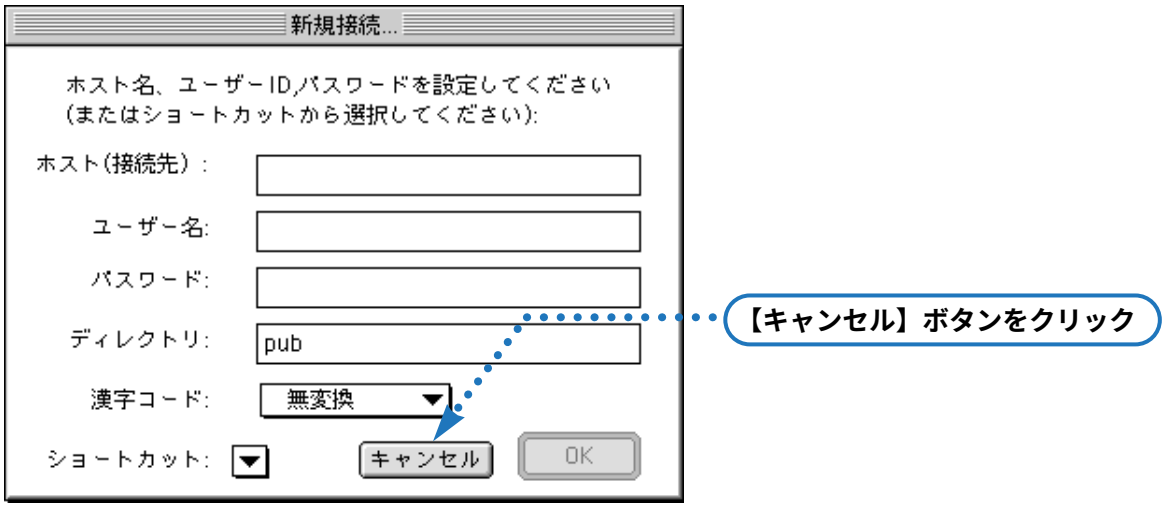
5-7　FTPソフトでアップロード　Macintosh編

Macintosh用ftpソフト『Fetch』を使用して、ホームページをアップロードします。
Fetchはシェアウェアですから、インターネットのソフトウェアダウンロードサイト、またはパソコン雑誌の付録CD-ROMなどから入手できます。インストールの方法については、ソフト付属のマニュアルを参照してください。

Fetchの公式ページ　http://www.hart.co.jp/fetch/(2002年4月現在)

転送設定

1 Fetchを起動し、**[新規接続]**ダイアログボックスの**【キャンセル】**ボタンをクリックします。

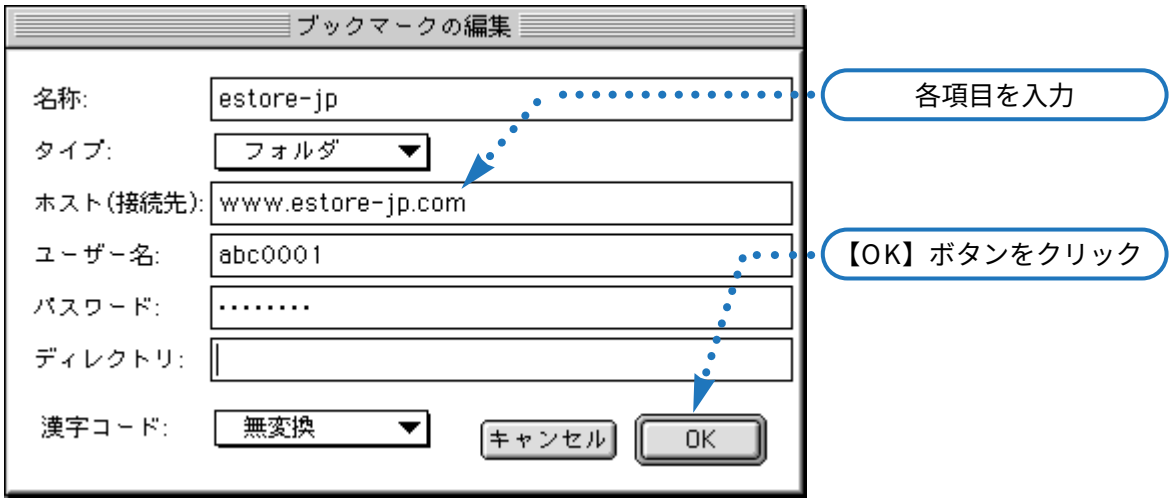


注意
起動直後の[新規接続]ダイアログボックスで設定した項目は保存されません。設定内容を保存するためには、必ずここでキャンセルしてください。

2 **[カスタム]**メニュー→**[新しいショートカット]**をクリックします。

[新規接続]ダイアログボックスが表示されます。

3 次の項目を設定し、**【OK】**ボタンをクリックします。



・名称	(自由に入力してください)
・タイプ	フォルダ
・ホスト(接続先)	登録証記載の「ウェブサーバ」
・ユーザー名	登録証記載の「管理者のユーザアカウント」
・パスワード	登録証記載の「管理者のユーザパスワード」
・ディレクトリ	(指定なし)
・漢字コード	無変換

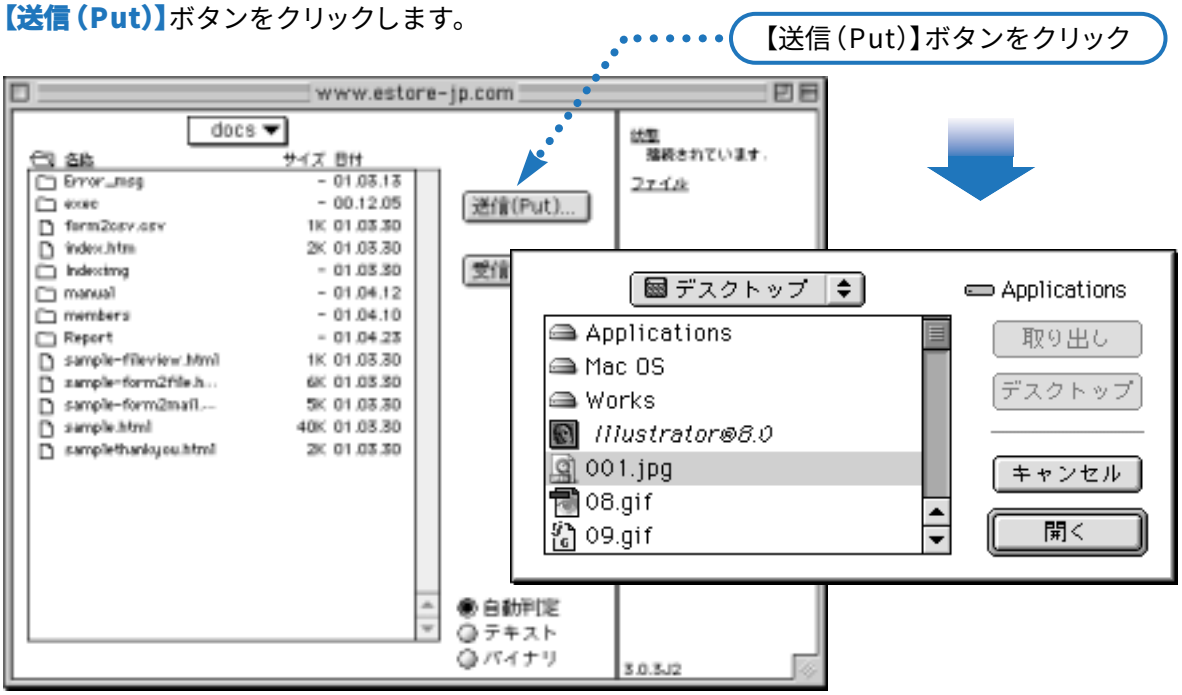
設定が完了します。

アップロード

1 **[ファイル]**メニュー→**[ショートカットを開く]**→**[(接続設定で入力した名称)]**をクリックします。

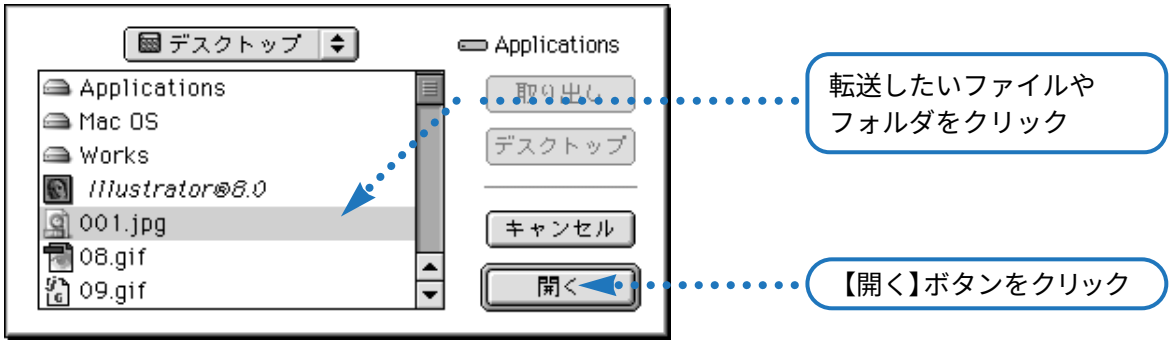
ウェブサーバに接続されます。
Fetchのウィンドウ左側には、サーバ内のファイルやフォルダが表示されます。

2 **【送信(Put)】**ボタンをクリックします。



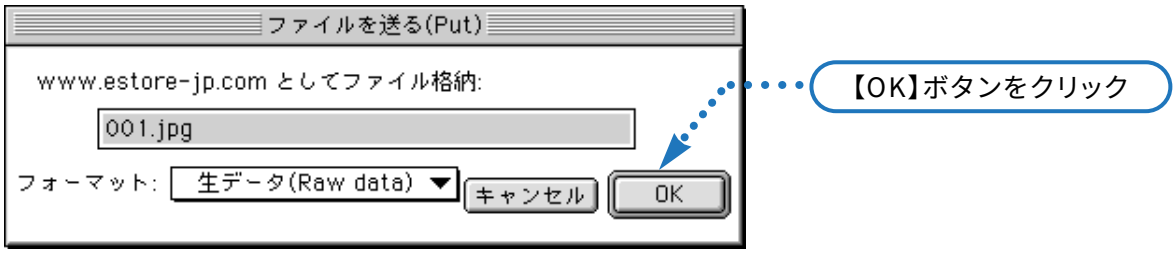
ウィンドウ右側に、ホームページを作成・保存したフォルダの内容が表示されます。

3 転送したいファイルやフォルダをクリックします。
複数のファイルやフォルダを一度に選択するときは、Commandキーを押しながらクリックします。
ファイルを選択したら、**【開く】**ボタンをクリックします。



[ファイルを送る(Put)]ダイアログボックスが表示されます。

4 転送ファイル名を確認して、**【OK】**ボタンをクリックします。



転送が完了し、転送したファイルやフォルダが表示されます。

5 転送が終わったら、**[ファイル]**メニュー→**[閉じる]**をクリックします。

接続が切断されます。

6. ホームページ作成ツールでの作成

ここでは、サイトサーブで用意している「ホームページ作成ツール」でホームページを作成する方法を説明します。これは、ホームページ作成ソフトやHTMLの知識がなくても、用意されている画像や、部品を選択するだけで簡単に作成することができます。この「ホームページ作成ツール」を使用すると、ファイル保存することで自動的にホームページが公開されますので、ホームページのファイルをアップロードする手間が省略できます。また、ホームページの更新も、ホームページ作成ツールで行えますので、ホームページ作成ソフトを準備する必要もありません。

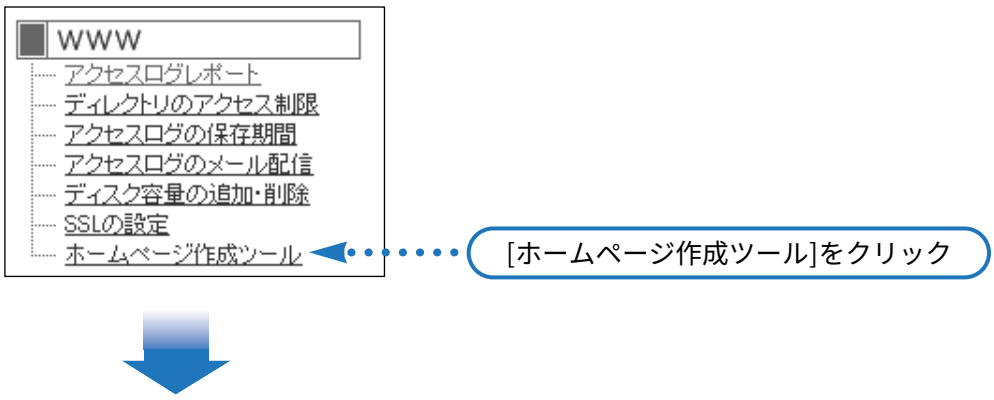
> **注意**
> 「ホームページ作成ツール」を利用している間は、常にインターネットと接続された状態になります。
> 画面の表示は、通信回線の速度に依存しますし、通信料金がかかりますので、ご注意ください。

6-1 ホームページ作成ツールの利用

ホームページ作成ツールを表示して、トップページを作成します。

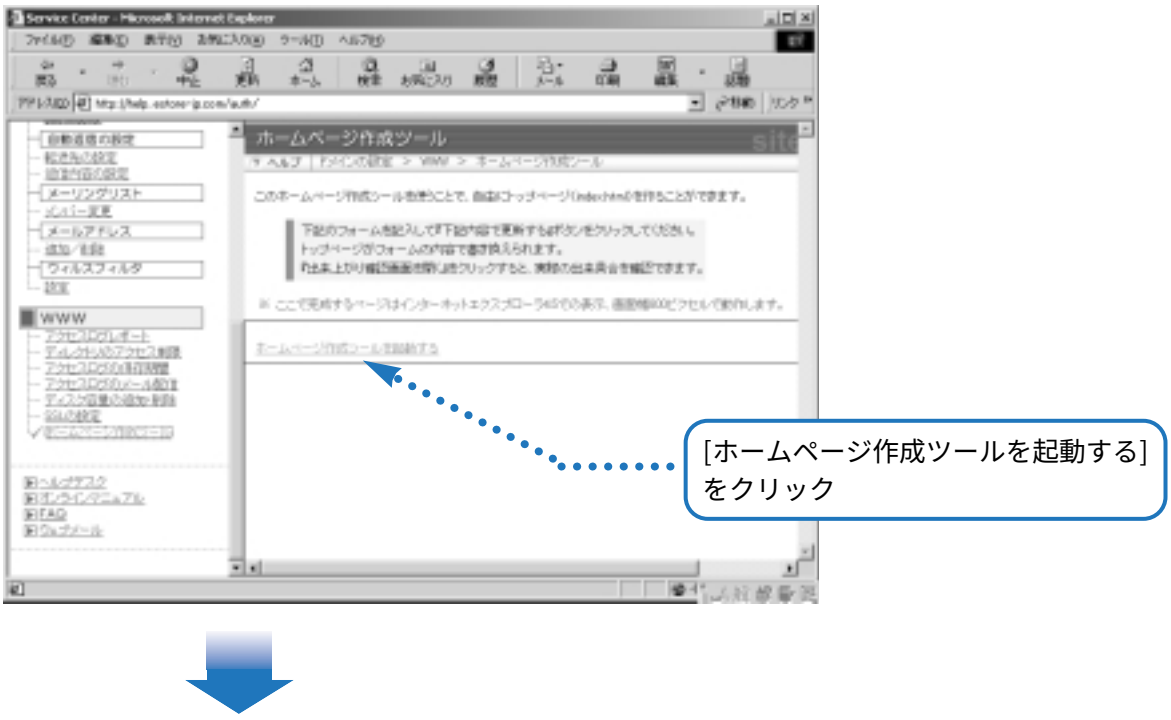
転送の解除

1 サービスセンターのWWW項目から、**[ホームページ作成ツール]**をクリックします。



説明の画面が表示されます。

❷ [ホームページ作成ツールを起動する]をクリックします。



タイトルを作成する画面が表示されます。

注意

ホームページ作成ツールを利用してホームページを作成すると、自動的にログインディレクトリ(docs)内にトップページ(index.html)が生成されます。お客様のサーバ上に、すでに同名のファイルがあった場合は、上書きされてしまいます。残しておきたい場合は、事前にダウンロードをするなどしてバックアップを行ってからホームページ作成ツールを起動してください。

6-2　ホームページ作成ツールのツール一覧

メニュー

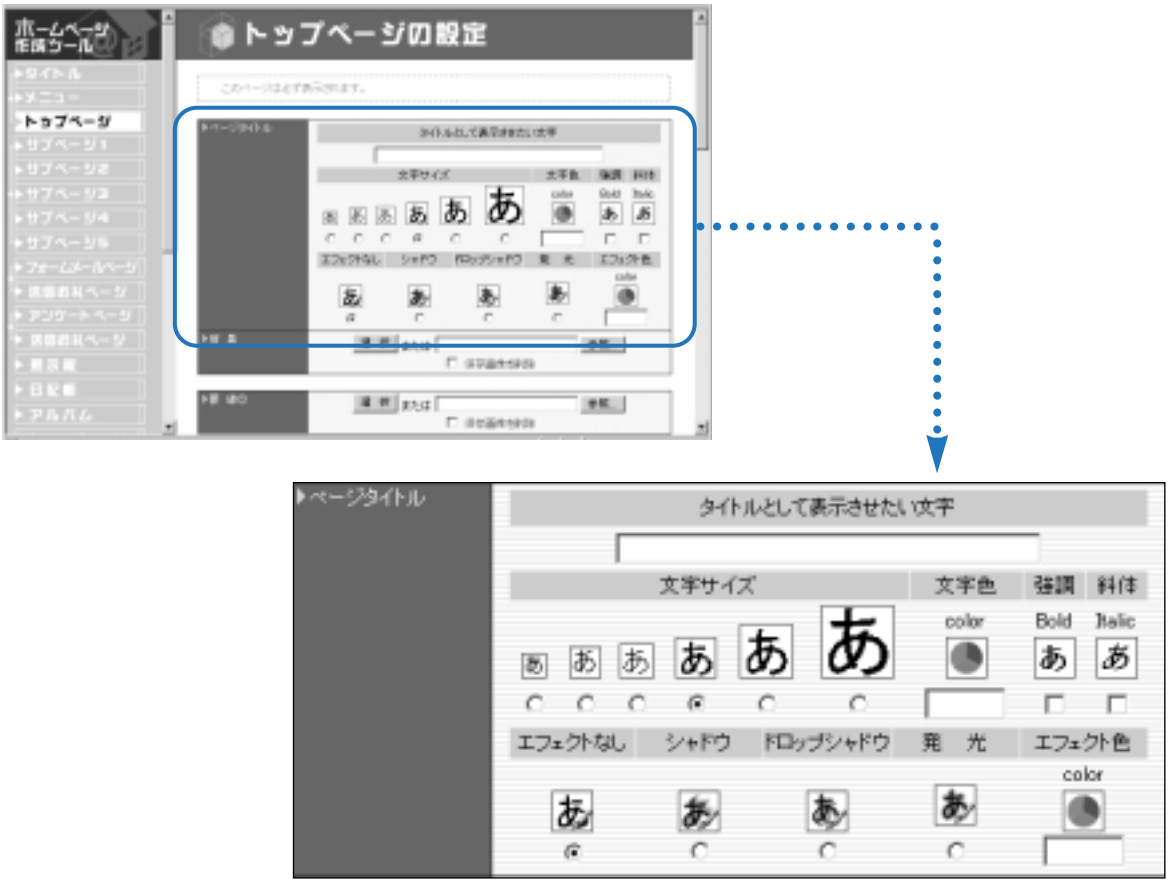
ホームページ作成ツールには左のフレームに作成するページなどがメニューで表示されています。それぞれ､次のようなページを作成するときに使用します。

メニュー	設定内容
タイトル	作成するホームページのタイトルの設定を行います。
メニュー	作成するホームページのメニューの設定を行います。
トップページ	作成するホームページのトップページの設定を行います。
サブページ1～5	作成するホームページのサブページ(5ページまで設置可能)の設定を行います。
フォームメールページ	作成するホームページのフォームメールページの設定を行います。
送信お礼ページ	フォームメール送信後に表示するお礼ページの設定を行います。
アンケートページ	作成するホームページのアンケートページの設定を行います。
送信お礼ページ	アンケート送信後に表示するお礼ページの設定を行います。
掲示板	作成するホームページの掲示板の設定を行います。
日記帳	作成するホームページの日記帳の設定を行います。
アルバム	作成するホームページのアルバムの設定を行います。
ショップページ1～5	作成するホームページのショップページ(ストアツールの契約が必要で5ページまで設置可能)の設定を行います。
完成画面を表示	設定した内容で完成画面を表示します。
アンケート結果を開く	作成したホームページのアンケートページから入力されたデータを表示します。

設定項目

ホームページ作成ツールには、ホームページの基本的なデザインに必要な項目が用意されています。
それぞれ、次のような設定項目があります。ページの種類によって、
設定できる個数や順番が異なります。

ページタイトル



設定項目	説　明
文　字	任意の文字列を入力します。
文字サイズ	文字のサイズを選択します。
文字色	文字の色を指定します。 アイコンをクリックするとカラーパレットが表示されますので、 ここから選択することもできます。
強　調	文字を強調(太字)にする場合チェックします。
斜　体	文字を斜体にする場合チェックします。
エフェクトなし	文字の特殊なデザイン(シャドウ、ドロップシャドウ、発光)を しない場合に選択します。
シャドウ	文字に影をつけたような表示をさせる場合に選択します。
ドロップシャドウ	文字に影をつけて浮き出るような表示をさせる場合に選択します。
発　光	文字に発光効果を付ける場合に選択します。
エフェクト	シャドウ、ドロップシャドウ、発光を選択した場合のエフェクト色 を選択します。アイコンをクリックするとカラーパレットが 表示されますので、ここから選択することもできます。

背　景

設定項目	説　明
選　択	素材集の背景パターンよりお好みの画像を選択することができます。
参　照	自分で用意した画像ファイルを選択することができます。

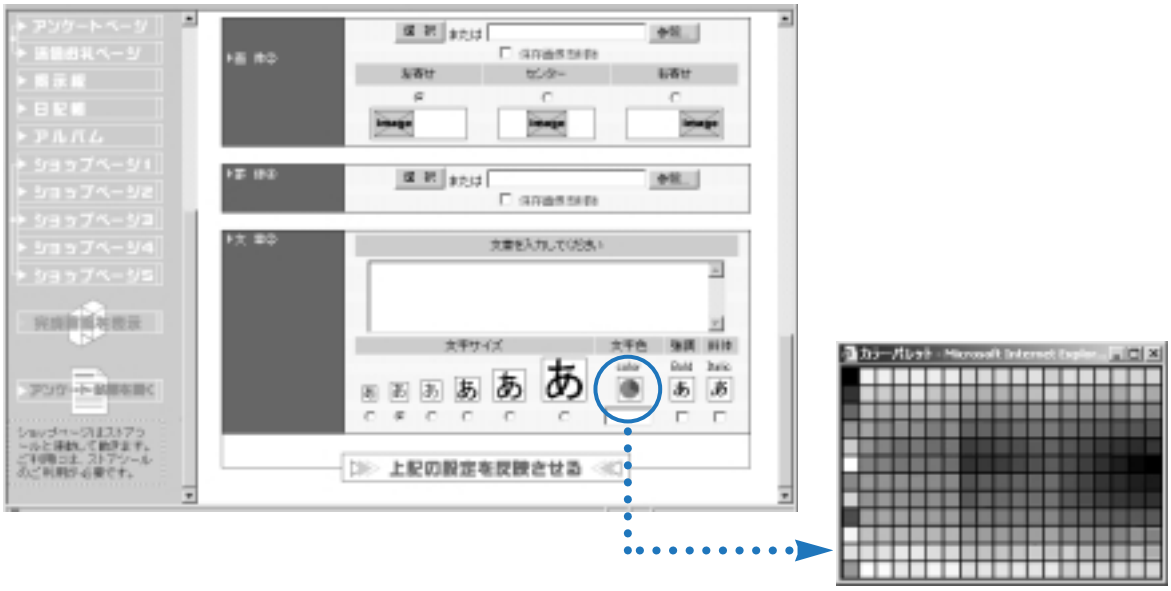
罫　線

設定項目	説　明
選　択	素材集の罫線パターンよりお好みの罫線を選択することができます。
参　照	自分で用意した画像ファイルを選択することができます。

画　像

設定項目	説　明
選　択	素材集の画像パターンよりお好みの画像を選択することができます。
参　照	自分で用意した画像ファイルを選択することができます。

文　章



設定項目	説　明
文　字	任意の文字列を入力します。
文字サイズ	文字のサイズを選択します。
文字色	文字の色を指定します。 アイコンをクリックするとカラーパレットが表示されますので、 ここから選択することもできます。
強　調	文字を強調(太字)にする場合チェックします。
斜　体	文字を斜体にする場合チェックします。

注意

ホームページにショップページを作成して運用する場合は、別途『ストアツール』の契約が必要になります。『ストアツール』の契約については、サイトサーブの代理店またはヘルプデスク宛にご連絡ください。『ストアツール』の詳細については、次のURLで参照できます。

http://www.estore.co.jp/stool.html

第3章

7. ホームページ制作会社への依頼

ここでは、ホームページを制作会社など外部に依頼して作成してもらう方法や注意事項について説明します。自分で作成するには自信がないとか、会社の信頼性から顔としてきちんとしたものが必要であるとか、自分で作成したものをかっこよくしたいとか、そういった場合に外部の制作会社を利用します。

7-1 制作会社の探し方

ホームページの制作会社を探す方法には、さまざまな方法があります。
まずは、友人や知人などを頼って紹介してもらう方法です。次に、インターネットを利用して、関連する会社を検索します。このほか、雑誌の広告やイエローページなどで探す方法もあります。

インターネットで検索する

インターネットで検索する場合は、「第4章　1.検索サイトへの登録」を参考に、いくつかの検索サイトを利用します。検索をするときは、検索語に「ホームページ制作」や「ホームページ作成」といったキーワードを入力します。
検索サイトによって、結果は異なりますが、いずれにしてもたくさんのホームページ制作を行っている企業や個人などのアドレス(URL)が一覧となって表示されます。そこをクリックすると、それぞれのホームページにとびます。
多くの場合、そのホームページには、企業や個人の連絡先(電話番号やメールアドレス)と、作成例のようなものや、どのようなタイプのホームページを得意とするか、金額などが紹介されています。いくつか、閲覧してその中から、作成に関する費用や、作成したデザインイメージに合ったところを選択します。また、制作を依頼する場合は、打ち合わせなど直接会う機会も必要ですから、住所を確認することも重要です。

参考
実際に検索される制作者は、学生や個人でのアルバイト、SOHOと呼ばれる小規模の組織から、ホームページ制作を専門に行っている中規模の企業、デザイン会社や映像制作会社など大企業の組織など、さまざまです。
費用も、組織の規模やデザインのレベル、ホームページの難易度によって、さまざまです。標準価格や定価がありませんので、交渉が必要です。参考までに、1ページ1万円から、Webサイト一式10ページ程度で30万円～50万円が相場といわれています。

7-2 制作依頼の準備

実際に制作会社が決まって依頼する場合は、ホームページに掲載する文章や画像などの素材を準備します。

制作依頼のポイント

準備する素材は、タイトルや掲載する文章と会社のロゴや商品などの画像があります。
一般的には、タイトルや文章は、テキストファイルで作成して渡します。画像は、gif形式で作成します。会社のロゴなど紙に印刷されたものは、スキャナで取り込む以外に方法がない場合は、ロゴの印刷されたものを制作会社に渡して取り込みを依頼します。商品などは、デジタルカメラで撮影して取り込みます。実際は、依頼した制作会社と相談して決めます。

次に、ホームページ公開後のメンテナンスや運用について決めます。公開後は自分自身で、掲載した文章や画像を変更したり、メンテナンスを行う場合は、その旨を制作会社に伝えます。文章が訂正しやすいように作成してもらったり、文章や画像ファイルの場所などを教えてもらいます。そして、自分自身でもホームページ制作ソフトを用意して使えるように準備しておくことが必要です。逆に、公開後もホームページの更新を依頼する場合は、費用もきちんと決めておきます。

また、制作の内容には、ホームページのアップロードと動作確認まで依頼することもできます。この場合は、アップロード用のアカウントとパスワードを制作会社に渡します。これにより、アカウントとパスワードを一時的に教えてしまうことになりますので、納品が完了した段階で、パスワードを変更してセキュリティを保つようにします。

参考

制作会社に依頼するメリットは、制作の経験があることと、目的に合ったデザインを提案してもらえること、またホームページの利用者の心理を把握していることです。ホームページの目的にあった、デザイン性のあるホームページを作成するには、このようなプロにお任せすることをお薦めします。

8. CGIの利用

ここでは、インタラクティブなホームページの掲載に必要な機能「CGI」の利用方法について説明します。これは、ホームページ上で入力された内容をメールで送信したり、掲示板を動かしたり、アクセスカウンタを表示するものです。サイトサーブでは、次の4個の標準提供のCGIと、プログラム作者から提供いただいている14個のCGIが利用できます。このほかに、自分で作成したCGIを利用することもできます。

CGI(Common Gateway Interface)とSSI(Server Side Include)

CGIとは、ウェブサーバ上で外部のアプリケーションと連携する機能のことをいいます。
普通のホームページでは、URLを指定すると、あらかじめ用意されたhtmlファイルや画像ファイルを表示するだけです。誰がアクセスしても内容は変わりません。
しかしCGIを利用すると、外部のアプリケーションと連携して、アクセスしてきた人の選択や入力した内容に応じて処理を行い、その都度違った結果を表示することができます。アクセスカウンター、チャット、掲示板、アンケートフォームなど、様々な用途に利用されています。
インターネット上の多くのウェブサーバでは、CGI用の外部アプリケーションとして「Perl」というスクリプト言語で書かれたプログラムを利用します。この言語はプログラム作成が比較的簡単なことから、インターネット上で多く公開されています。そのため最近では、「CGI」というとPerl言語で書かれたスクリプトのことを指している場合もあります。
CGIと近い機能にSSIがあります。CGIと違い、SSIではhtmlファイルの中にプログラムが埋め込まれています。そして、htmlファイルを表示するときにウェブサーバ上でプログラムを実行し、結果を表示します。

8-1 サイトサーブの標準提供CGI

アクセスカウンター

Muhammad A Muquit氏によるCount 2.5を利用できるように設定してあります。
アクセスカウンターは、ホームページにアクセスのあった回数を表示するものです。複数のページにそれぞれ設置することができます。
サイトサーブのアクセスカウンターは、異なるIPアドレス(パソコン)からアクセスがあったときにはじめてカウントされるプログラムです。したがって、同じパソコンから何度も続けてアクセスしてもカウントはされません。より正確な訪問者の数がわかる仕様になっています。

IP(Internet Protocol)アドレス

IPアドレスとは、インターネットに接続されているコンピュータに必ず割り当てられる12桁の数字です。
通常インターネットでホームページを見るときには、「http://www.estore-jp.com/」のようにURLアドレスを指定しますが、サーバではURLアドレスをIPアドレスに変換して、IPアドレスから目的のサーバを探し出しています。
インターネットには常時接続されているサーバの他に、個人がパソコンを使って、ダイアルアップ接続を行うこともあります。個人のパソコンには、接続の度にプロバイダのサーバが一時的なIPアドレスを割り当てています。ただし、これは文字通り一時的に割り当てられたIPアドレスなので、一度ダイヤルアップ接続を切断し、再度接続すると、次は違うIPアドレスが割り当てられます。
(アクセスカウンターは、このIPアドレスを見て、同じパソコンからの再読込かどうかを判断しています。)

フォームメール

フォームメールとは、メールソフトを使わないでホームページに設定された画面で入力されたデータを、指定されたメールアドレスに送信するCGIプログラムです。簡単なアンケートや商品の注文画面に利用することができます。

フォームファイル

フォームファイルとは、ホームページに設定された画面で入力した内容が指定された1つのファイルの中に追加保存されていくCGIプログラムです。データはCSV形式で保存されるので、表計算ソフトやデータベースソフトで処理することができます。項目数の多いアンケート調査などに利用することができます。

掲示板

掲示板とは、ホームページに設定された画面に書き込んだ文章がホームページ上に公開され、アクセスした人が閲覧できるCGIプログラムです。一般に公開して、ホームページなどの感想を書き込んでもらったり、特定のテーマについての意見交換の場として利用することができます。また、特定のメンバーだけに公開してプロジェクトの管理や討論などができます。

8-2 CGIプログラムの利用方法

サイトサーブで標準提供しているプログラムを利用する方法は、次の2通りがあります。
本マニュアルでは、(1)の方法を掲載しています。(2)の方法は、オンラインマニュアルに掲載されていますので、参照してください。

(1)ホームページ上に所定の記述(HTML)をする方法

ホームページを編集するだけで利用ができます。
初心者の方はこの方法での設置をお勧めいたします。

**(2)ホームページ上に所定の記述(HTML)をして、
環境設定ファイル(cgi_config.txt)を編集する方法**

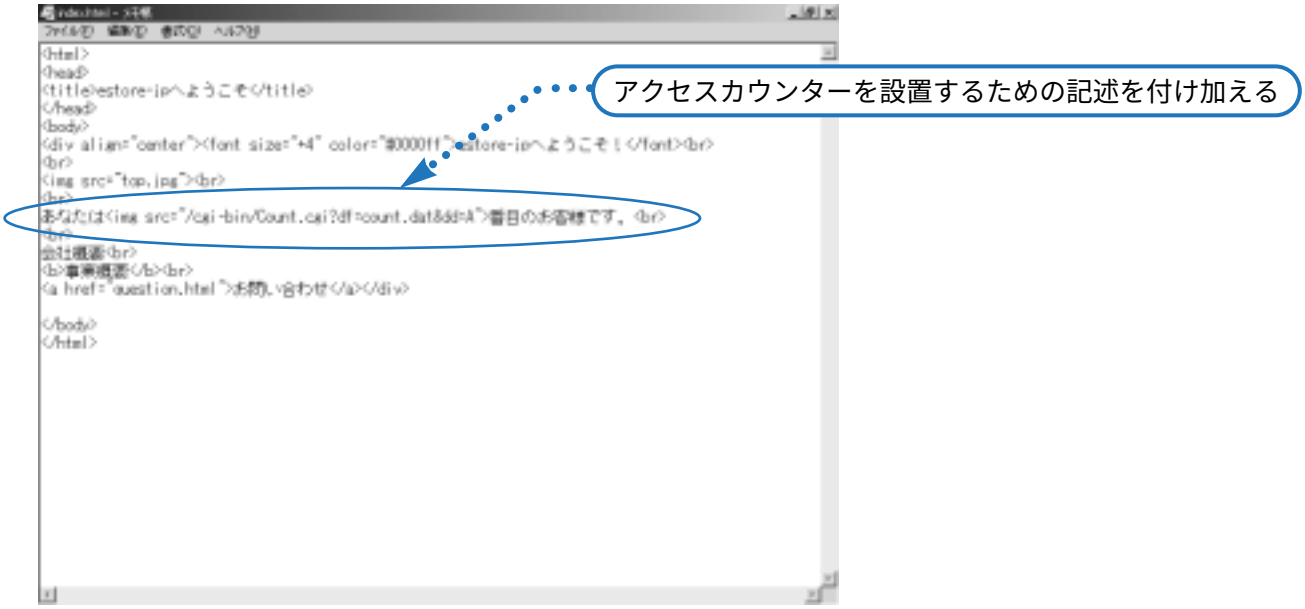
ホームページと環境設定ファイルの2つのファイルを編集する必要があります。また、環境設定ファイルを一度ダウンロードして編集し、再度アップロードする手間もかかります。ただし、設定は『cgi-bin』内にあるファイル(cgi_config.txt)で行うので、設定内容を他の人に見られることはありません。

http://help.(お客様のドメイン)/manual/

8-3 標準提供CGI(1)

アクセスカウンターの設置

1 アクセスカウンターを設置するページのhtmlファイルを、テキストエディタで開きます。アクセスカウンターを表示する行に、「<img src="/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=A ">」と入力し、保存します。



2 サーバにアップロードし、ブラウザで表示します。

アクセスカウンターが表示されます。

オプションの指定

オプションを指定することによって、複数ページに別々のカウンターを設置したり、さまざまなデザインに変更したりできます。すべて半角文字で入力します。

●オプション指定は「?」の右側に記述する
●オプション指定が複数ある場合は、「&」をはさんで並べる

先ほどの例では、

<img src=”/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=A”>

?より右側がオプションです。「df=count.dat」と「dd=A」という2つのオプション指定を、&でつないでいます。
指定できるオプションの意味と用法は次の通りです。

（オプションの一覧表）

オプション	指定できる値	内容
df	ファイル名	カウント数を記録するファイル名の指定（複数ページにカウンターを設置する場合、ここで別々のファイル名を指定する）
dd	A～E	カウンターのタイプを指定
ft	0～5	カウンターの枠の太さの指定、指定しない場合は自動的に4
frgb	000000～ffffff	カウンターの枠の色を16進数で指定
trgb	000000～ffffff	カウンターの背景の色を16進数で指定
md		カウンターの桁数を指定、指定しない場合は自動的に6桁

display	date	
dformat	yyyymmdd	カウンターをカレンダー表示にする yyyy＝年（yy＝下2桁）、mm＝月、dd＝日　で、年月日の順番入れ替え可

display	clock	
tformat	12,24	カウンターを時計表示にする 12＝12時間表示、24＝24時間表示 （オプションの一覧表終わり）
pad	Y,N	桁の左側の余っている部分を0で埋めるかどうかの指定 Y＝埋める、N＝埋めない
degrees	90,180,270	カウンターを90度単位で回転させる

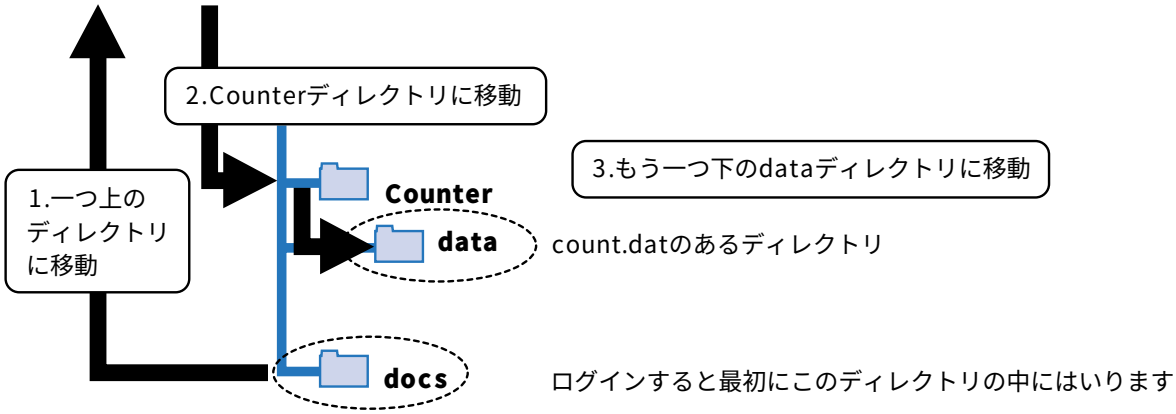
カウンターの設置例（一部）

- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=A " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=B " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=C " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=D " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=E " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=A&ft=0 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=B&ft=0 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=C&ft=0 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=D&ft=0 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=E&ft=0 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df = count.dat&dd = A&ft= 0&trgb = 000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=B&ft=0&trgb=000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=C&ft=0&trgb=000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=D&ft=0&trgb=000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&dd=E&ft=0&trgb=000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&srgb=00ff00&prgb=101010&trgb=000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&trgb=ffffff&dd=E " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&comma=T&dd=D&ft=2 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&srgb=00ff00&prgb=101010&ft=0&trgb=000000 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?df=count.dat&ft=0&degrees=90&dd=D&prgb=ffff00 " >
- <img src= "/cgi-bin/Count.cgi?display=clock&pad=F " >
- <img src= " /cgi-bin/Count.cgi?display=clock&tformat=24 " >
- <img src= " /cgi-bin/Count.cgi?display=date " >
- <img src= " /cgi-bin/Count.cgi?display=date&dformat=ddmmyy " >

アクセスカウンターの数値の変更

アクセスカウンターの数値は、サーバ上のCounter/dataディレクトリの中にある「count.dat」ファイルに保存されています。そのファイルを編集することによって、アクセスカウンターの数字を変更することができます。

「count.dat」のあるディレクトリ



※オプション指定で、カウント数を記録するファイル名をcount.dat から変更している場合は、指定したファイル名を編集してください。

数値の変更

1 サーバから**「count.dat」**ファイルをダウンロードします。

> **注意** ダウンロードは必ずASCIIモードで行ってください。

2 テキストエディタで**「count.dat」**ファイルを開き、**カウント数（コロン「:」の左側の数字）**を変更します。
次の例では、カウンターを2から100に変更しています。

変更前
2:165.76.18.136$$
変更後
100:165.76.18.136$$

3 **「count.dat」**ファイルを上書き保存して、サーバ上の元の場所にアップロードします。

> **注意** アップロードは必ずASCIIモードで行ってください。

アップロードしたら、ブラウザでアクセスカウンターのあるページを表示し、カウンターの数値が変更されていることを確認します。

※ダウンロード・アップロードについては、「第3章　6.ホームページの公開（アップロード）」を参照してください。

8-4 準提供CGI(2)フォームメール

ここでは、サイトサーブ提供のフォームメールを利用する方法について説明します。

参考

なお、あらかじめ用意されているサンプル画面をそのまま利用することもできます。各ページから、『**http://www.(お客様のドメイン名)/sample-form2mail.html**』へリンクをはるだけで、ご利用になれます。

▼ 利用の手順は次のようになります。

1. ホームページ内にフォームメールの設定
2. 入力フォームを作成
3. フォームメールを設置したホームページをアップロード
4. フォームメールの動作を確認します

利用方法

1 ホームページ内にフォームメールの設定をします。

フォームメールを設置したいホームページの中に、次の記述をします。
{　}で囲まれた部分は、次の設定値を参照して、必要に合わせて、お客様の設定に書き直してください。

```
<FORM METHOD="POST" ACTION="/cgi-bin/form2mail.cgi">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_NO" VALUE="2">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_TO" VALUE=" {webmaster@estore-jp.com} ">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_FROM" VALUE=" {webmaster@estore-jp.com} ">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_SUBJECT" VALUE="フォームメール結果">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_NEXTPAGE" VALUE=" {http://www.estore-jp.com/samplethankyou.html} ">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_CONFIRM" VALUE="YES">
</FORM>
```

【設定項目】

F2M_NO	CGI環境設定ファイル(cgi_config.txt)で、F2M_NOの初期値として"1"を使用しているので、"1"以外の数値を指定してください。
F2M_TO	ホームページに入力された内容を受け取るメールの送信先のアドレスを指定します。 カンマ区切りで指定することにより、複数アドレスの指定も可能です。 (例：taro@ estore-jp.com ,sato@ estore-jp.com)
F2M_FROM	ホームページに入力された内容をメールで受け取る際の、発信元(FROM)メールアドレスを指定します。 空白でも構いませんが、送信先エラーの場合に戻るアドレスがなくなるので、通常は自分のアドレスを入力します。

F2M_SUBJECT	ホームページに入力された内容をメールで受け取る際の、題名を指定します。
F2M_NEXTPAGE	ホームページへの入力・送信完了後に表示させるページを指定します。通常、お礼のページやホームページのトップページなどを指定します。例では、弊社であらかじめ用意しているサンキュー画面(http://www.estore-jp.com/samplethankyou.html)が表示されます。
F2M_CONFIRM	ホームページに入力された内容を送信前に確認する画面を表示させるか否か指定します。確認画面を表示させる場合は「YES」を、表示させたくない場合は「NO」を指定します。

2 入力フォームを作成します。

名前や住所など、表示させる入力フォームを作成します。
その際、すべての入力項目(テキストエリア、チェックボックスなど)に、NAMEの指定を行います。

【入力フォームの記述例】

```
<FORM METHOD="POST" ACTION="/cgi-bin/form2mail.cgi">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_NO" VALUE="2">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_TO" VALUE="webmaster@estore-jp.com">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_FROM" VALUE="webmaster@estore-jp.com">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_SUBJECT" VALUE="フォームメール結果">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_NEXTPAGE" VALUE="http://www.estore-jp.com/samplethankyou.html">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2M_CONFIRM" VALUE="YES">

  お　　名　　前：<INPUT TYPE="TEXT" NAME="NAME"><BR>
  メールアドレス：<INPUT TYPE="TEXT" NAME="MAIL"><BR>
  ご　　感　　想：<TEXTAREA NAME="COMMENT" ROWS="5" COLS="20"></TEXTAREA><BR>
  <INPUT TYPE ="SUBMIT" VALUE="送信">
  <INPUT TYPE ="RESET" VALUE="クリア">

</FORM>
```

※NAMEの指定がされていない場合は、送信されるメールに何も表示されませんので注意してください。また、NAMEの指定は、必ず英数文字で行ってください。
全角などを使用すると、文字化けの原因となります。

3 ファイルをアップロードします。

ファイルをアップロードするときは、ホームページ作成ソフトのftp機能、またはftpソフトを使います。アップロードの方法については、「第3章　6.ホームページの公開」を参照してください。

4 フォームメールの動作を確認します。

ファイルをアップロードしたら、動作を確認します。入力フォームがあるホームページへアクセスして、テストデータを入力・送信します。正しく設置されていれば、ホームページの記述でメールアドレス宛に、フォームの内容がメールで送信されます。

8-5 標準提供CGI(3)フォームファイル

ここでは、サイトサーブ提供のフォームファイルを利用する方法について説明します。

参考

なお、あらかじめ用意されているサンプル画面をそのまま利用することもできます。各ページから、「**http://www.(お客様のドメイン名)/sample-form2file.html**」へリンクをはるだけで、ご利用になれます。

▼ 利用の手順は次のようになります。

1. ホームページ内にフォームファイルの設定
2. 入力フォームを作成
3. フォームファイルを設置したホームページをアップロード
4. フォームファイルの動作を確認します

利用方法

1 ホームページ内にフォームファイルの設定をします。

フォームメールを設置したいホームページの中に、次の記述をします。
{ }で囲まれた部分は、次の設定値を参照して、必要に合わせて、お客様の設定に書き直してください。

```
<FORM METHOD="POST" ACTION="/cgi-bin/form2csv.cgi">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_NO" VALUE="2">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_FILE" VALUE="/users/estore-jp.com/web/docs/f2c/form2csv.csv">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_NAMES" VALUE="KANA,NAME,SEX,AGE">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_NEXTPAGE" VALUE=" {http://www.estore-jp.com/samplethankyou.html} ">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_CONFIRM" VALUE="YES">
</FORM>
```

【設定項目】

F2C_NO	CGI環境設定ファイル(cgi_config.txt)で、F2M_NOの初期値として"1"を使用しているので、"1"以外の数値を指定してください。
F2C_FILE	入力されたデータを蓄積する場所とファイル名を指定します。 例では、ログインディレクトリ(docs)の「f2c」ディレクトリ内に、form2csv.csvというファイル名で保存します。 ※ファイルが蓄積されるディレクトリには、アクセス制限をかけて、第三者に閲覧されないように設定することをお勧めいたします。
F2C_NAMES	入力フォームのNAMEタグで指定した値を、全てカンマ「,」区切りで指定します。ここで指定した順序で、ファイルに蓄積されます。 入力フォームでの記述にあわせて、設定してください。 ※NAMEの指定がされていない場合や記述に誤りがある場合は、ファイルにデータが蓄積されませんのでご注意ください。

F2C_NEXTPAGE	ホームページへの入力・送信完了後に表示させるページを指定します。 通常、お礼のページやホームページのトップページなどを指定します。 例では、弊社であらかじめ用意しているサンキュー画面 (http://www.estore-jp.com/samplethankyou.html)が 表示されます。
F2C_CONFIRM	ホームページに入力された内容を送信前に確認する画面を表示させるか否か指定します。確認画面を表示させる場合は「YES」を、表示させたくない場合は「NO」を指定します。 確認画面には、フォーム画面で入力した情報が箇条書きに表示されます。

2 入力フォームを作成します。

すべての入力項目（テキストエリア、チェックボックスなど）に、NAMEの指定を行います。

【入力フォームの記述例】

```
<FORM METHOD="POST" ACTION="/cgi-bin/form2csv.cgi">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_NO" VALUE="2">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_FILE" VALUE="/users/estore-jp.com/web/docs/f2c/form2csv.csv">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_NAMES" VALUE="KANA,NAME,SEX,AGE">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_NEXTPAGE" VALUE="http://www.estore-jp.com/samplethankyou.html">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="F2C_CONFIRM" VALUE="YES">

  フリガナ ： <INPUT TYPE="text" NAME="KANA"><BR>
  お名前 ： <INPUT TYPE="text" NAME="NAME"><BR>
  性別 ： <INPUT TYPE="radio" NAME="SEX" VALUE="MALE">男
  <INPUT TYPE="radio" NAME="SEX" VALUE="FEMALE">女<BR>
  年齢 ： <select NAME="AGE">
  <option selected>▼選択して下さい
  <option VALUE="Under19">未成年
  <option VALUE="Over20">20代
  <option VALUE="Over30">30代
  <option VALUE="Over40">40代
  </select><BR>
  <INPUT TYPE="submit" VALUE="送信">
  <INPUT TYPE="reset" VALUE="クリア">

</FORM>
```

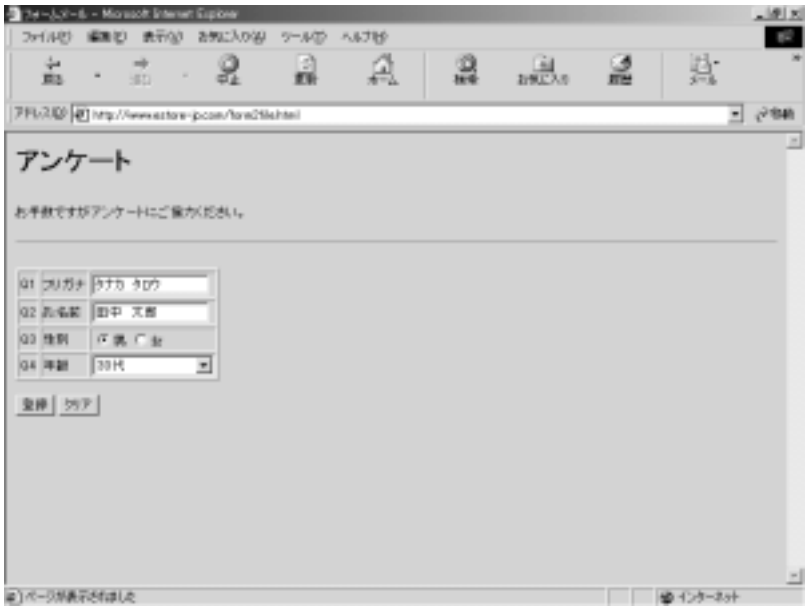
※NAMEの指定がされていない場合は、正しく動作しませんので注意してください。また、NAMEの指定は、必ず英数文字で行ってください。全角などを使用すると、文字化けの原因となります。なお、ラジオボタンやセレクトメニューはNAMEが項目となり、VALUEで選択された値が結果として送信されます。

3 ファイルをアップロードします。

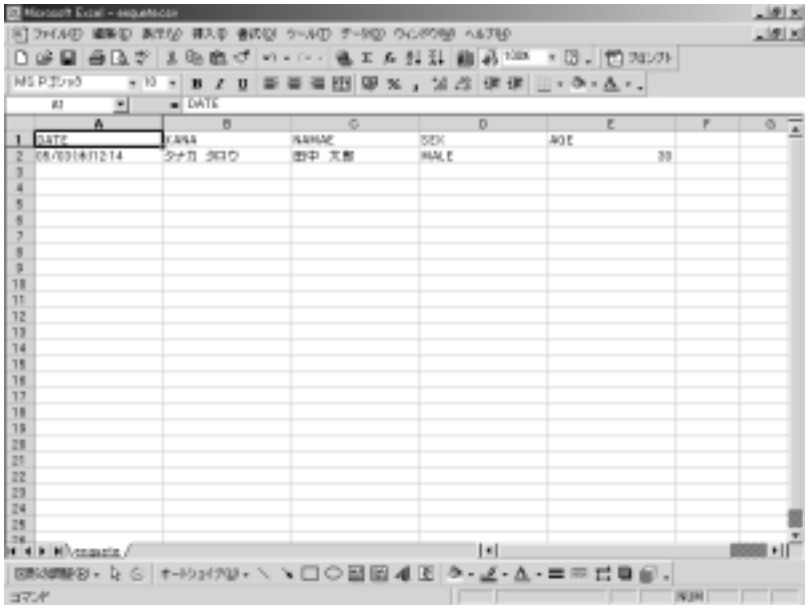
ファイルをアップロードするときは、ホームページ作成ソフトのftp機能、または
ftpソフトを使います。
アップロードの方法については、「第3章　6.ホームページのア公開」を参照してください。

❹ フォームファイルの動作を確認します。

ファイルをアップロードしたら、動作を確認します。アンケートフォームがあるホームページへアクセスして、アンケート項目にテストデータを入力・送信します。正しく設置されていれば、ホームページの記述で指定したcsvファイルの中に、入力した内容が保存されています。
ブラウザにて、ホームページの記述で指定した場所にアクセスして、csvファイルをダウンロードして確認してください。お使いのブラウザがインターネットエクスプローラー4.0以上で、マイクロソフトエクセルがインストールされている場合は、ブラウザに直接表示させることもできます。



CSVファイルを表計算ソフトで開いてみます。



8-6 標準提供CGI(4)掲示板

ここでは、サイトサーブ提供の掲示板を利用する方法について説明します。

参考

なお、あらかじめ用意されているサンプル画面をそのまま利用することもできます。各ページから、**『http://www.(お客様のドメイン名)/cgi-bin/bbs.cgi』**へリンクをはるだけで、ご利用になれます。

▼利用の手順は次のようになります。

1. ホームページ内に掲示板へのリンクの設定
2. 掲示板へのリンクを貼ったホームページをアップロード
3. 掲示板の動作確認

利用方法

1 ホームページ内に掲示板の設定をします。

掲示板へのリンク先として、次の設定値を参考に、お客様の設定を記述後、リンクを貼ってください。

```
<A HREF="http://www.estore-jp.com/cgi-bin/bbs.cgi?BBS_NO=1&BBS_TITLE= {estore-jp.comの掲示板} &BBS_TITLE_CAP= {どんどん書き込んでください} &BBS_LOG_FILE=/users/estore-jp.com/web/ {cgi-bin/bbs.log} &BBS_MAX_MSG= {50} &BBS_BGCOLOR= {ffffff} &BBS_TEXT_COLOR= {000000} &BBS_RTN_URL= {http://www.http://www.estore-jp.com} ">掲示板</A>
```

【設定項目】

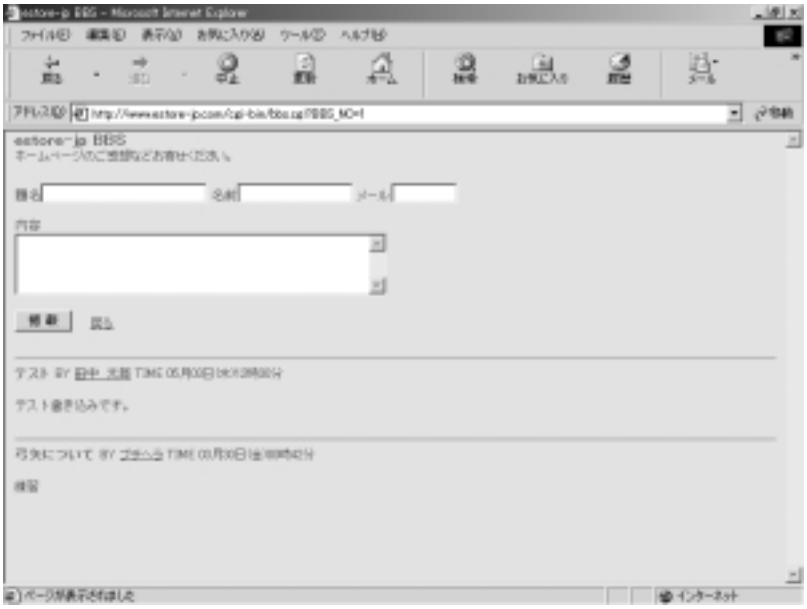
BBS_NO	掲示板を複数設置する場合に、ここの数字を1,2,3…と変更することで、掲示板ごとに違う設定を適用することができます。 詳しくは次の「複数ページで掲示板を利用する場合」を参照してください。
BBS_TITLE	掲示板の題名を指定します。 例では、「estore-jp BBS」という題名が設定されています。
BBS_TITLE_IMAGE	掲示板のタイトルを画像で表示する場合、画像ファイル名を指定します。 たとえば、docsディレクトリ(ログインディレクトリ)にある「logo.gif」という画像ファイルを使用する場合は、「/logo.gif」と指定します。 例では、画像を使用していないので何も入力されていません。
BBS_TITLE_CAP	タイトルに表示される文章を指定します。 例では、「ホームページのご感想などお寄せください。」という文章が指定されています。
BBS_LOG_FILE	書き込まれた文章(ログ)を保存するファイル名を指定します。 掲示板を複数設置する場合は、ログファイル名を違う名前にします。 例では、cgi-binディレクトリに「bbs.log」というファイルを指定しています。
BBS_MAX_MSG	書き込みの最大登録件数を指定します。この件数を超えた分は、古いものから削除されます。 例では30件が指定されています。
BBS_BGCOLOR	掲示板の背景色を、000000～FFFFFFまでの16進数で指定します。 例では、RGB=EFDFCFという色が指定されています。
BBS_BACKGROUND	掲示板の背景を画像で表示する場合、画像ファイル名を指定します。 たとえば、docsディレクトリ(ログインディレクトリ)にある「bg.gif」という画像ファイルを使用する場合は、「/bg.gif」と指定します。
BBS_TEXT_COLOR	文字色を、000000～FFFFFFまでの16進数で指定します。 例では、RGB=345678という色が指定されています。
BBS_RTN_URL	掲示板の[戻る]をクリックしたときに表示するページをURLで指定します。例では、「http://www.estore-jp.com/index.html」が指定されています。

2 ファイルをアップロードします。

ファイルをアップロードするときは、ホームページソフトのftp機能、またはftpソフトをを使います。
アップロードの方法については、『第3章　6.ホームページの公開』を参照してください。

❸ 掲示板の動作を確認します。

修正したファイルを保存し、サーバにアップロードします。アップロード後、修正したファイルをブラウザで開き、正しくリンクが設定されているか確認します。



8-7 プログラム作者提供のCGI

サイトサーブでは、先に紹介した4種類のCGIプログラムの他に、14種類のCGIプログラムをdocsディレクトリ(ログインディレクトリ)の中にある、execディレクトリの中に用意しています。これは、CGIプログラム作者が無償で一般に公開しているCGIプログラムを、作者に許可を得てサイトサーブ内に設置しているものです。お客様がすぐ利用できるように、管理用(管理者)パスワードなどをあらかじめ設定してあります。なお、管理用(管理者)パスワードが必要なCGIに関しては、すべて登録証記載の管理者ユーザアカウント(例：abc0001)が設定されています。

設置・設定方法については、オンラインマニュアルの管理者用・「各種CGI設置方法」**(http://help.(お客様のドメイン)/manual/man-cgi.html)**を参照してください。

プログラム作者より無償提供されているCGIプログラム一覧

掲示板

●Light Board

比較的標準的な掲示板。
返信機能、投稿削除機能、投稿記事の検索機能などを備えています。また、デザイン変更や各種設定がブラウザから行えるので、初心者でも簡単に利用できます。

●お絵かき掲示板

画面上で絵を描き、それをそのまま投稿できる掲示板。
コメント機能、投稿削除機能、投稿ソート機能、コメントのみの投稿機能などを備えています。

●YY-BOARD

アイコン表示の楽しい掲示板(設定でアイコンの有無を選択可能)。
その他、返信機能、投稿削除機能、投稿記事の検索機能などを備えています。

●SPHINXBOARD

Light Boardのプロテクトタイプ掲示板。
IDとパスワードを入力しないとアクセスができません。メンバーを限定した会員制掲示板を設置したい方におすすめです。その他の機能はLight Boardと同じです。

●きのぼず

高機能・多機能な掲示板。
返信機能、投稿の削除・編集機能、投稿記事の検索機能、アイコン表示機能、投稿記事の指定メールアドレスへの配信機能などを備えています。その他、細かい設定が可能ですが、CGIについてある程度の知識が必要となります。

アクセスカウンター

●スロットカウンター

カウンターを表示させるときに、スロットのようにランダムに表示をさせた後、カウント数を表示させます。

データ収集系

●かきこめーる

フォームメール。
入力フォーム画面の作成、送信先の設定、質問項目の設定などが、すべてブラウザ上で行えます。

●Web ANQ

ホームページ上でアンケート投票を受け付け、結果を棒グラフで表示するシステム。
項目の追加・削除などはブラウザ上で行えます。

●COSMONAVIGATOR

ホームページアドレス(URL)の登録・検索システム。
ユーザにURLを登録してもらうことで、カテゴリー別のリンク集が作成できます。登録情報の編集機能、検索機能、新着情報や人気ランキングの表示機能などがあります。

●VOTE-i

NTT DoCoMoの携帯電話サービス「i-mode」用の投票システム。
各項目の得票数と割合を表示します。

その他

●スケジューるん

スケジュール管理ができるCGI。
仲間内でスケジュールを共有したり、日記の代用としても利用できます。

●Random Image

複数のバナー画像をランダムに表示し、クリックされたカウントを集計・表示するためのCGI。

●Tomsoft Diary System

日記を作成するためのCGI。
指定期間のみの表示機能、検索機能、アクセス解析機能などを備えています。

●Akiary

日記を作成するためのCGI。
ホームページ上で更新・修正・削除が可能です。その他、過去記事の自動バックナンバー化機能などを備えています。

8-8 その他のCGI・SSI

ここでは、サイトサーブで自作のCGIプログラムやSSIプログラムを利用するために必要な情報を紹介しています。

自作CGIプログラムの利用

すでに用意されているCGIプログラムだけでなく、自作のCGIプログラムや、インターネット上で公開されているCGIプログラムを探してきてサイトサーブ内に設置することもできます。設置に必要な情報は次の通りです。

> **注意**
> サイトサーブで用意されているCGIプログラム以外は、サポート対象外となります。自己責任の上で利用してください。

Web serverソフト	Apache1.3.12
Cコンパイラ	gcc
OS	Solaris 2.6 SPARC版
CGIファイルのアップ ロード場所	cgi-binディレクトリ
htmlファイルのアップロード場所	docsディレクトリ(ログインディレクトリ)
漢字コード	EUC
ファイルの属性(パーミッション)	755 (rwxr-xr-x)
フォルダの属性(パーミッション)	755 (rwxr-xr-x)
perl	perl5(UNIX)
設置したCGIの実行アドレス	http://www.(お客様のドメイン名)/cgi-bin/CGIファイル名 例)http://www.estore-jp.com/cgi-bin/test.cgi
perl のパス指定	/usr/local/bin/perl
sendmailのパス指定	/usr/lib/sendmail ※サイトサーブでは、qmail ver.1.03を メールユーティリティとして利用しております。 また、CGIを利用してメール配信を行う場合は、1秒以上に 1通のメールを配信し、容量は100KB以下にしてください。
ホームページの転送容量制限	特になし

cgi-binディレクトリ内では、画像ファイル、HTMLファイルの動作保証はしておりません。

SSIの利用

サイトサーブでは、SSIプログラムを利用することができます。設定方法は次の通りです。

・.htaccessファイルの設定
動作させたいSSIコマンドが書いてあるファイルと同じ場所に、次の1行を記載したファイルをアップロードしてください。ファイル名は「.htaccess」とします。

【.htaccessファイルの内容】
Options Includes ExecCGI

・SSI利用ページの拡張子
SSIを利用するページの拡張子は「.shtml」にしてください。

・「exec」コマンドの利用
「exec cmd」「exec cgi」コマンドでプログラム(またはCGI)を呼び出す場合は、
プログラム(またはCGI)を呼び出し元の.shtmlファイルと同じディレクトリに置いてください。

参考

CGI・SSI利用に便利な情報源
インターネット上では無償・有償で公開されているCGIスクリプトや、CGI・SSIの設定に参考となるページがたくさんあります。Yahoo!Japanなどの検索サイトで、「CGI」「Perl」「スクリプト」などをキーワードに探すことができます。
CGI・SSI関連で代表的なサイトは次の通りです。

ネットサーフレスキュー[Web裏技]　http://www.rescue.ne.jp/(2001年4月現在)
KENT WEB　http://www.kent-web.com/(2001年4月現在)

また、CGI・SSI関連書籍も多数出ています。そちらも参照してください。

ホームページの告知と宣伝

この章では、ホームページの告知・宣伝の方法について説明します。

ホームページで会社や店の案内、商品・サービスの紹介や販売をするには、ホームページをインターネット上に公開するだけではなく、ホームページの存在を多くの人に告知する必要があります。ホームページの宣伝・告知にはさまざまな方法がありますが、宣伝したい内容や予算などに応じて、適切な方法を選択します。

1. 検索サイトへの登録 …… 110
2. メールマガジンへ広告掲載 …… 114
3. 懸賞による見込み客リスト作成 …… 116
4. バナー広告の出し方 …… 118
5. その他の告知・宣伝方法 …… 119

1. 検索サイトへの登録

1-1 検索サイトとは？

検索サイトとは、目的のホームページを、キーワードによって検索するWebサイトです。
探したい内容に関連するキーワードを入力し、そのキーワードに関連したホームページの一覧を表示させます。例えば「新宿のイタリアンレストランを探したい」という場合、検索サイトにアクセスして、「新宿」「イタリアンレストラン」とキーワードを指定すると、新宿のイタリアンレストランに関連したホームページの一覧が表示されます。インターネット上の膨大な情報の中から自分の必要な情報を探すためのWebサイトです。また、現在ある多くの検索サイトは、ホームページの登録を無料で受け付けています。ここに自分のホームページのURLや簡単な紹介文を登録しておくと、検索結果に自分のホームページも表示されるようになります。したがって、多くの検索サイトへ登録すれば、それだけ自分のホームページにアクセスする人が増えることになります。

▼主な検索サイト登録の利点は、次の通りです。

- **無料で登録できるので、宣伝経費がかからない**
- **検索サイトには多くの人が集まるので、自社ページへの入り口になる**

1-2 検索サイトへの登録手順

検索サイトにはいくつかの種類があり、登録方法が異なります。ここでは「ディレクトリ型」と「ロボット型」に分けて、登録方法を説明します。

ディレクトリ型検索サイト

【ディレクトリ型検索サイトとは？】
ホームページを内容別に一定のカテゴリーに分類している検索サイトです。利用者はカテゴリーとキーワードの両方から、目的のホームページを探すことができます。ホームページの情報は、検索サイトの運営スタッフが自ら収集・登録したものと、ホームページの所有者が登録したものがあります。どちらの方法でも人の手作業によって登録情報が作成・選別されるため、検索利用者にとっては「検索結果に不要な情報が混ざりにくい」という利点があります。

▼代表的なディレクトリ型検索サイトは、次の通りです。(2002年4月現在)

Yahoo! JAPAN	http://www.yahoo.co.jp/
iNET Guide	http://www.inetg.com/
Open Directory	http://dmoz.org/World/Japanese/
All About Japan	http://allabout.co.jp/
総合企業情報サイト「ComTrack」	http://comtrack.net/
Net Office Nakai	http://www.kyoto-net.com/
JAPANWEB	http://www.japanweb.ne.jp/
日本ネット	http://www.nihon.net/
THE GUIDEBOOK	http://www.infonia.ne.jp/~shachi/
hero-island	http://www.hero-island.ne.jp/
MEDIA NETWORK	http://www.m-n.com/medianetwork/
NSK Navi	http://www.nsknet.or.jp/kensaku/
URL 広場	http://www.orions.ad.jp/urls/index-jp.html
DOKODA	http://www.dokoda.com/
MARINE Navi	http://www.marine.ne.jp/

Web PurPose	http://www.web-purpose.com/LIFE/
osaka-web	http://osaka-web.com/
Alcarna	http://www.int-connect.com/search/
Cross Navigator	http://www.saiga.co.jp/search/index.htm
Web Gate	http://www.jboy.com/Navi/
ネットアイランド(さーち女史)	http://www3.wink.co.jp/search/
定番サーチ	http://accessup.org/teiban/
Web style	http://www.webstyle.ne.jp/
時空	http://www.jicoo.co.jp/

ディレクトリ型検索サイトへの登録手順

1 登録受付ページへアクセス
ブラウザで検索サイトの登録受付ページへアクセスします。検索サイトにより、「登録受付」「推薦受付」など、名称は異なります。

2 登録情報の入力
画面の指示に従って、登録情報を入力します。登録情報の内容は検索サイトによって異なります。通常、「ホームページのタイトル」「URL」「紹介文」「ホームページの内容を代表するキーワード」などを登録します。
登録手続きをしてから、実際に検索サイトに登録されるまでには時間がかかります。検索サイトによりますが、数時間で完了する場合もあれば、数週間から数ヶ月かかる場合もあります。

3 登録の確認
検索サイトから登録完了通知のメールが届いたら、登録されたことを確認します。
検索サイトによっては、登録完了通知が来ない場合もあります。その場合、ときどき自分で検索サイトにアクセスして、登録が完了したかどうかを確認します。

【登録のコツ】
人気のある検索サイトでは、登録に時間がかかります。遅い場合は、何ヶ月も待たされることがあります。その場合、登録担当者アドレス宛に「お伺いのメール」などの催促を出すのも一つの手段です。さらに登録されたら、「お礼のメール」を出します。また、もし掲載内容に間違いがあれば、お礼のメールと一緒にその旨連絡しておきます。
このように、こまめなやりとりによって、検索サイト運営者に印象をつけることも宣伝の一つの手段です。検索結果に「オススメ」マークをつけてくれたり、表示順位をあげてもらえる可能性もあります。また、ページの内容を更新した場合は、更新案内をメールで連絡します。頻繁に登録が更新されることで、前述同様に優位な状況を作ることができます。

ロボット型検索サイト

【ロボット型検索サイトとは？】
ロボット型検索サイトとは、「ロボット」と呼ばれるプログラムがインターネットを定期的に巡回し、そこで得たホームページの情報を元に検索用データベースを作成している検索サイトです。検索のためのキーワードや文章は、機械処理で抽出されています。
人の手作業で登録されるディレクトリ型と比べて情報量は圧倒的に多いのですが、検索結果として表示されるタイトルや説明文は、機械処理で抽出されたものが使われているため、検索利用者の意図していたものとは全く違うページが検索結果に多く含まれる場合もあります。

登録情報はロボットが自動巡回して取得するため、基本的にホームページの作成者から登録情報を送ることはありません。ただ、自分のホームページのURLを登録しておくと、ロボットが定期的にそのURLを巡回してくれるという検索サイトもあります。

代表的なロボット型検索サイトは、次の通りです。

Google	http://www.google.co.jp/
goo	http://www.goo.ne.jp/
Infoseek Japan	http://www.infoseek.co.jp/
Excite Japan	http://www.excite.co.jp/
LYCOS Japan	http://www.lycos.co.jp/

【登録のコツ】

上で述べたように、ロボット型検索サイトは、基本的にこちらからホームページに関する情報を登録することができません。ロボットが自動的に巡回し、収集した情報は機械処理で抽出・登録されますので、自分が意図しないキーワードでヒットしてしまったり、逆に意図したキーワードでは全くヒットしなかったりする可能性があります。しかし、あらかじめホームページにロボット向けのキーワードや紹介文を埋め込んでおくことで、より的確な情報をロボットに収集させることができます。

ホームページのHTMLファイルをテキストエディタで開き、<head>～</head>の間に次のタグを追加します。

<META name="keywords" content="（キーワード1）,（キーワード2）,……">
<META name="description" content="（紹介文）">

例 リンゴの通信販売を行っているホームページの場合

<META name="keywords" content="リンゴ,林檎,グルメ,ギフト,贈り物,おいしい,配達,歳暮,進物">
<META name="description" content="おいしいリンゴが安い！　全国お届けします">

多くのロボット型検索サイトでは、収集したホームページの中にこれらのタグがあった場合、タグの内容をそのままキーワードや紹介文として抽出します。すると、自分が意図したキーワードでヒットする確率が上がります。

1-3 検索サイトへの登録手順

上に紹介した検索サイトの他にも、次のような検索サイトがあります。

新着サイト

新しく登録されたホームページを日替わり、週替わりなどで紹介してくれるサイトです。中には検索サイトと連動して、新着ページを紹介するサイトもあります。

ファースト ニューズ	http://surfers.firstnews.com/
フレッシュアイ	http://www.fresheye.com/
URL TODAY	http://www.so-net.ne.jp/URL-TODAY/
choice	http://choice-site.com/
はいと～ん・ねっと（工事中）	http://www.hi-tone.net/

ショッピング専門の案内サイト

インターネット通販を行っているホームページを専門に紹介しているサイトです。
通信販売を行っているホームページであれば、こちらにも登録できます。

ネットプライスモール	http://www.netprice.co.jp/
ショッピングアイ	http://www.clubj.com/shop/
インターネット通販	http://www.Tsuhan.co.jp/
shop List	http://www.shoplist.ne.jp/
BEST SHOP	http://bestshop.nikkeibp.co.jp/bestshop/index.html
買いぱら	http://www.kaipara.com/

1-4 一括登録と登録作業の委託

複数の検索サイトに一つ一つ登録していくのは、結構時間がかかるものです。また最初のうちは、どのようなキーワードならヒット率が高まるか、どのような紹介文ならより関心を持ってもらえるか……など、すべてが手探り状態です。そのような場合、一括登録サイトや登録作業の代行業者を利用することができます。

一括登録サイト

複数の検索サイトへ一括で登録作業を行うサイトです。新規登録だけでなく、登録内容の変更や削除ができるサイトもあります。ほとんどが無料で利用できます。

代表的な一括登録サイトは次の通りです。

AZ-PROMOTE	http://az-net.com/
いっせいのSAY!	http://www.i-say.net/isay/
さぶみっと！JAPAN	http://www.submit.ne.jp/
一発太郎	http://ippatsu.net/TARO/
DRS NAVI	http://www.drs-navi.com/

検索サイト登録代行事業者

検索サイトへの登録を代行する業者です。国内だけでなく、外国の検索サイトへの登録を代行する業者もあります。

代表的な登録代行事業者は次の通りです。

Scope	http://sky.zero.ad.jp/~zab31246/index.html
Search Engine手動登録	http://www.mars.dti.ne.jp/~kenjioni/search/services.html
一括屋	http://www.queenssquare.com/addurl/
いっすんぼ〜し	http://www.plaza8.mbn.or.jp/~issunboshi/index.html

ネットワーク広告代理店への委託

検索サイトへの登録作業を一括して代行する業者に委託すると、サイト選定や入力、掲載確認まで一括して行うことができます。有料になりますが、時間の節約になるだけでなく、登録のコツを知っているので上手に登録してくれます。サイトサーブでは、本マニュアル・登録証と共に、ホームページ宣伝会社ご紹介の書類も同封しています。その中で、ホームページ宣伝会社のパートナー会社を推薦していますので活用してください。

2. メールマガジンへ広告掲載

2-1 メールマガジンとは

メールマガジン(メルマガ)とは、電子メールを使って配信する雑誌のことです。
趣味やビジネス、学習などさまざまな分野について、現在2万誌以上のメールマガジンが発行されています。紙の雑誌と違って、ほとんどのメールマガジンは無料で購読できるため、多数のメールマガジンを購読する利用者も少なくありません。そのメールマガジンに、数行の広告文を掲載することができます。

▼主なメールマガジンへの広告出稿の利点は、次の通りです。

- **メールマガジン読者の職業や趣味などの傾向がある程度把握できるので、絞り込まれた対象に広告を見てもらえる**
- **広告料が極めて安い**
- **一度に大量の配信が可能**

2-2 メールマガジンへの出稿手順

❶ メールマガジンの選定

まずは、ホームページ宣伝に適したメールマガジンを探します。例えばホームページで商品の紹介をしている場合、その商品のターゲットとなる年代や職業の人が多く購読していそうなメールマガジンが、出稿に適しています。メールマガジンは、次のようなメールマガジン発行事業者サイトで探します。中には過去の記事を見られるところもあります。メールマガジン発行事業者だけでなく、個人でメールマガジンを発行している人もたくさんいます。

▼代表的なメールマガジン発行サイトは次の通りです。(2001年8月現在)

まぐまぐ	http://www.mag2.com/	23,325誌／2,570万読者
パブジン	http://www.pubzine.com/	10,045誌／130万読者
マッキー	http://macky.nifty.com/	6,799誌／190万読者
melma	http://www.melma.com/	31,050誌／2,570万読者

❷ 出稿先の検討

出稿するメールマガジンの候補選定が終わったら、次に各メールマガジンの刊行者(発行事業社ではありません)と連絡を取り、いつのどの箇所なら広告スペースが空いているか、また、広告料や読者数はどのくらいか、などを尋ねて検討します。
各メールマガジンの読者数は数百人から数十万人とさまざまで、広告料も基本的に読者数の多さに比例します。平均すると読者1000人で出稿1回あたり3～5千円、10万人規模の読者を持っているメールマガジンで5～10万円ぐらいです。

❸ 出　稿

出稿先が決まったら、広告文を書いて出稿します。
多くの場合は「5行広告」といい、文字で5行×38文字以内の広告文を出稿します。その原稿を作って、刊行者にメールで送って掲載依頼します。効果の高い掲載箇所は、ヘッダー(メールマガジンの上部)ですが、記事との関連性などによっては、中段や下段でも効果がある場合があります。次の例のように、「何をやっているか」や「ホームページのURLアドレス」を記した5行以内の簡潔明瞭な宣伝コピーを考えます。またメールマガジンごとに内容を変えると、いっそう宣伝効果が高まります。

【メールマガジン広告の例】

例1 上下１行ずつを区切り罫線に、中3行を文字広告に使用した場合

```
=-=-=-
```

3. 懸賞による見込み客リスト作成

3-1 懸賞を行う目的とは？

企業のホームページなどでは、「アンケートに答えると抽選で○○をプレゼント！」といった懸賞がよく行われています。その目的は、見込み客リストの作成です。自社商品や関連商品がプレゼントになっている懸賞に応募してきた人は、自社商品に興味・関心を持っている人、つまり見込み客と見なすことができます。そのような見込み客のメールアドレスなどをリスト化し、ダイレクトメールなどで定期的に自社商品の案内を送ることによって、本当の顧客になる可能性があります。

ホームページの情報を集めた「検索サイト」があるように、懸賞情報を集めた「懸賞サイト」もあります。自分のホームページで懸賞を行うときには、懸賞サイトにその情報を登録することで、より多くの応募者を集めることができます。

3-2 懸賞出品の手順

1 アンケート内容とプレゼント商品の検討

懸賞応募に際して行うアンケートの内容と、プレゼント商品について検討します。
この時注意しなければならない点は、次の通りです。

・アンケートでは相手のメールアドレスを尋ねる

メールアドレスは、後でダイレクトメールの送り先として使えます。
ただし、中にはダイレクトメールの送付を希望しない人もいます。「今後ダイレクトメールを送付してもよいかどうか」も併せて尋ねるようにします。

・アンケート項目は少なく、多肢選択式で

あれもこれもとたくさんのアンケート項目を盛り込むことは、回答者にとって大きな負担となります。項目数はなるべく少なくし、回答方法もなるべく自由記述式ではなく多肢選択式にします。

・プレゼントは自社商品や関連商品で

よく、衣料品関係のサイトなのにリスト数欲しさに「デジタルカメラをプレゼント」などと、自社商品とは関係ないものを賞品にするケースがあります。確かに応募数は増えるかもしれません。しかしその後、ダイレクトメールで自社商品である衣料品の案内をしても、元々衣料品に興味のある人たちが応募してきているわけではないので、反応がよくないことが予想されます。結果的に、最初から自社商品などで懸賞を行った方が、見込み客としては有効なリストになります。

2 アンケートページの作成

アンケート内容やプレゼントが決まったら、アンケートページを作成します。
ホームページにアンケートの質問項目だけを表示しておき、応募者にはメールに回答を書いて送ってもらうこともできます。この方法は、回答もれやミスがあったり、関係のないメールが混ったりします。それよりは、ホームページ上に回答用のフォームを設けてそこに回答してもらった方が、回答もれなどのミスを防ぐことができます。

サイトサーブでは、あらかじめアンケート調査用のCGIプログラム「フォームファイル」を用意していますので、ぜひご利用ください。利用方法については、本マニュアル「第3章 8.CGIの利用」を参照してください。

❸ 懸賞情報の登録

懸賞サイトにアクセスし、懸賞のプレゼント商品や応募受付期間などの情報を登録します。多くの懸賞サイトでは、これらの情報を無料で登録できます。

代表的な懸賞サイト、および懸賞情報のメールマガジンのホームページは次の通りです。

とくとくページ	http://tokutoku.com/
アタル	http://ataru.co.jp/
csj present!	http://www.csj.co.jp/present/index.html
chance it!	http://www.chance-it.com/
Otok Magazine	http://www.otoku.co.jp/
懸賞天晴	http://www.appare.com/
頂戴道場	http://www.cgi.co.jp/pool/tyoudai/
ああ無料	http://www.nagoya-net.com/free/
インフォサイト	http://www.infosite.co.jp/o-tok/
info-niigata	http://www.info-niigata.or.jp/present/
厳選！プレゼント情報	http://amuser.net/usr/akiten/kensyo/kensyo.cgi
懸賞のつぼ	http://www.tubox.com/

4. バナー広告の出し方

4-1 バナー広告とは？

バナー広告は、自社名や商品・サービスなどを画像で表し、それを有名サイトなどに貼りつけてもらうことで宣伝する方法です。興味を持った人は、その画像をクリックすることで、自社や商品案内のページにジャンプするようになっています。

4-2 バナー広告の出稿手順

❶ 出稿先の検討

バナー広告を出すためには、基本的には広告代理店に依頼して、有名検索サイトなどへバナーを貼りつけてもらうことになります。ただし個人サイトでも、アクセス数の多いサイトはありますし、サイトの内容が自社商品に関連したものであれば、自社商品に関心を持つ人がアクセスする可能性は高くなり、バナー広告の効果も上がります。そういった個人サイトの運営者と直接交渉して、バナー広告を貼りつけてもらうこともできます。それとは別に、バナー広告には、一定の表示回数や表示期間を保証するタイプと、一定のバナークリック数を保証するタイプがあります。最近ではクリック保証型が主流となっています。いずれにしても、バナー広告のターゲットをよく検討して出稿先を決めます。

▼ 有名広告代理店（2000年5月現在）

サイバーエージェント	http://www.cyberagent.co.jp/
サイバーコミュニケーションズ	http://www.cci-jpn.com/
サイバークリック	http://www.cyberclick.net/
ダブルクリック	http://www.doubleclick.net/jp/
バリュークリック	http://www.valueclick.ne.jp/

❷ 出稿依頼

広告代理店、またはバナーを出稿したいサイト運営者に連絡を取り、出稿料や表示回数、バナーサイズの交渉をします。

❸ バナーの作成

出稿依頼がまとまったら、バナーを作成します。
サイズは掲載するホームページによりますが、縦100 ピクセル×横400 ピクセル程度が一般的です。画像編集ソフトウェアを使って、自社名や商品名、サービス内容などを宣伝するコピーや画像を入れます。こういったバナー作成を代行してくれる広告代理店もあります。

❹ バナーの送付

完成したバナーと、それをクリックしたときのリンク先（あなたのページのアドレス）をメールで送ります。広告代理店などは、ホームページ上で受け付ける場合もあります。

●専門事業者への委託

専門事業者に委託すると、上に挙げた出稿先の選定やバナー広告の作成などを一括して行います。すべて自力で行った場合に比べて手数料分が加算されますが、バナーのデザインや出稿先の選定などにプロならではの経験が生かされますので、より宣伝効果が期待できます。
サイトサーブでは、本マニュアル・登録証と共に、ホームページ宣伝会社ご紹介の書類も同封しています。その中で、ホームページ宣伝会社のパートナー会社を紹介していますので、参考資料として活用してください。

5. その他の告知・宣伝方法

ここでは、先に挙げた方法以外で、ホームページの宣伝告知に役立つと思われる方法を説明します。

5-1 知りうるメールアドレスみんなに連絡

知人や友人、取引先など、メールをやりとりしたことのある相手すべてにメールします。
ホームページ開設だけでなく、更新や新サービス導入時など、適当なタイミングを見計らって何度かメールします。ネットワークでの広がりは口コミの世界と似ているので、この知人・友人が、そのアクセスしてもらったときに、相手の趣向や意識と合致していれば、そこからさらに知人・友人への広がりが期待できます。時間はかかるかもしれませんが、後からじわじわと効いてくる方法です。

5-2 リンクの利用

なるべく多くのホームページからリンクを張ってもらうことで、よりホームページへのアクセスが増えます。
まずは知人・友人でホームページを持っている人にリンクをお願いします。もし自社商品に関連する内容を取り上げているホームページがあれば、知り合いでなくても「お互いにリンクしませんか？」と相互リンクをお願いします。相手と自分のホームページが補完関係にあれば、相手もリンクを検討してくれる可能性があります。また、「相互バナーシステム」を利用することもできます。これは、相互リンク先を自分で探さなくとも、自動的にバナーを交換して貼りあうものです。ほとんどが無料で利用できます。

▼ 代表的な相互バナーシステムのホームページは次の通りです。

CSJ バナーエクスチェンジ	http::://www.csj.co.jp/BX/
リンクエクスチェンジ	http://japan.linkexchange.com/

5-3 顧客へのダイレクトメール

顧客へのダイレクトメールを定期的に送付します。
一度でも買物をしてくれた人、あるいは自社商品に意見をくれた人のメールアドレスは宝の山です。このリストを使い、宣伝メールや案内メール、時には宣伝ぬきでの役に立つご案内などを送付します。

5-4 フリーメール・オプトインメールへの広告出稿

フリーメール・オプトインメールを使って広告を出稿します。
フリーメールとは、事業者がその顧客に対して無料でメールアドレスを提供するものです。
顧客にとっては、メールアドレスを無料で複数持てるため、プライベート用や仕事用などにメールアドレスを分けることができるというメリットがあります。
また、オプトインメールとは、あらかじめ顧客の趣味・関心を調査し、その趣味・関心に合う無料情報をメールで送信するものです。顧客は自分の知りたい情報だけを無料で手に入れることができます。
これらフリーメール・オプトインメールのほとんどは、送信されるメールの中に広告が入っており、その広告料収入で事業が成り立っています。そこに広告を出稿することで、ホームページの宣伝効果が増します。
フリーメール・オプトインメールに広告を出稿するときは、事業者や広告代理店に対して、値段交渉の連絡を入れて、出稿量や出稿日を決めます。フリーメールは、ある程度利用者の属性が分けられていて、たとえば「東京在住の女性」とか「30 代男性で地域無作為で5万名」などを希望することができます。

代表的なフリーメール・オプトインメールの事業者は次の通りです。

エキサイト	http://www.excite.co.jp/
Yahoo!JAPAN	http://www.yahoo.co.jp/
MSN	http://www.msn.co.jp/
goo（フリーメール）	http://community.goo.ne.jp/free mail/
Anet	http://www.Anet.ne.jp/
iMiネット	http://www.imi.ne.jp/
エルゴブレインズ	http://www.demail.ne.jp/
メールイン	http://www.mailin.ne.jp/

5-5 掲示板への投稿

掲示板とは、誰でもメッセージを投稿することのできるページです。
誰かがメッセージを投稿すると、その内容は掲示板にアクセスした人全員が読むことができます。掲示板への投稿および投稿メッセージの閲覧は、基本的に無料です。ここに自社や商品の宣伝を投稿することで、その掲示板に訪れる多くの人にその投稿を読んでもらうことができます。

掲示板への投稿の手順

1 目的に合った掲示板を探す
自分の商品を宣伝した場合に効果的な掲示板かどうか、投稿内容などをよく閲覧して検討します。掲示板の中には、宣伝目的の書き込みを禁止しているところもあります。利用上の注意などにも目を通し、判断がつきにくい場合は、その掲示板の主催者に問い合わせてみることも必要です。

代表的な掲示板サイトは次の通りです。他にも個人のホームページなどに多くの掲示板がありますので、検索サイトなどを利用して、目的に合った掲示板を探します。

有名掲示板サイト

@nifty	http://www.nifty.com/
msn	http://www.msn.co.jp/
Yahoo!JAPAN	http://messages.yahoo.co.jp/
teacup	http://www.tcup.com/

2 ホームページの宣伝を投稿
単なる宣伝ではなく、読者のためになる情報などを含めて投稿すると喜ばれ、宣伝効果も上がります。また、自社のホームページアドレスも忘れず記入します。

5-6 モールへの出店

モールとは、インターネット通販を行う業者を集めたページで、テナントビルのようなものです。
通販業者のホームページURLを集めたリンク集のようなモールもあれば、業者が自分のホームページを持っていなくても、商品を登録するだけで通信販売を始めることができるモールもあります。こうして集められた商品情報の中から、利用者はカテゴリーをたどったり、キーワード検索を利用したりして、目的の商品を探します。自社商品を通信販売する場合、宣伝方法の一つとしてこのモールも利用できます。

代表的なモールは次の通りです。(2001年8月現在)

有料モール

Yahoo!ショッピング	http://shopping.yahoo.co.jp/	不明
ネットプライスモール	http://www.netpricemall.com/	4,013 店舗
CURIO CITY	http://www.curio- city.com/	6,230 店舗
Shopping@nifty	http://shop.nifty.com/	不明
楽天市場	http://www.rakuten.co.jp/	7,300 店舗
かえるハウス	http://www.kaeru.co.jp/	1,894 店舗
C@nbuy	http://www.canbuy.ne.jp/	不明

無料モール

C-MALL	http://www.c-mall.coo.net/	不明
ツウハンショッピングモール	http://www.tsuhan.ne.jp/	1,021店舗
CLIPS 快適ページショップ	http://www.clips.kite.ne.jp/	不明
O-kini City	http://www.o-kini.or.jp/	不明

業者がモールを利用する利点として、「集客力の高さ」が挙げられます。モールの運営元がモール自体の宣伝広告を行うため、一業者が宣伝広告を行うよりはるかに高い集客力があります。また、共同購入(ギャザリング)や季節のイベントなどを定期的に開催して、集客だけでなくその後のリピート率を上げています。逆に欠点としては、「同じモール内に同業他業者が並ぶこと」があります。例えばラジカセを買いたいお客が、「ラジカセ」でモールを検索したとします。すると、検索結果にはラジカセを扱う複数の電器屋が表示されます。価格の違いもひと目で分かりますので、お客にとっては便利ですが、業者にとっては価格競争に陥るおそれがあります。
このようなデメリットを避けるために、集客の一手段としてモールへ登録し、実際の販売は自社ホームページで行うという運用方法もあります。

第5章 siteserve

困ったときに

**この章では、サイトサーブが提供するサービスについて、
疑問やトラブルなどを解決するための手段や情報について説明します。**

サイトサーブを利用する中で疑問に思ったこと、また何らかの原因でサイトサーブのサービスがうまく利用できないとき、本マニュアルやヘルプデスクで解決方法を調べることができます。このうち本マニュアルでは、「機能別インデックス」「よくある質問(FAQ)と問題解決方法」「用語集」を利用することができます。それでも解決しない場合、サイトサーブでは、電話やFAX、メールによるサポートを実施していますので利用してください。

1. サポートについて …… 124
2. よくある質問(FAQ)と問題解決方法 …… 125
3. 禁止事項 …… 131
4. メンテナンス …… 132
5. 用語集 …… 133
6. 機能別インデックス …… 138

第5章

1. サポートについて

契約内容の変更やサイトサーブの利用に関する質問がある場合、サポートセンターへのお問い合わせの前にまず確認していただきたいことについて説明しています。

1-1 契約内容の変更

変更したい契約内容によって、手続きの方法が違います。

・メールアドレスの追加
・ディスクスペースの追加
・SSLサービスの利用申請

それぞれ、サービスセンターで手続きを行うことができます。詳しくは本マニュアル「管理者編2章：各種管理と設定」を参照してください。

・サブドメインサービスの契約・解約
サービスセンターでの利用申請はできません。サイトサーブの契約を交わした販売代理店までお問い合わせください。

1-2 サイトサーブの利用に関する質問

変更したい契約内容によって、手続きの方法が違います。

【マニュアルで調べる】
「メールの設定方法が知りたい」など、知りたいことがはっきりしている場合は、「機能別インデックス」を参照してください。知りたいことが本マニュアルのどこで説明されているのかがわかります。また、本マニュアルのFAQでは、普段お客様から寄せられる質問のうち、特に多い質問とその解決方法を掲載しています。FAQの中に、お客様の質問内容に該当するものがあれば、そこで解決できます。

【ヘルプデスクで調べる】
サイトサーブに関する重要なお知らせや情報は、登録証記載の「ヘルプデスク」(http://help.(お客様のドメイン名))に掲載されます。また、ヘルプデスクからアクセスできる「オンラインマニュアル」「FAQ」には、サイトサーブの利用方法について、常に最新の情報が掲載されています。マニュアルには掲載されていない情報や設定方法が、こちらにあるかもしれません。

それでも解決されない場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

【サポートセンターに問い合わせる】
サイトサーブでは、無償サポートを実施しています。電話・FAX・メールで問い合わせることができます。サポートの営業時間、問い合わせ先に関しては、同封の添付書類を参照してください。
ただし、次の内容はお問い合わせの対象外となります。

・本マニュアル、ならびにヘルプデスク・オンラインマニュアルに記載されている内容。
・パソコン本体・モデム・TA・パソコンソフトウェアなど、弊社製品、弊社サービスではないものの設定や使用方法。
・インターネット接続サービスプロバイダ、電話会社など、インターネット接続に関するサービスについて。
・オプションサービス追加や各種設定の変更など、お客様ご自身がサービスセンター画面から行う操作の代行依頼。
・お客様自身が作成したCGIプログラムの文法や、動作に関するご質問。
・お客様自身が作成したホームページ、htmlファイルの文法や、表示に関するご質問。

2. よくある質問（FAQ）と問題解決方法

**ここでは、お客様から寄せられる質問のうち、
特に多い質問内容とその解決方法についてまとめています。
なお、「メールに関するFAQ」は「メール編」を参照してください。**

2-1 サービスに関するFAQ

Q ホームページのURLアドレスを、はじめのwwwをつけないようにすることは可能ですか？

A www をつけないようにする（http://(お客様のドメイン名)/　にする）ことはできません。
サイトサーブでは、ヘルプデスクページにhttp://help.(お客様のドメイン名) 、ウェブメールのページにhttp://webmail.(お客様のドメイン名) ……などのアドレスを使用しています。そのため、ホームページアドレスにwww をつけない設定にすることが、システム上できなくなっております。また、インターネットの世界では、ホームページのURLアドレスには www をつけることが定着しています。サイトサーブでもその方向に基づき、サーバの設定をそのようにしています。ご了承ください。

Q サイトサーブでストリーミング配信は可能ですか？

A サイトサーブのサーバは、ストリーミング配信には対応していません。
ただし、次の方法で音声・動画を再生することができます。

1.ホームページ上で音声・動画ファイルを再生する
ホームページで音声・画像ファイルにリンクを設定し、アクセスした人がそのリンクをクリックすることで、ブラウザのプラグインが起動して再生できる場合があります。ただし動作保証はしておりませんのでご了承ください。

2.音声・動画ファイルをダウンロードして、再生してもらう
サーバ上にアップロードできるファイル形式には、特に制限はありません。アクセスした人に音声・動画ファイルをダウンロードしてもらい、再生ソフトを使って再生することはできます。

Q サイトサーブを利用するのにプロバイダはどこでもいいのですか？

A サイトサーブを利用する際に、プロバイダの制限はありません。どのプロバイダを利用しても問題ありません。

Q 専用線を利用したいのですが問題ありませんか？

A 専用線を利用いただく場合は、OCNエコノミーのように、DNSサーバを専用線業者で用意いただければ特に問題はありません。ただし、サイトサーブでは、専用線による特別な設定（逆引き設定）などは行なっておりませんので、契約前に、専用線業者に確認ください。

Q 登録証を紛失しました。どうすればいいでしょうか？

A 登録証を紛失された場合は、契約者情報を確認した後に再発送します。契約されたご本人、または契約内容を把握している代理の方（個人様の場合は契約者の身内、法人様の場合は社内の代理の方のみ）から、「登録証再発行の件」としてヘルプデスクにご連絡ください。

2-2 ホームページに関するFAQ

Q ホームページアップロード時に設定する「アカウント」と「パスワード」は何を使うのですか？

A 登録証に記載されている「管理者ユーザアカウント」と「パスワード」を使います。一般ユーザのアカウントとパスワードではアップロードできませんので注意してください。
ftpソフト別の設定方法については、オンラインマニュアル(http://help.(お客様のドメイン名)/manual/)を参照してください。

Q ホームページをアップロードしたのにトップページが表示されないのですが？

A 原因として、次の場合が考えられます。

1.トップページのファイル名が「index.html」または「index.htm」になっていない
サイトサーブでは、「http://www.(お客様のドメイン名)/」で表示されるファイル名は、「index.html」または「index.htm」になっている必要があります。トップページのファイル名が別の名前(top.htmlなど)になっている場合は、「index.html」または「index.htm」に変更するか、「http://www.(お客様のドメイン名)/top.html」のようにファイル名まで指定してください。

2.「index.html」と「index.htm」の両方がアップロードされている
この場合、index.htmlを優先して表示します。index.htmの方を表示させたい場合は、index.htmlを削除してください。

※なお、サイトサーブでは予め準備中画面(index.htm) がアップロードされています。特に必要の内場合は、上書き、削除していただいてかまいません。

Q ホームページにアクセスしたところ、「403 Forbidden」と表示されてしまいます。何が原因ですか？

A 「403 Forbidden」は、ディレクトリの中に「index.html」または「index.htm」がない場合にエラーとして表示されます。アクセスしようとしたディレクトリに「index.html」または「index.htm」ファイルが存在しているか確認してください。また、アクセスしようとしたディレクトリのパーミッション設定が初期値(755)以外に変更されている場合も、同じエラーが表示されます。ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)を使って、パーミッションを初期値に戻してください。

Q 「404 Not Found」と表示されてしまいます。何が原因ですか？

A 「404 Not Found」は、指定したURLアドレスのファイルが存在しない場合、エラーとして表示されます。ファイル名が全角文字になっていないか、または指定したURLアドレスが誤っていないかを確認してください。また、サーバ上ではファイル名の大文字・小文字は区別されます。指定したURLアドレスのファイル名と、実際のファイル名で大文字・小文字が違っていると、違うファイルを指定したとみなされて表示されません。

Q ホームページで、文字は表示されますが画像ファイルが表示されません。

A 原因として、次の場合が考えられます。

1.画像ファイルが正しいディレクトリにアップロードされていない
ftpソフト（またはホームページ作成ソフトのftp機能）を使って、表示されない画像がサーバ上の正しいディレクトリにアップロードされているか確認してください。違うディレクトリにアップロードされている場合は、正しいディレクトリに移動してください。

2.ホームページ上での画像ファイルの指定と実際の画像ファイル名が一致していない
ホームページ上で画像を指定している部分(テキストエディタでhtmlファイルを開くと、<img src="xxxx.xxx">と記述されている部分)を確認して、その画像ファイル名とサーバ上にアップロードされている画像ファイル名が一致しているかご確認ください。サーバ上では、ファイル名の綴りだけではなく、大文字・小文字の違いも区別されます。例えば、top.gif、top.GIF、TOP.GIF、TOP.gif は全て違うファイルとして認識されます。必ず大文字・小文字まで実際の画像ファイル名と同じにしてください。

3.ファイル名やディレクトリ名に、全角文字または日本語が使われている
例 **トップ.gif**
<img src="C:マイドキュメント\top.gif">
このようなファイル名やディレクトリ名の場合、パソコン上では表示されますがサーバ上では表示されません。ファイル名・ディレクトリ名を半角英数字に変更してください。

4.画像ファイルをアップロードする際にASCIIモードで転送している。
ファイル転送にはASCIIモードとバイナリモードの2種類がありますが、画像ファイルの転送にはバイナリモードを使います。再度バイナリモードでアップロードしなおしてください。最近のFTPソフトでは自動的に判別しアップロードできますので通常は意識する必要はありません。
転送モードの設定方法については、ご使用のソフト付属のマニュアルなどをご覧ください。

Q FrontPage Server Extensions を設定することは可能でしょうか？CGIを使わずに掲示板、アクセスカウンターを使いたいのですが。

A FrontPage Server Extensions には対応しておりません。また、今後サポートする予定もありませんので、ご了承ください。掲示板やアクセスカウンターは、弊社が用意したものであればCGIの知識がなくても簡単に使用できます。詳しくは「管理者編3章：CGIの利用」を参照してください。

Q ASP(Active Server Pages)を利用することは可能でしょうか？

A ASP(Active Server Pages)には対応しておりません。また、今後サポートする予定もありませんのでご了承ください。

Q データベースを利用することは可能でしょうか？

A サイトサーブでは、サーバ用のデータベースアプリケーションを用意していません。また、お客様がサーバにアプリケーションをインストールしたり、特殊な設定をすることはできません。
ただし、インターネットなどで公開されているCGIプログラムの中には、サーバ上でデータベース機能を実現するものがいくつかありますので、それをサイトサーブ内に自分で設置することはできます。

Q ホームページの転送ができません。

A 次の項目をご確認ください。

1.パソコンはインターネットに接続されていますか？
接続されていない場合は、インターネットに接続してから再度転送してください。

2.サーバ(ホスト)名は登録証記載のウェブサーバですか？
サーバ(ホスト)名の入力ミスはありませんか？

3.ユーザ名(またはユーザアカウント)は登録証記載の管理者のユーザアカウントになっていますか？
また、ユーザアカウントの入力ミスはありませんか？

4.パスワードは、登録証記載の管理者のユーザパスワードになっていますか？
また、パスワードの入力ミスはありませんか？

5.ファイルの転送先はログインディレクトリ(docs)ですか？
ftpソフトの初期設定でディレクトリの設定をしている場合は、転送先ディレクトリを空欄にしてください。空欄にすることで、自動的にdocsディレクトリにログインできます。

Q 転送したホームページが表示されません。

A まずは「管理者編3章：5ホームページの公開(アップロード)」を参照して、手順を確認してください。それでもうまくいかない場合は、次の項目を再度確認してください。

1.ファイルの転送先はログインディレクトリ(docs)ですか？
ftpソフトの初期設定でディレクトリの設定をしている場合は、転送先ディレクトリを空欄にしてください。空欄にすることで、自動的にdocsディレクトリにログインできます。

2.トップページとなるファイル名は、「index.html」または「index.htm」となっていますか？
「http://www.(お客様のドメイン名)」(例：http://www.estore-jp.com)で表示されるファイルは、「index.html」または「index.htm」です。他のファイルをトップページにしたい場合は、「http://www.(お客様のドメイン名)/ファイル名」(例：www.estore-jp.com/top.html)というように、ファイル名まで指定すれば表示されます。

3.転送されているファイル名(画像も含む)は半角英数字になっていますか？
全角文字・日本語などがが入っている場合は正しく表示されません。ファイル名は半角英数字で設定してください。

Q 今まで動いていたCGIが動作しません。

A まずは「管理者編3章　7-1　自作CGIプログラムの利用」を参照し、各設定項目が正しく設定されているかどうか確認してください。それでもうまくいかない場合は、次の項目を再度確認してください。なお、お客様が設置されたCGIプログラムについては、サポート対象外とさせていただいています。ご了承ください。

1.CGIをアップロードするディレクトリに間違いはありませんか？
CGIをアップする場所は、ログインディレクトリ(docs)の一つ上にあるcgi-binディレクトリを推奨しています。それ以外のディレクトリでCGIプログラムを動作させる場合は、あらかじめ.htaccessファイルで設定する必要があります。設定方法は「管理者編3章　8.自作CGIプログラムの利用」を参照してください。docs内のディレクトリでCGIを利用する場合は、ディレクトリ名をcgi-bin以外にしてください。

2.設置したCGIの実行アドレスに間違いはありませんか？
cgi-binディレクトリにアップロードした場合の実行アドレスはhttp://www.(お客様のドメイン名)/cgi-bin/(cgiファイル名)　です。その他のディレクトリにアップロードした場合は、ディレクトリ名の指定が正しいかどうか確認してください。

例 **http://www.estore-jp.com/cgi-bin/test.cgi**

3.CGIプログラム中の、Perl のパス指定に間違いはありませんか？
Perl のパス指定は「/usr/local/bin/perl」です。

4.ファイルのパーミッションは755(rwxr-xr-x)に設定していますか？
755以外のパーミッションでは動作しません。ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)を使用して、必ず755に設定してください。

5.cgiファイルの転送モードはASCIIモードになっていますか？
転送モードを自動判別しないftpソフトの場合は、手動でASCIIモードにしてから転送してください。

6.文字コードはEUCを使用していますか？
CGIプログラムで2バイト文字(漢字や全角英数字・記号など)を処理する場合、EUC以外の文字コードを使用するとエラーの原因となることがあります。

Q サンプルファイル(http://www.(お客様のドメイン名)/sample.html)が表示されません。

A 他のファイルは表示されるのにサンプルファイルだけが表示されない場合、お客様がホームページのアップロード(ダウンロード)中に誤って削除した可能性が考えられます。弊社にて復旧しますので、ヘルプデスクまでご連絡ください。

Q サーバ上にすでにファイルやフォルダがあるのですが、何のために使うのでしょうか？

A サーバ上に最初からあるファイルやフォルダは、CGIプログラムを動作させたり、ホームページのアクセス状況を記録したりするためのものですので、移動・削除しないように注意してください。なお、フォルダの構成や内容については、「管理者編3章　1-3　サーバのディレクトリ構成について」を参照してください。

2-3 CGIに関するFAQ

Q cgi-binディレクトリへ移動することができないのですが？

A cgi-binディレクトリは、ログインディレクトリ(docsディレクトリ)のひとつ上にあるため、ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)によっては移動できない場合があります。この場合、ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)の転送先ディレクトリ(またはリモートディレクトリ、アップロードフォルダ、など)を「/」(半角スラッシュ)に設定してください。ログインディレクトリがひとつ上になり、cgi-bin ディレクトリが表示されるようになります。ただし、アップロード機能しかないFTPソフトでは設定を変更してもアクセスはできません。
ftpソフト(またはホームページ作成ソフトのftp機能)の設定方法に関しては、オンラインマニュアル(http://help.(お客様のドメイン名)/manual/)を参照してください。

Q 自作CGIプログラム(またはサイトサーブに設置されていないCGIプログラム)を利用したいのですが？

A サイトサーブでは、お客様独自のCGIプログラムをご自由に設置することができます。ただし、お客様が設置されたCGIに関しては、「管理者編3章：CGIの利用」に記載されている内容以外はサポート対象外とさせていただいています。あらかじめご了承ください。

Q ホームページから入力してもらった内容をメールで受け取るには、どうしたらいいのですか？

A サイトサーブでは、あらかじめ「フォームメール」というCGIプログラムが設置されています。フォームメールを使うと、ホームページの入力画面で入力した内容が、CGIプログラムによって指定されたメールアドレスに送信されます。フォームメールの概要や設置方法については、「管理者編3章：3 フォームメール」を参照してください。

Q アクセスカウンターのカウントが上がらないのですが？

A サイトサーブのアクセスカウンターは、ページの読み込み回数ではなく、訪問者数(IPアドレス)をカウントするようになっています。続けてページを再読み込みしても、カウント数は上がりません。また、表示されるアクセス数を任意の数字から開始したい場合は、アクセス数が記録されているファイルを編集します。詳しくは「管理者編2章：2-3　アクセスカウンタの数値の変更」を参照してください。

Q sendmail は使用できますか？

A ご利用いただけます。
サイトサーブでは、「qmail ver.1.03」をメールユーティリティとして使用しています。機能はsendmail とほぼ同じです。パスは　/usr/lib/sendmail　です。正常に動作しない場合、プログラム中の sendmail の オプションを取ると動作する場合がありますので、「$sendmail -n -t」を「$sendmail -t」または「$sendmail」に変更してください。

Q 「503 Service Temporarily Unavailable」のエラーが表示されるのですが？

A アクセスが多い場合、このエラーが表示されることがあります。
サイトサーブではひとつのサーバ機器を複数のお客様で利用していただいていますので、アクセス集中でサーバ機器にトラブルが起きた場合、機器を共有されているお客様全員がサイトサーブを利用できなくなってしまいます。そのため、アクセスが集中した場合はアクセス制限を設け、サーバトラブルが起きないようにしています。このエラーは、CGIの処理に時間がかかるチャットや、大きいサイズの画像を表示させようとした場合などに多く起こります。もし普通のホームページの表示でこのエラーが表示される場合は、htmlファイルやそこから呼び出している画像ファイルなどのサイズを減らしてください。また、複数のサーバに同じページをアップロードし、アクセスを分散させることでもエラーが起きにくくなります。

なお、詳しいアクセス制限値に関しては、現在非公開とさせていただいております。サーバのメンテナンスや管理、修正モジュールの導入といった改善策で制限値もしばしば変わるため、一概に公開することは現段階ではできません。ご了承ください。

Q 以前のサーバで利用していたCGIプログラムが動作しないのですが？

A 以前お使いのサーバとサイトサーブのサーバで、Perlのパスなどが違っている場合があります。サイトサーブのサーバの仕様に関しては、「管理者編3章：7-1　自作CGIプログラムの利用」を参照してください。なお、お客様自身が設置されるCGIに関しては、弊社ではサポートしていません。あらかじめご了承ください。

Q sendmailなどを利用してメールの配信を行う場合、配信制限はございますか？

A 配信数の制限はありません。ただし、１通ごとに１秒以上の間を置いて送信するよう設定してください。また、１回に送信する容量は、１００ＫＢを限度としてください。

以上を守っていただいた場合でも他のお客様に迷惑が及ぶ場合は、そのプログラムの停止、またはサーバの停止、アカウントの削除を行う場合もありますのでご注意ください。なお、お客様ご自身が設置されるCGIに関しては、弊社ではサポートしていません。あらかじめご了承ください。

3. 禁止事項

サイトサーブの利用にあたって、次に挙げる事項は禁止しています。
これらを逸脱した場合、利用停止、または中止をすることがあります。

3-1 規約による禁止事項

規約により、次の行為は禁止されています。

第6条(禁止される行為)
契約者は、以下の項目を成し得ないものとします。
(1)他の契約者のアカウント、パスワードを不正に使用すること。
(2)他の契約者または第三者に迷惑、不利益を与える等の行為、本サービスに支障をきたすおそれのある行為、その他提供者が不適当と判断したもの。
(3)電子メールの転送先を提供者指定の数を超えて設定する行為。
(4)提供者及び第三者の著作権、肖像権、その他権利を侵害する行為。
(5)提供者及び第三者への誹謗、中傷、プライバシーの侵害。
(6)わいせつ等、公序良俗または法令に違反する行為。

3-2 法令関連

一般法令ならびに公序良俗に反する行為、及び著作権侵害は約款で禁止されています。これらに抵触、侵害あるいはその恐れがある場合は、サービスの提供を停止します。

3-3 逆解析・アタック

サーバ上のプログラムの逆解析、盗用ならびに、サーバ機器やネットワーク回線に意図的に悪意の負荷をかけることは禁止されています。また、意図的ではない場合でも、サーバ機器やネットワーク回線に過大な負荷を与える場合は、一部利用を制限する場合があります。

4. メインテナンス

サイトサーブでは、安全で安定したサービスを提供するために、
不定期にメインテナンスを実施しています。
また、障害など緊急を要する場合には、
予告なしに緊急でメインテナンスを実施する場合もあります。
あらかじめ、ご理解のうえ、ご了承くださいますよう、よろしくお願いいたします。
通常のメインテナンスを実施する場合は、ヘルプデスクページに、
事前に日時や現象、影響する範囲をお知らせします。
また、メンテナンスのお知らせは、管理者メールアドレス宛てに配信しています。
メールで受け取る場合は、ウェブメールを利用するか、
メールソフトに管理者メールアドレスのアカウントを登録してください。

5. 用語集

本マニュアルで使われているコンピュータ・インターネット用語について説明しています。見出しの右に【サイトサーブ】とついているものは、サイトサーブだけで使われる用語です。

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line)

既存の電話用銅線ケーブルを使う高速デジタル伝送方式の一種で、ISDNの約10倍の高速伝送が可能。主にインターネットへの高速アクセス回線として利用されている。日本では東西NTTや一部プロバイダがADSLサービスを提供している。

CGI(Common Gateway Interface)

ウェブサーバ上で外部のアプリケーションと連携する機能のこと。
CGIを利用したページでは、外部のアプリケーションと連携して、アクセスしてきた人の選択や入力した内容に応じて処理を行い、その都度違った結果を表示することができる。アクセスカウンター、チャット、掲示板、アンケートフォームなどに利用される。外部のアプリケーションには、「Perl」というスクリプト言語で書かれたプログラムが主に利用される。

ftp(File Transfer Protocol)

ネットワーク上でファイルを転送するための手順。この手順を使ってファイルを転送するためのソフトをftpソフトという。最近のウェブブラウザはftp機能を備えているものも多い。

ftpソフト

ftpクライアントともいう。ネットワーク上のサーバにアクセスし、ファイルを転送するためのソフト。転送するための手順にftpを利用するため、この名前がある。

HTML(Hyper-Text Markup Language)

ホームページを作成するための言語。「タグ」と呼ばれる"<"と">"で囲まれた予約語を使って、文字の大きさや位置、画像ファイルやリンク先を指定する。HTMLファイルそのものは普通のテキストファイルであり、テキストエディタを使って編集できる。それをウェブブラウザで開くとタグの指定が読み込まれ、指定通りの文字サイズや画像が表示される。

IP(Internet Protocol)アドレス

インターネットに接続されているコンピュータを識別するために割り当てられる12桁の数字。通常インターネットでホームページを見るときには、「http://www.estore-jp.com/」のようにURLアドレスを指定するが、サーバではURLアドレスをIPアドレスに変換して、IPアドレスから目的のサーバを探し出す。常時接続されているサーバだけでなく、個人がダイヤルアップなどで一時的に接続するコンピュータにも、接続のたびにIPアドレスが割り当てられる。

ISDN(Integrated Service Digital Network)

統合デジタル通信網。電話・ファクシミリ・文字データ・画像データなどの異なる情報を全てデジタル化して統合的に扱えるようにしたネットワーク。デジタル化するため送信中に情報が劣化しない、アナログ回線に比べて高速、などの特徴がある。日本では1988年からNTTが「INSネット」というISDNサービスを提供している。

POP3サーバ

インターネット上でメールを受信するためのサーバ。インターネットでは一般的に、メールの受信に「POP3(Post Office Protocol version3)」という手順を利用するため、この名がある。プロバイダによっては、「IMAP4(Internet Message Access Protocol 4)」という手順が受信に使われている場合もある。

POP before SMTP
メール送信時のユーザ認証方法の一つ。メール送信の前にまず受信操作を行い、POPサーバでユーザ認証を行う。そこで認証を受けたユーザだけが、その後の一定時間、SMTPサーバにアクセスして送信を行うことができる。メールサーバの不正使用を防止する目的で考案された。

SMTP Authentication
メール送信時のユーザ認証方法の一つ。メールを送信する時に、まずSMTPサーバでユーザ認証を行い、認証が完了するとはじめて送信ができる。メールサーバの不正使用を防止する目的で考案された。
このユーザ認証方法を利用するためには、メールサーバ・メールソフトの両方がSMTP Authenticationに対応している必要がある。

SMTPサーバ
インターネット上でメールを送信するためのサーバ。インターネットでは一般的に、メールの送信に「SMTP(Send Mail Transfer Protocol)」という手順を利用するため、この名がある。

SSI(Server Side Include)
htmlファイルの中に埋め込まれたプログラムを、ウェブサーバ上で実行させる機能。アクセスカウンターや時刻表示などに利用される。CGIと似ているが、サーバ側のデータが直接外部に流れるため、セキュリティ管理が必須とされる。

SSL(Secure Socket Layer)
インターネット上で送信するデータを暗号化するための技術。SSLを利用したページでは、送信前にユーザのコンピュータとサーバとの間で「鍵」を取り交わしてから、データを暗号化して送信する。送信データは、「鍵」を持っているサーバでないと暗号化を解除できないようになっているため、第三者には意味不明の文字・記号の羅列にしか見えず、安全性が確保される。

TA(Terminal Adapter)
ISDN回線にコンピュータや電話・ファクシミリなどの通信機器を接続するための機器。通常、コンピュータとはシリアルケーブル(RS-232C)で、電話やファクシミリとはモジュラーケーブルで接続する。ISDN回線を使ってインターネットに接続するために必要。

UNIX
アメリカAT&T社で開発されたオペレーティングシステム。最初は大学や研究機関を中心に普及したが、その後インターネットの普及と共に企業などにも広まり、今ではインターネット上の多くのサーバに採用されている。Linux、FreeBSDなどさまざまな種類がある。

URL(Uniform Resource Locator)
インターネット上にある情報やサービスを特定するためのアドレス。プロトコル名(アクセスするための手順)://サーバ名/ディレクトリ名/ファイル名　と記述する。例えば「http://www.estore-jp.com/index.html」の場合、httpプロトコルを使って「www.estore-jp.com」というサーバにある「index.html」というファイルを呼び出すことを意味している。

アカウント
ユーザID、単にIDなどとも呼ばれる。会員制のコンピュータ・ネットワークサービスを提供する場合に、管理者が参加者に対して発行するもの。コンピュータ・ネットワークサービスを利用する権利や、サービスの課金単位のことも指す。

アクセスカウンター
ホームページのアクセス数を表示するためのカウンタ。CGIやSSIを利用することでアクセス数を数えることができる。

アップロード
クライアントコンピュータに保存されているデータを、サーバに転送・保存すること。逆に、サーバからクライアントコンピュータに転送することを「ダウンロード」という。インターネットではftp（File Transfer Protocol）という手順でデータを転送する。

インターネット接続サービスプロバイダ
インターネットサービスプロバイダ、または単にプロバイダとも呼ぶ。ユーザからのアクセスを受け付け、インターネットに接続するサービスを提供する事業者。接続だけでなく、メールアカウントの発行やホームページ開設用のディスクスペース提供などのサービスを一緒に行っていることが多い。

ウェブブラウザ
「WWWブラウザ」、または単に「ブラウザ」と呼ばれることも多い。ウェブサーバに保存されているhtmlファイルやその他のコンテンツを閲覧するためのソフト。代表的なものにMicrosoft社の「Internet Explorer」、Netscape社の「Netscape」がある。いずれも、よく閲覧するページのURLを記憶する「ブックマーク機能」や、最近閲覧したページのコピーをハードディスクに保存して再表示を速くする「キャッシュ機能」などを備えている。

オンラインマニュアル
オンラインヘルプとも呼ばれる。電子化された取扱説明書のことで、コンピュータの画面上でいつでも参照することができる。コンピュータの内部にあるハードディスクに保存されている場合もあれば、インターネット上のサーバに保存されていて、そこから呼び出す場合もある。

漢字コード
漢字やひらがな・カタカナなど、コンピュータで日本語の文字を扱うためのコード。JIS、Shift-JIS、EUCなど複数のコードがあるが、これらには互換性がない。そのため、例えばSJISで書かれたhtmlファイルをブラウザで開くときに、コードの種類をEUCに指定すると、「文字化け」と呼ばれる、文字が判読不能の記号などに変化する現象が起きる。
このような問題を解消するため、最近では「Unicord（ユニコード）」という国際的な統一コードの策定が進められている。

掲示板
電子会議室、BBS（Bulletin Board System）ともいう。ネットワーク上でメッセージをやりとりするためのシステム。掲示板へアップロード（書き込み）されたメッセージは、掲示板にアクセスした人全員が閲覧できる。それに対して他の誰かが返事を書き込んだり、また誰かが別の話題で新しく書き込んだりすることによって、多数の相手とのやりとりが可能になる。同じメッセージをやりとりするシステムにメールがあるが、メールは基本的に1対1のやりとりで、内容は当事者以外に知られない点が異なる。

サーバ
ネットワーク上で、クライアントコンピュータに対してサービスを提供するコンピュータ。提供するサービスの種類によって、ファイルサーバ・プリンタサーバなど複数のサーバがある。インターネットにおいては、メールサーバ・ウェブサーバ・ftpサーバなどが、インターネットに接続しているコンピュータに対してそれぞれのサービスを行っている。

サービスセンター【サイトサーブ】
パスワードの変更やメールアカウントの追加、ディスク容量の変更など、サイトサーブの各種サービスに関する設定を行うためのページ。ヘルプデスクページからアクセスすることができる。

サイト
サーバやその中にあるホームページなどのコンテンツ、接続しているコンピュータ、ネットワークなどを含んだシステム全体のこと。単にホームページのことを指す場合もある。

スパムメール
不特定多数の受信者に対し、受信者の意志に関係なく送信する電子メール。宣伝目的のものが多い。最近では大量送信でサーバをダウンさせたり、送信元を特定されないように第三者のサーバを不正利用して送信するなどの問題が増えてきている。なお、「スパム」はアメリカの缶詰の商品名で、商品名を連呼するCMが話題になったところからこの名がついたと言われている。

専用線接続
プロバイダが提供するインターネット接続サービスの一種。プロバイダから高速デジタル専用線などの非公衆回線を独占的に借り受け、常時インターネットに接続される。主に企業向けのサービスだが、最近は個人向けにも安価な専用線接続サービスがある。これに対し、公衆回線を使って必要な時だけインターネットに接続する「ダイヤルアップ接続」というサービスもある。

ダイヤルアップ接続
プロバイダが提供するインターネット接続サービスの一種。プロバイダが指定したアクセスポイントに、電話回線やISDNなどの公衆回線を通じて接続すると、切断までの間だけインターネットへの接続が確立する。個人向けのサービスとしては一般的な方法である。これに対し、インターネットに常時接続される「専用線接続」というサービスもある。

ダウンロード
サーバに保存されているデータを、クライアントコンピュータに転送・保存すること。これとは逆に、クライアントコンピュータからサーバに転送することを「アップロード」という。インターネットでは「ftp(File Transfer Protocol)」という手順でデータを転送する。

ドメイン(名)
インターネットに接続されているサーバを特定するための名前。通常は「サーバ名.組織名.組織種別コード.国別コード(ただしアメリカのみ国別コードがつかない)」となる。例えば「www.estore-jp.co.jp」の場合、日本の会社組織である「estore-jp」という組織の「www」というサーバを指している。
ただし、国別コードは、その国のドメイン管理団体で管理されていることを示すもので、必ずしもその組織がその国の中に存在することを示すわけではない。例えばアメリカのドメイン管理団体で管理されている「.com」や「.org」などのドメインは、アメリカ人やアメリカ国内の組織でなくても取得・利用することができる。ドメイン名は、国別にドメイン管理団体が存在し、そこで管理されている。日本ではJPNICという団体がjpドメインの管理をしている。

ネームサーバ
DNS(Domain Name System)サーバともいう。IPアドレスとドメイン名の対応表を持ち、ドメイン名から対応するIPアドレスを探し出すためのサーバ。
ブラウザでホームページを表示するにはURLアドレスを入力する必要があるが、サーバではそのURLアドレスからドメイン名の部分を取り出し、それをさらにIPアドレスに変換して目的のサーバを探し出す。ネームサーバはそのIPアドレスへの変換を受け持つサーバである。

パスワード
暗証番号ともいう。コンピュータやネットワーク、サービスなどを利用する際に、それらを利用する正統なユーザであることを示すために、あらかじめ登録しておく文字や数字。通常はユーザ名(アカウント、ID)との組み合わせで使われる。

バナー広告
単にバナーとも呼ばれる。元は「旗」「標識」の意味だが、インターネットでは、ホームページに掲載されている広告画像のことを指す。バナーからは、広告内容の詳細情報や広告を出している個人・団体のホームページなどへリンクしていることが多い。

フリーウェア
フリーソフトウェアともいう。無償で自由に利用できるソフトのこと。パソコン雑誌の付録CD-ROM、またはインターネットのダウンロードサイトで配布されていることが多い。著作権を作者が留保しており、ソフトの改変や再配布については作者が条件を定めていることがある。
同じような配布方法のソフトに「シェアウェア」があるが、有償である点がフリーウェアと異なる。

ヘルプデスクページ【サイトサーブ】
サイトサーブのサービスに関する最新情報、オンラインマニュアルやサービスセンターへのリンクなどがあるページ。URLは「http://help.(お客さまのドメイン名)/」。

メーリングリスト
特定多数のメンバーに同じメールを一斉送信するためのシステム。
普通のメールでは、複数の相手に同じメールを一斉送信するためには、宛先に全員分のメールアドレスを指定する必要がある。しかしメーリングリストの場合は、あらかじめ送信先を登録しておけば、送信者はメーリングリスト用のメールアドレス1つだけを宛先に指定して送信するだけで、そこから自動的に登録されているメールアドレスすべてに一斉送信される。仲間内の情報交換や、社内での連絡事項の伝達などに使われる。

メールソフトウェア
メールソフト、メールクライアント、メーラーとも呼ぶ。メールの作成や送受信を行うためのソフトウェア。代表的なものに、Microsoft社のOutlook Expressなどがある。

メールマガジン
メールで様々な情報を送るサービスのこと。利用者がメールマガジンの配信元に自分のメールアドレスを登録すると、メールで情報が受け取れるようになる。最近はメールマガジンの配信を請け負う業者があり、大規模な業者では数万種類のメールマガジンを配信している。利用料はメールマガジンごとに異なる。

モデム
コンピュータのデジタル信号をアナログ信号に変調／復調するための装置。
アナログ電話回線でインターネットに接続する場合、コンピュータでは情報を全てデジタル化して扱うため、そのままでは送受信できない。そのため、モデムを使って送信時にはデジタルデータをアナログ化し、受信時には逆にアナログデータをデジタル化する必要がある。

ルーター
ネットワークを相互接続するための機器。ネットワーク上の目的アドレスまでの転送経路を選択する機能（ルーティング機能）を持つ。元々は企業などでネットワーク同士を接続するために使われていたが、最近では個人向けに、複数のコンピュータをダイヤルアップ接続でインターネットに接続するための「ダイヤルアップルーター」、ADSLを使ってインターネットに接続するための「ADSLルーター」などがある

ログイン
自分の使うコンピュータとサーバを接続して、サーバとデータのやりとりができるようにすること。通常はユーザ認証を行って、ユーザだけに提供される各種サービスを受けられるようにする手続きのことをいう。サービスを終了するときにも一定の手続きがあり、これを「ログアウト」または「ログオフ」という。

ログインディレクトリ【サイトサーブ】
ftpソフトでサイトサーブのウェブサーバに接続したときに、最初に表示されるディレクトリのこと。通常は「docs」ディレクトリ。

第5章

6. 目的別インデックス

**ここでは、「メール送信」「掲示板の設置」など、
目的別にマニュアルの参照先がわかるようになっています。**

5-1 メール関連

項目			ページ
■メールを作成する	メールソフトで	Windowsで	メール編 22
		Macintoshで	メール編 29
	ブラウザで		メール編 35
■メールを送信する	メールソフトで	Windowsで	メール編 22
		Macintoshで	メール編 29
	ブラウザで		メール編 35
■メールを受信する	メールソフトで	Windowsで	メール編 23
		Macintoshで	メール編 30
	ブラウザで		メール編 34
■メールソフトの設定をする		Windowsで	メール編 15
		Macintoshで	メール編 25
■メールソフトの設定に必要な情報を調べる			メール編 47
■ウェブメール画面にアクセスする			メール編 31
■メールの転送設定をする	自分のメールアドレス		メール編 50
	webmaster@,postmaster@,info@		管理者編 20
■メールの自動削除設定をする			メール編 54
■メールの自動返信設定をする	自分のメールアドレス		メール編 52
	info@		管理者編 22

5-2 ホームページ作成関連

項目			ページ
■ホームページを作成する	ホームページ作成ソフトで		管理者編 54
	テキストエディタで		管理者編 58
■作成したホームページをブラウザで表示する			管理者編 59
■作成したホームページをインターネット上に公開する	ホームページ作成ソフトのftp機能で		管理者編 71
	ftpソフトで	Windowsで	管理者編 72
		Macintoshで	管理者編 76
■ftpソフトの設定に必要な情報を調べる			管理者編 67
■ホームページにSSLを利用する			管理者編 65

5-3 CGI関連

項目		ページ
■サイトサーブで用意されているCGIプログラムを利用する	フォームメール	管理者編 96
	フォームファイル	管理者編 99
	掲示板	管理者編 102
	アクセスカウンタ	管理者編 92
■プログラム作者提供のCGIプログラムの紹介を読む		管理者編 105
■自作CGIプログラムの利用に必要な情報を調べる		管理者編 107
■SSIの利用に必要な情報を調べる		管理者編 107

5-4 サイト管理

項目	ページ
■アクセスログを見る	管理者編 33
■ディスク容量を追加する	管理者編 43
■SSLの利用申請をする	管理者編 46
■SSLの利用申請を解除する	管理者編 47
■メーリングリストのメンバーを追加する	管理者編 25
■メーリングリストのメンバーを削除する	管理者編 26
■一般ユーザのメールアドレスを追加する	管理者編 17
■一般ユーザのメールアドレスを削除する	管理者編 18
■特定のディレクトリにアクセス制限をする	管理者編 37
■ウィルスフィルタを設定する	管理者編 27
■ウィルスフィルタの設定を解除する	管理者編 27